

# H24-B8-30

## 柱状図(0.00m~28.00m)

H24-B8-30

孔 口 標 高	T. P.	7.39m	掘 削 長	28.00m
---------	-------	-------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D [%]	D [%]	
													15.00mまでノンコア
		-6.20 -8.48	①	シルト混じり砂	褐灰		100						15.00~15.30m ・ 礫・シルト混じり砂である。
		-7.82	②	巨礫	灰黄		100						15.30~16.78m ・ 花崗斑岩の巨礫である。
		-9.47		玉石混じり砂	にぶい黄橙		100						16.78~18.60m ・ 玉石混じり砂礫である。 ・ 径10~40mmの花崗斑岩岩片、径100~400mmの玉石を主体とする。
				明黄橙	黄褐	CL'	100	5	0				18.60~28.00m ・ 花崗斑岩である。
				にぶい黄橙	黄褐	CL'	100	10	10				21.10~21.40m ・ 割れ目が多く、角礫状を呈する。
				にぶい黄橙	黄褐	CL'	100	11	11				
				にぶい黄橙	黄褐	CL'	100	9	0				● 24.60~25.04m ・ 破砕部である。 ・ にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・ 走向・傾斜はN1° E81° Wである。 ・ 上端境界の傾斜は65°、下端境界の傾斜は45°である。
				にぶい黄橙	黄褐	D'	100	5	0				● 26.70~26.87m(D-36破砕帯) ・ 破砕部である。 ・ 主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・ にぶい橙色の未固結粘土状部：累計幅1.0cm
		-17.99		にぶい黄橙	黄橙	CL'	100	5	0				・ 走向・傾斜はN2° W82° Eである。 ・ 上端境界の傾斜は45°、下端境界の傾斜は45°である。

- 1-222(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-223(分類c)②  
表現を統一したため。



# H19—No. 6

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H19—No. 6

孔 口 標 高	T. P.	3.31m	掘 削 長	175.00m
---------	-------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
				盛土	灰黄褐 にふい黄橙 にふい黄褐 明黄褐	⑤	100			0.00~3.72m ・盛土である。	
		0.46		有機質シルト	黒褐		100			3.72~4.16m ・有機質シルトである。	
		0.12		砂混じり高有機質土	黒		100			4.16~4.33m ・砂混じり高有機質土である。	
		-0.61		有機質土	黄灰		100			4.33~5.12m ・砂混じり高有機質土である。	
		-0.90		砂混じり高有機質土	灰白	④	100			5.12~5.49m ・下部ほど礫の含有量が多い。	
		-1.59		有機質土	灰白		100			5.49~6.40m ・有機質土混じり砂である。	
		6.40		砂礫	にふい黄橙	④	100			6.40~11.29m ・砂礫である。 ・礫は径0.2~0.7cmの石英、基質は粗粒砂。	
10		5.33		砂混じり砂	灰白		100			11.29~14.40m ・砂混じり砂である。 ・細粒砂を主体とし、中~粗粒砂を含み淘汰悪い。	
		5.68		砂	浅黄		100			14.40~17.70m ・砂である。	
		11.40		砂	にふい黄橙	②	100			17.70~18.40m ・砂混じり砂である。 ・礫は径0.3~0.5cm、最大径1.5cmの垂角礫。	
		18.40		砂	灰		100			18.40~18.85m ・砂は淘汰の良い中粒砂である。	
		18.85		砂	にふい黄橙		100			18.85~18.47m ・砂混じり砂である。	
		18.47		砂	灰		100			18.47~19.22m ・砂混じり砂である。	
		19.22		砂	灰		100			19.22~21.02m ・木片、炭片を含む。	
		21.02		砂	灰黄	④	100			21.02~22.22m ・砂混じり砂である。 ・砂は細~中粒砂。	
		22.22		砂	灰		100			22.22~23.48m ・炭質物をわずかに含む。	
		23.48		シルト	灰		100			23.48~25.33m ・砂混じりシルトである。 ・礫は径0.3~0.5cm、最大径1.0cm。	
		25.33		シルト	灰		100			25.33~26.41m ・石英・長石粒を主体とする。	
		26.41		シルト	灰白		100			26.41~28.45m ・砂混じりシルトである。	
		28.45		有機質土	灰白		100			28.45~30.63m ・径0.5cm以下の貝化石を含み、炭化した木片も含む。	
		30.63		砂	褐灰		100			30.63~28.80m ・砂混じりシルトである。	
		28.80		砂	褐灰		100			28.80~30.63m ・全体に貝化石を多く含み、木片が点在する。	
		28.80		砂	褐灰		100			28.80~30.63m ・砂礫である。	
		30.63		砂	褐灰		100			30.63~28.80m ・砂礫である。	
		28.80		砂	褐灰		100			28.80~30.63m ・細礫主体である。	
		30.63		砂	褐灰		100			30.63~28.80m ・礫は径3~4cm、最大径8cmでアブライト主体。	
		28.80		砂	褐灰		100			28.80~30.63m ・一部、花崗斑岩を含む。	
		30.63		砂	褐灰		100			30.63~28.80m ・基質は中~粗粒砂。	

1-224, 1-225, 1-228~1-232, 1-235~1-237 (分類c) ①  
岩種区分は同一のため削除。  
1-226, 1-227, 1-233, 1-234, 1-246 (分類c) ②  
性状が近いものを丸めたため。  
1-238~1-242 (分類c) ③  
審査資料作成の際に模様を見直したため。  
1-243~1-245, 1-247~1-249 (分類c) ④  
表現を統一したため。  
1-250 (分類b) ⑤  
報告書の記載漏れを修正したため。





# H19—No. 6

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 6

孔 口 標 高	T. P.	3.31m	掘 削 長	175.00m
---------	-------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	採 取 率 (%)	
				盛土	灰黄褐 にふい黄橙 にふい黄褐 明黄褐		100					0.00~3.72m ・盛土である。
		0.46		有機質シルト	黒褐		100					3.72~4.16m ・有機質シルトである。
		0.12		砂混じり高有機質土	黒		100					4.16~4.33m ・砂混じり高有機質土である。
		-0.61		有機質シルト	黄灰		100					4.33~5.12m ・砂混じり高有機質土である。
		-0.90		砂混じり高有機質土	灰白		100					5.12~5.49m ・下部ほど礫の含有量が多い。
		-1.59		有機質シルト	灰白		100					5.49~6.40m ・有機質土混じり砂である。
10		-5.34		砂	にふい黄橙		100					6.40~11.29m ・砂礫である。 ・礫は径0.2~0.7cmの石英、基質は粗粒砂。
		-5.68		砂	灰白		100					11.29~11.70m ・砂である。
				礫混じり砂	浅黄		100					11.70~14.40m ・礫混じり砂である。 ・礫は径0.3~0.5cm、最大径1.5cmの垂角礫。
				砂	にふい黄橙		100					14.40~14.85m ・砂は淘汰の良い中粒砂である。
				砂	オリブ黒		100					14.85~18.47m ・礫混じり砂である。
20				砂	灰		100					18.47~19.22m ・礫混じり砂である。 ・木片、炭片を含む。
		-13.71		砂	灰黄		100					19.22~21.02m ・礫混じり砂である。 ・砂は細~中粒砂。
		-14.68		砂	灰		100					21.02~22.22m ・炭質物をわずかに含む。
		-16.08		砂	灰		100					22.22~23.48m ・礫は径0.3~0.5cm、最大径1.0cm。 ・石英・長石粒を主体とする。
		-16.92		砂	灰白		100					23.48~25.33m ・礫混じりシルトである。 ・径0.5cm以下の貝化石を含み、炭化した木片も含む。
		-18.48		砂	褐灰		100					25.33~26.41m ・シルト混じり砂礫である。 ・全体に貝化石、木片を含み、下位ほど有機質の混入が多くなる。
				砂	砂		100					26.41~28.45m ・有機質土混じり砂である。
				砂	砂		100					28.45~30.63m ・砂礫である。
				砂	砂		100					28.45~28.80m ・細礫主体である。
				砂	砂		100					28.80~30.63m ・礫は径3~4cm、最大径8cmでアブライト主体。 ・一部、花崗斑岩を含む。 ・基質は中~粗粒砂。
<p>1-249(分類c)① 表現を統一したため。</p> <p>1-250(分類b)② 報告書の記載漏れを修正したため。</p>												

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験)試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給送水量 (l/分)	送水圧 (MPa)	送水流量 (l/分)	排水量 (l/分)		
														N 値 ~ 深度																
	-18.48	28.45	有粘質土 粘り砂	灰白										0	10	20	30	40	50			27.05		241	15.0	70	0.0	泥水 16	16	
30	-20.15	30.63	砂礫	褐灰						深度28.45~28.80m: 細礫主体。 深度28.80m以深: 礫は径3~4cm, 最大径9cm, アブライト主体。一部花崗斑岩含む。全株に新鮮硬質であるが、一部にアブライトのくさり礫を含む。基質は中~粗粒砂。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/19	99	17.5	20.0	130	0.0	泥水 5	5
	-20.68	31.37	砂礫	灰						礫は径0.3~0.5cm, 最大径3cmのアブライト亜角礫。基質はシルト混じり砂。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/22	105	35.0	60	0.0	泥水 5	0	
	-20.99	31.77	砂礫	灰黄褐						礫は径3~5cm, 最大径15cmのアブライト、花崗斑岩。一部にくさり礫を含む。基質は砂混じりシルト。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/23	146	30.0	130	0.0	泥水 5	0	
	-21.23	32.03	砂礫	明黄褐						細~粗粒砂を含み、全体に洶汰不良。細粒砂質シルトを薄層状に挟む。砂はやや洶汰された細~中粒砂。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/23	146	20.0	0.0	泥水 5	4		
	-21.43	32.29	砂礫	灰白						径20~35cmの巨礫を含む。礫はアブライト、花崗斑岩。基質はシルト混じり砂。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/23	146	60	0.0	泥水 16	16		
	-21.76	32.73	砂礫	灰黄						礫は径1~3cm, 最大径20cmのアブライト、花崗斑岩。一部にくさり礫を含む。基質は砂。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/24	146	22.5	130	0.0	泥水 5	5	
	-22.64	33.88	砂礫	明黄褐						礫は径8~10cm, 最大径16cmの亜角礫。くさりアブライト礫主体。くさり礫が多くなる。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/24	82	60	0.0	泥水 16	16		
	-23.14	34.53	砂礫	浅黄						礫は径0.5cm以下の平くさり礫主体。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/25	82	27.5	0.0	泥水 5	5		
	-23.52	35.00	砂礫	明黄褐						礫は径3~7cm, 最大径37cm, アブライト、花崗斑岩の亜角~角くさり礫主体。基質はシルト質砂。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/25	134	0.0	泥水 5	5			
40	-26.94	39.49	砂礫	明黄褐						礫は径3~5cm, 最大径55cm, アブライトのくさり礫主体。一部に花崗斑岩の風化礫を含む。亜角礫主体。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/26	149	25.0	130	0.0	泥水 3	3	
	-27.65	40.41	砂礫	明黄褐						深度44.65~96.00m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含む。石英は径0.1mm程度である。深度69.60~76.25m間は径5~15mm程度の石英斑晶を40%程度含む。深度44.65~49.35m: 変質により岩質脆くなる。深度46.49mまで節理に沿って流入粘土が認められる。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/26	149	17.5	25.0	0.0	泥水 3	3	
	-27.96	40.87	砂礫	明黄褐						深度50.82~51.08m, 51.84~53.05m: 変質により滑脱。コア粗しよう。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/27	117	25.0	22.5	0.0	泥水 3	3	
50	-29.80	43.27	砂礫	明黄褐						深度51.53~53.05m: 節理に沿って白色粘土を挟む。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/27	117	27.5	27.5	0.0	泥水 3	3	
	-30.89	44.65	砂礫	明黄褐						深度55.10~55.60m: 変質帯。上盤80度、下盤58度。岩質脆く灰白色粘土を挟む。深度55.27m, 傾斜70度。幅3~5mmの灰白色粘土を挟む。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/29	177	32.5	40.0	245	0.0	泥水 10	10
60			砂礫	明黄褐						深度59.06~59.20m: 節理多く、一部砂~礫状をなす。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/29	177	45.0	360	0.0	泥水 10	10	
			砂礫	明黄褐						深度60.80~60.83m: 傾斜57~60度の節理の空隙を非晶質の石英が充填。石英は厚さ0.3~2.0cmで累帯(級化)を生じる。				0	10	20	30	40	50			27.05	1/29	177	0.0	泥水 10	5	5	5	

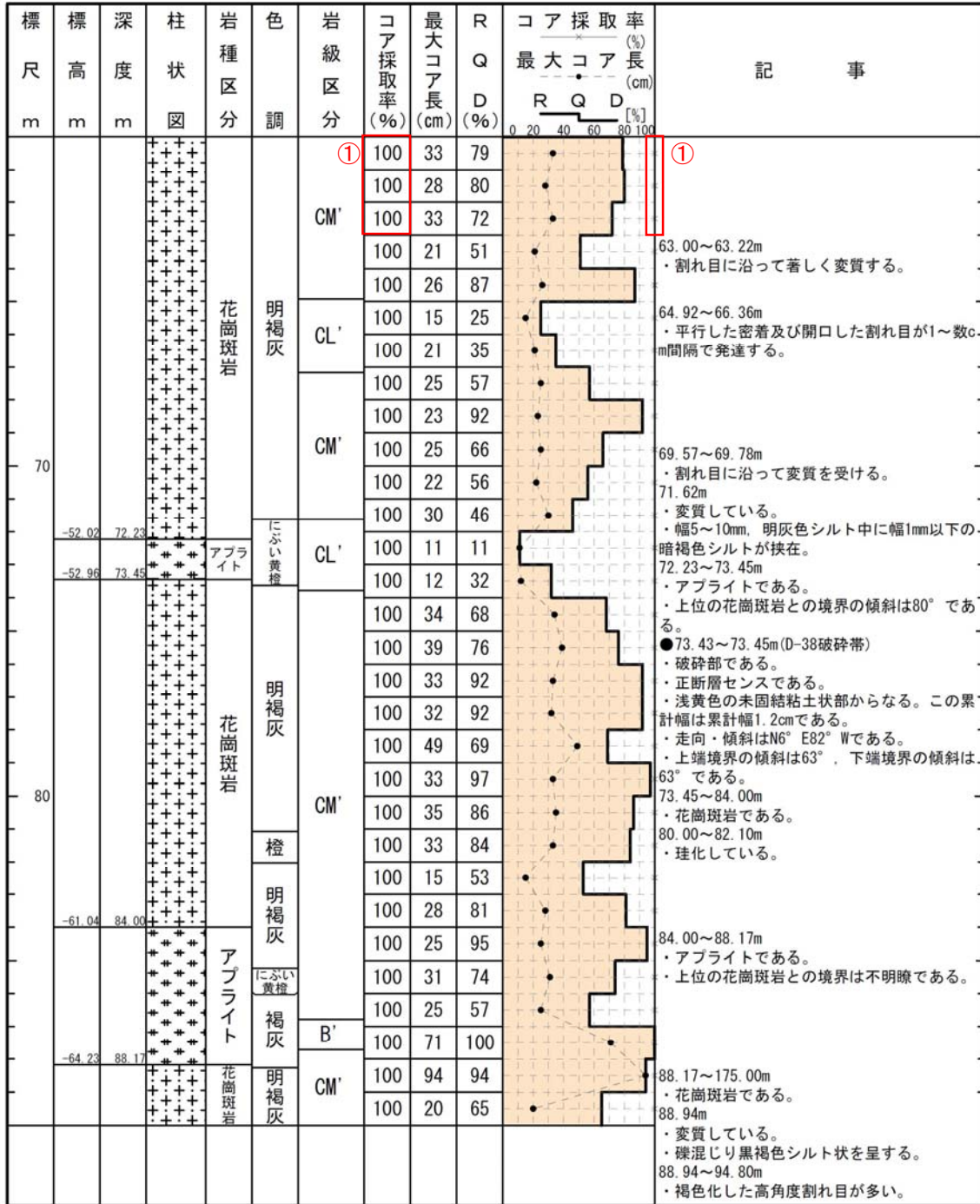
柱状図(30.00m～60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
		-20.15	30.63	砂礫	褐灰	③	100						③
		-20.68	31.12	礫混じり砂	灰	②	100						30.63～31.32m ・礫混じり砂である。
		-20.99	31.72	砂礫	灰黄褐		100						31.32～31.72m ・砂礫である。
		-21.73	32.03	シルト質礫	黄灰		100						31.72～32.03m ・シルト質礫である。
		-21.76	32.73	礫混じりシルト	灰黄褐		100						32.03～32.29m ・礫混じりシルト質砂である。
		-22.64	33.88	礫混じり砂	にふい 粉	②	100						32.29～32.73m ・礫混じり砂である。
		-23.14	34.53	礫混じり砂質シルト	暗オリーブ 色		100						32.73～33.88m ・礫混じり砂質シルトである。 ・一部にくさり礫を含む。
		-23.52	35.03	礫混じり砂	灰白		100						33.88～34.53m ・シルト混じり砂である。
		-25.11	37.10	礫混じり砂	灰黄		100						34.53～35.03m ・礫混じり砂質シルトである。 ・細粒砂質シルトを薄層状に挟む。
		-26.94	39.49	シルト混じり砂	明黄褐		100						35.03～37.10m ・礫混じり砂である。 ・径20～35cmの巨礫を含む。
		-27.65	40.41	シルト混じり砂	にふい 粉		100						37.10～39.49m ・砂礫である。 ・一部にくさり礫を含む。
		-27.98	40.87	礫混じり砂	明黄褐		100						39.49～40.41m ・シルト混じり砂礫である。 ・礫は径8～10cm、最大径16cm。
		-29.80	43.22	シルト混じり砂	明黄褐		100						40.41～40.82m ・礫混じり砂質シルトである。
		-30.89	44.65	砂礫	にふい 粉		100	24	24				40.82～43.22m ・シルト混じり砂礫である。 ・アブライト、花崗斑岩の垂角～角くさり礫 主体。
				砂礫	灰黄褐		100	32	84				43.22～44.65m ・砂礫である。
				砂礫	明黄褐	CL'	100	47	90				44.65～72.23m ・花崗斑岩である。
				砂礫	明黄褐	D'	100	35	82				44.65～49.35m ・変質している。
				砂礫	明黄褐	CM'	100	13	36				深度46.49mまで割れ目に沿って流入粘土が 認められる。
				砂礫	明黄褐	CL'	100	27	67				31.53～53.05m ・割れ目に沿って白色粘土を挟む。
				砂礫	明黄褐	CM'	100	23	84				53.10～55.60m ・変質している。
				砂礫	明黄褐	CL'	100	20	44				
				砂礫	明黄褐	CM'	100	19	55				
				砂礫	明黄褐	CL'	100	25	78				
				砂礫	明黄褐	CM'	100	10	30				
				砂礫	明黄褐	CL'	100	17	31				
				砂礫	明黄褐	CM'	100	18	62				
				砂礫	明黄褐	CL'	100	18	60				
				砂礫	明黄褐	CM'	100	19	30				

- 1-251～1-258(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-259～1-268(分類c)②  
表現を統一したため。
- 1-250(分類b)③  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給送水量 (l/分)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)				
															N 値 ~ 深度																			
	-18.48	28.45	有粘質土/細砂	灰白											0	10	20	30	40	50			27.05		116/ケーシング		15.0	70	0.0	泥水16	16			
			砂礫	褐灰						深度28.45~28.80m: 細礫主体。 深度28.80m以深: 礫は径3~4cm, 最大径9cm, アブライト主体。一部花崗斑岩含む。全株に新鮮硬質であるが、一部にアブライトのくさり礫を含む。基質は中~粗粒砂。														1/19 26.05		99		17.5	130	0.0	泥水5	5		
	-20.15	30.63	細粒砂	灰						礫は径0.3~0.5cm, 最大径3cmのアブライト亜角礫。基質はシルト混じり砂。													1/22 30.70		105		35.0	60	0.0	泥水5	0			
	-20.68	31.37	シルト質砂	灰黄褐						礫は径3~5cm, 最大径15cmのアブライト、花崗斑岩。一部にくさり礫を含む。基質は砂混じりシルト。													1/23 34.65		146		30.0	130	0.0	泥水5	0			
	-20.99	31.77	シルト質砂	明黄褐						細~粗粒砂を含み、全体に淘汰不良。細粒砂質シルトを薄層状に挟む。砂はやや淘汰された細~中粒砂。														1/23 34.65		146		20.0	0.0	泥水5	4			
	-21.23	32.03	シルト質砂	灰白						径20~35cmの巨礫を含む。礫はアブライト、花崗斑岩。基質はシルト混じり砂。													1/23 34.65		146		60	0.0	泥水16	16				
	-21.43	32.29	シルト質砂	明黄褐						礫は径1~3cm, 最大径20cmのアブライト、花崗斑岩。一部にくさり礫を含む。基質は砂。													1/24 38.05		149		22.5	130	0.0	泥水5	5			
	-21.76	32.73	シルト質砂	明黄褐						礫は径8~10cm, 最大径16cmの亜角礫。くさりアブライト礫主体。くさり礫が多くなる。													1/24 38.05		149		60	0.0	泥水16	16				
	-22.64	33.88	シルト質砂	明黄褐						礫は径0.5cm以下の平くさり礫主体。													1/25 40.85		149		27.5	0.0	泥水5	5				
	-23.14	34.53	シルト質砂	明黄褐						礫は径3~7cm, 最大径37cm, アブライト、花崗斑岩の亜角~角くさり礫主体。基質はシルト質砂。													1/25 40.85		149		0.0	泥水5	5					
	-23.52	35.00	シルト質砂	明黄褐						礫は径3~5cm, 最大径55cm, アブライトのくさり礫主体。一部に花崗斑岩の風化礫を含む。亜角礫主体。													1/25 40.85		149		25.0	0.0	泥水5	5				
	-25.11	37.10	シルト質砂	明黄褐						深度44.65~96.00m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石、一部黒雲母の斑晶を1~3%程度含む。石基は径0.1mm程度である。深度69.60~76.25m間は径5~15mm程度の石英斑晶を40%程度含む。深度44.65~49.35m: 変質により岩質脆くなる。深度46.49mまで節理に沿って流入粘土が認められる。																1/26 45.10		149		17.5	130	0.0	泥水3	3
	-26.94	39.49	シルト質砂	明黄褐						深度50.82~51.08m, 51.84~53.05m: 変質により滑脱。コア粗しよう。													1/26 45.10		149		25.0	0.0	泥水3	3				
	-27.65	40.41	シルト質砂	明黄褐						深度51.53~53.05m: 節理に沿って白色粘土を挟む。													1/27 49.70		117		22.5	0.0	泥水3	3				
	-27.96	40.87	シルト質砂	明黄褐						深度55.10~55.60m: 変質帯。上盤80度、下盤58度。岩質脆く灰白色粘土を挟む。深度55.27m, 傾斜70度。幅3~5mmの灰白色粘土を挟む。														1/27 49.70		117		27.5	0.0	泥水3	3			
	-29.80	43.27	シルト質砂	明黄褐						深度59.06~59.20m: 節理多く、一部砂~礫状をなす。													1/29 55.55		177		40.0	0.0	泥水10	10				
	-30.89	44.65	シルト質砂	明黄褐						深度60.80~60.83m: 傾斜57~60度の節理の空隙を非晶質の石英が充填。石英は厚さ0.3~2.0cmで累帯(級化)を生じる。													1/29 55.55		177		35.0	245	0.0	泥水10	5			

柱状図(60.00m～90.00m)



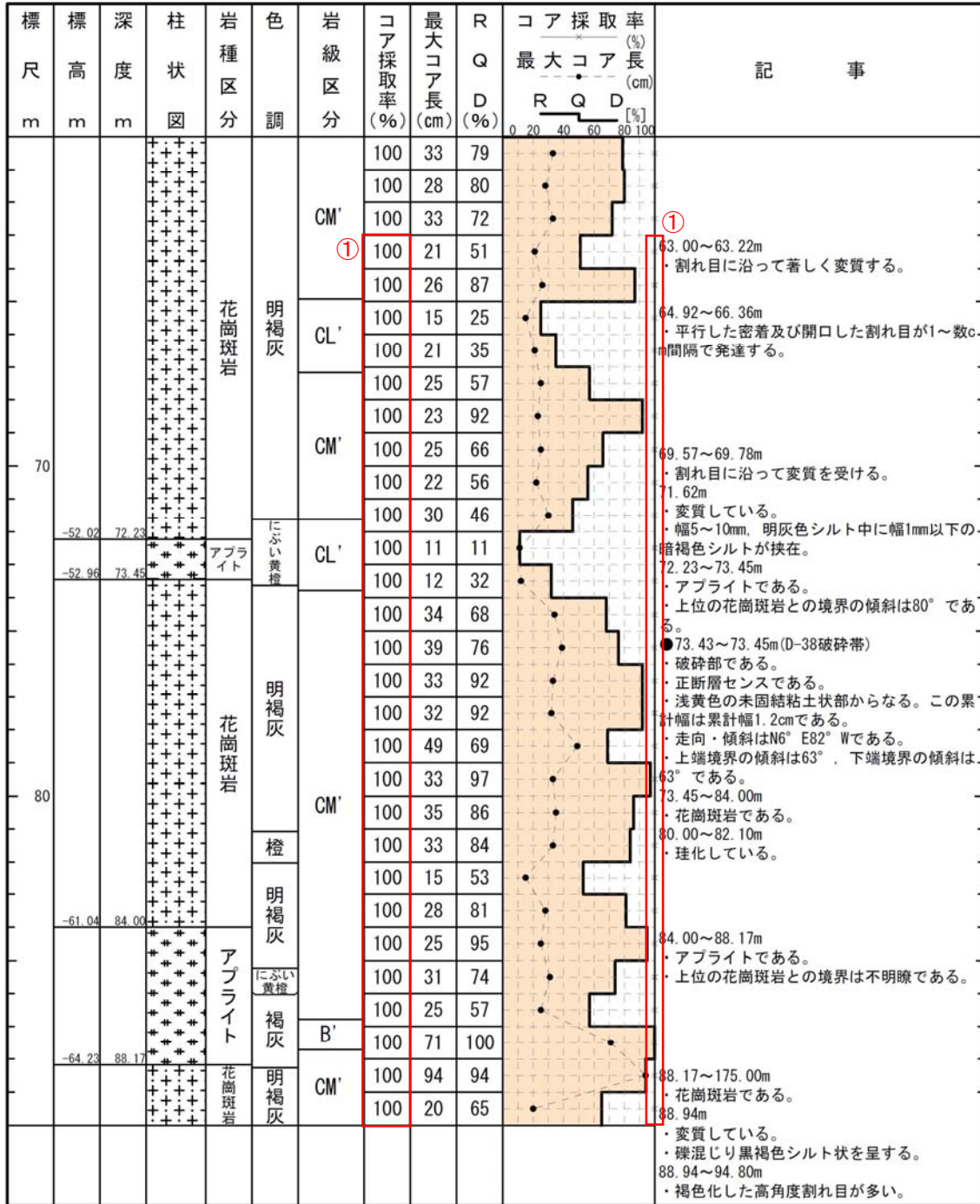
1-250(分類b)①  
 報告書の記載漏れを修正したため。







柱状図(60.00m～90.00m)



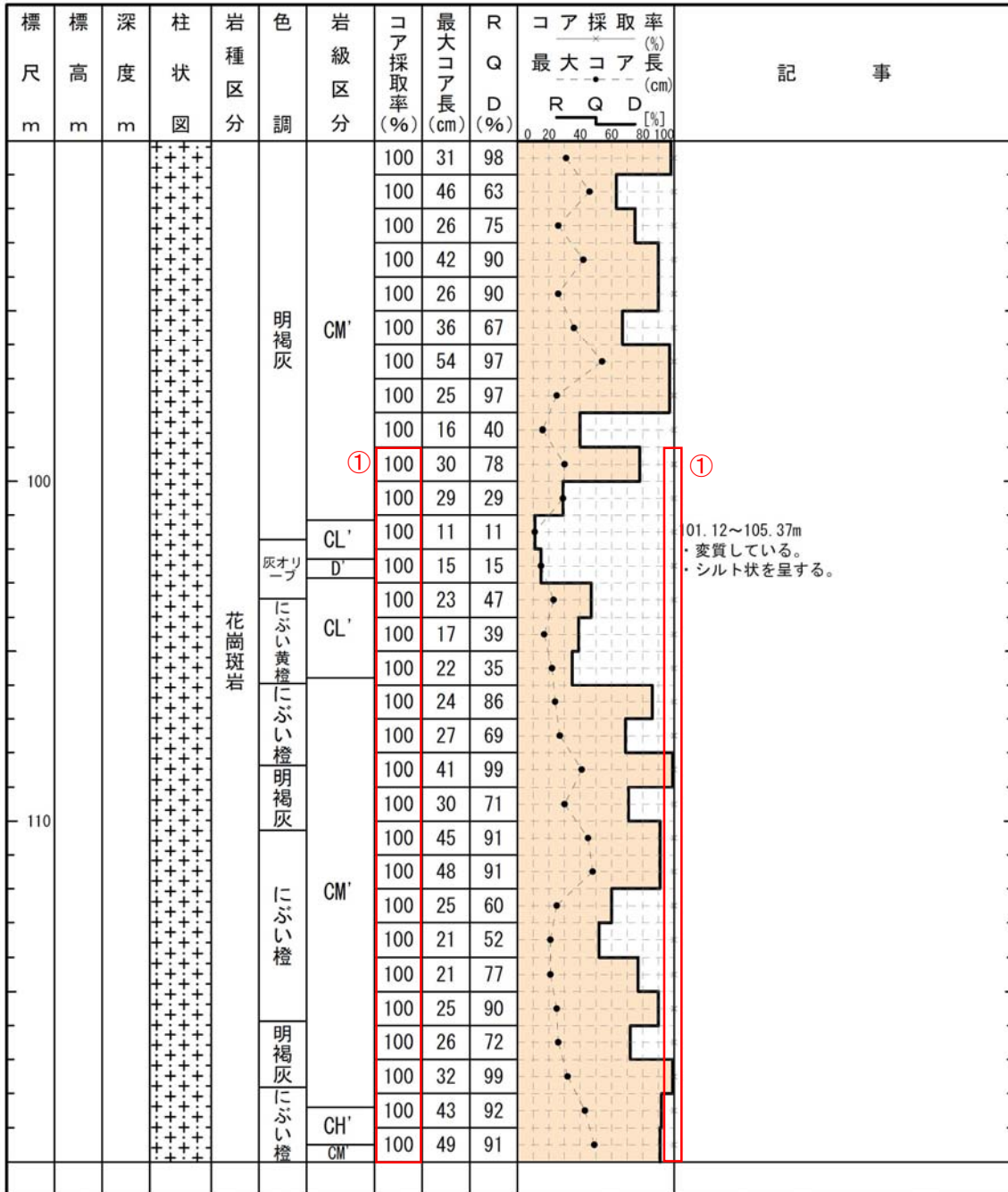
1-250(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。







柱状図(90.00m～120.00m)

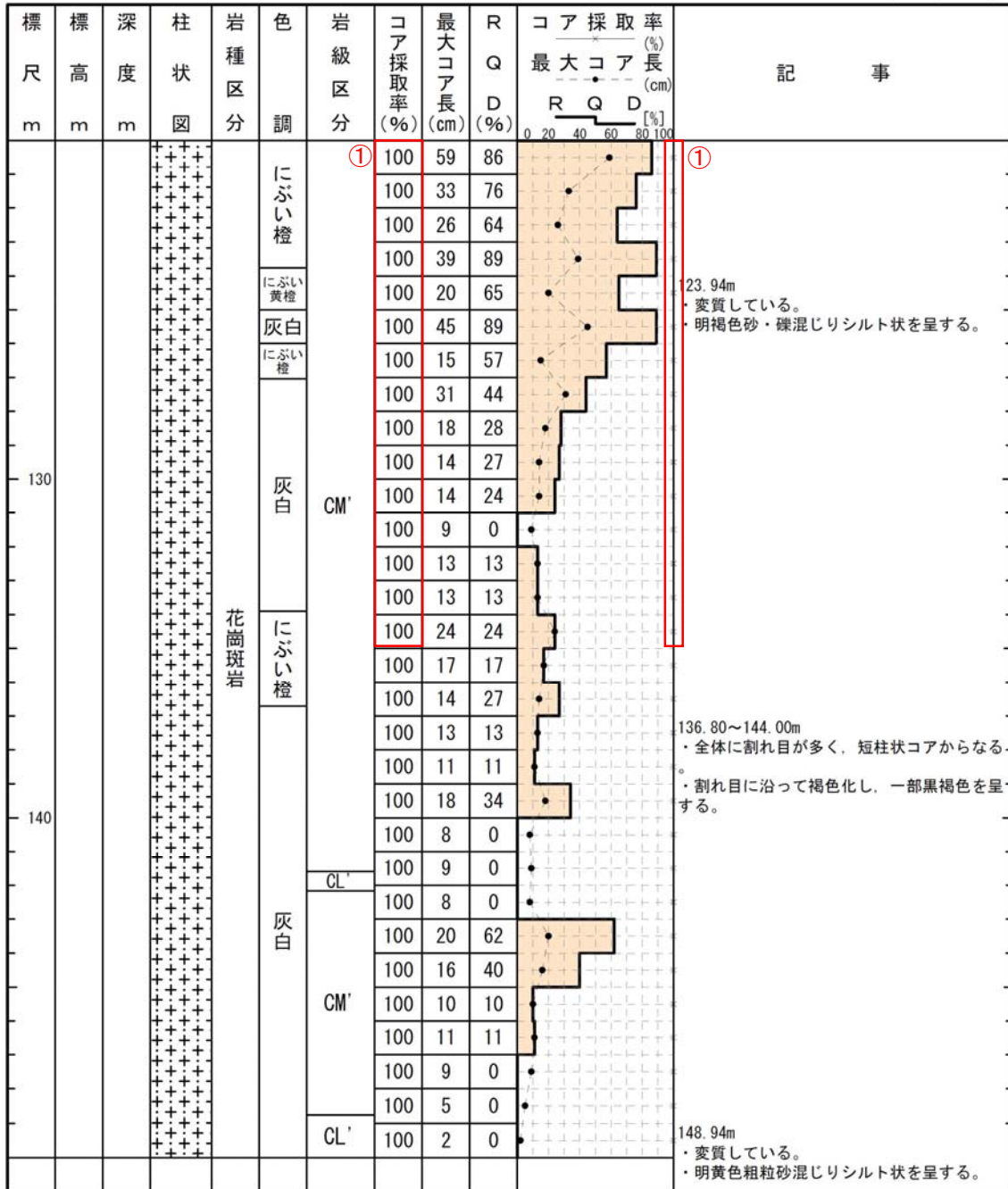


1-250(分類b)①  
 報告書の記載漏れを修正したため。





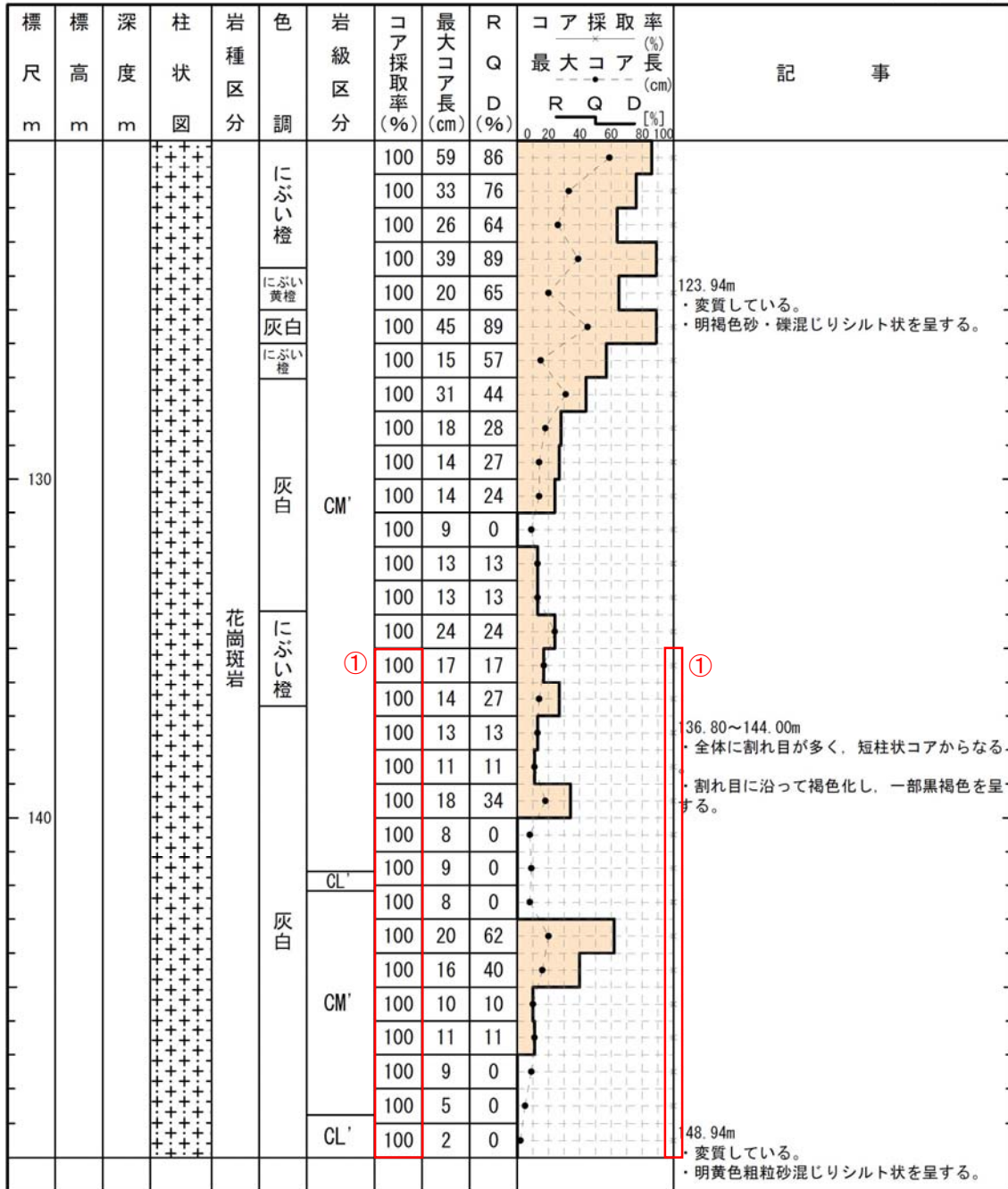
柱状図(120.00m～150.00m)



1-250(分類b)①  
 報告書の記載漏れを修正したため。



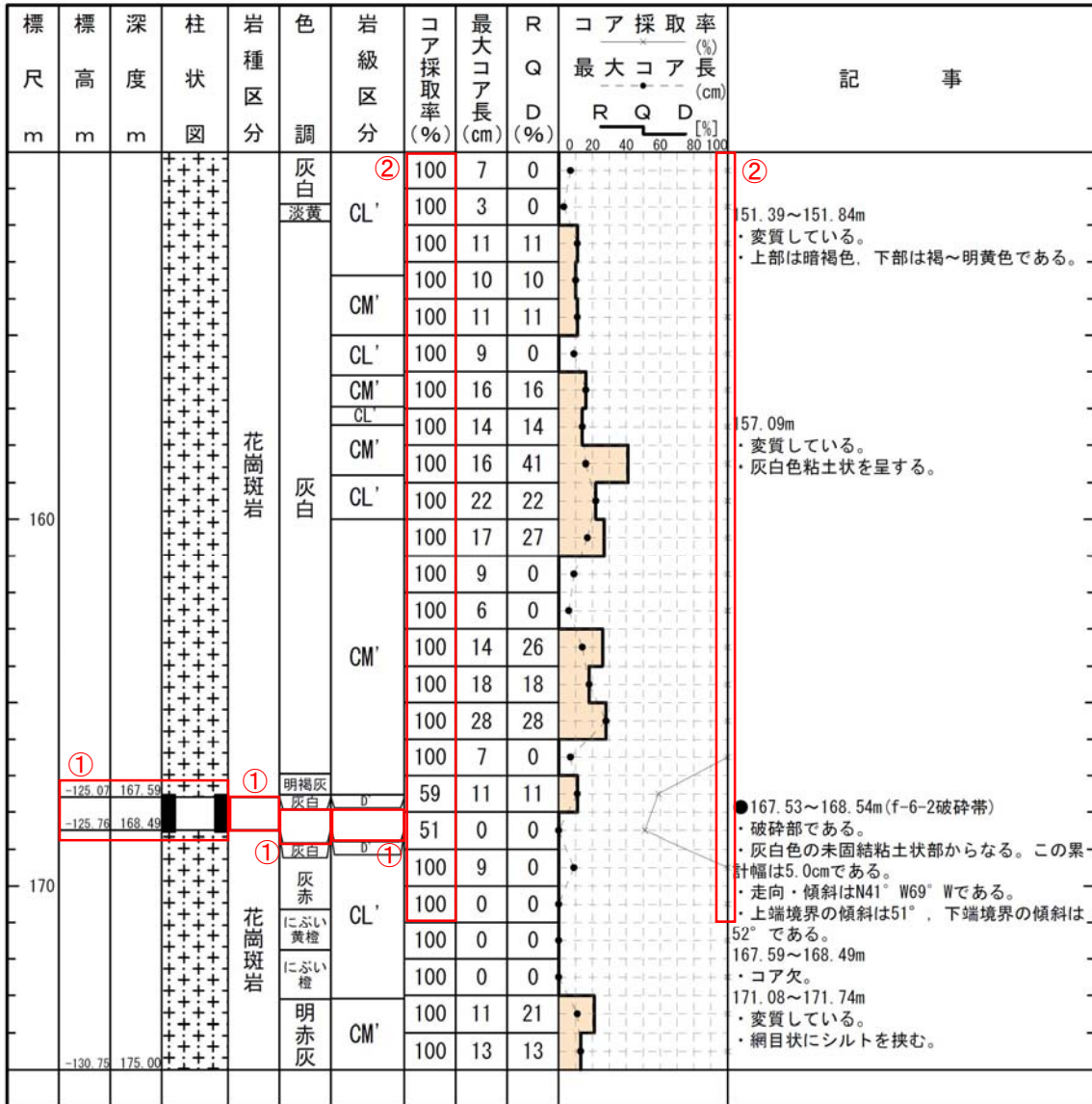
柱状図(120.00m～150.00m)



1-250(分類b)①  
 報告書の記載漏れを修正したため。



柱状図(150.00m～175.00m)

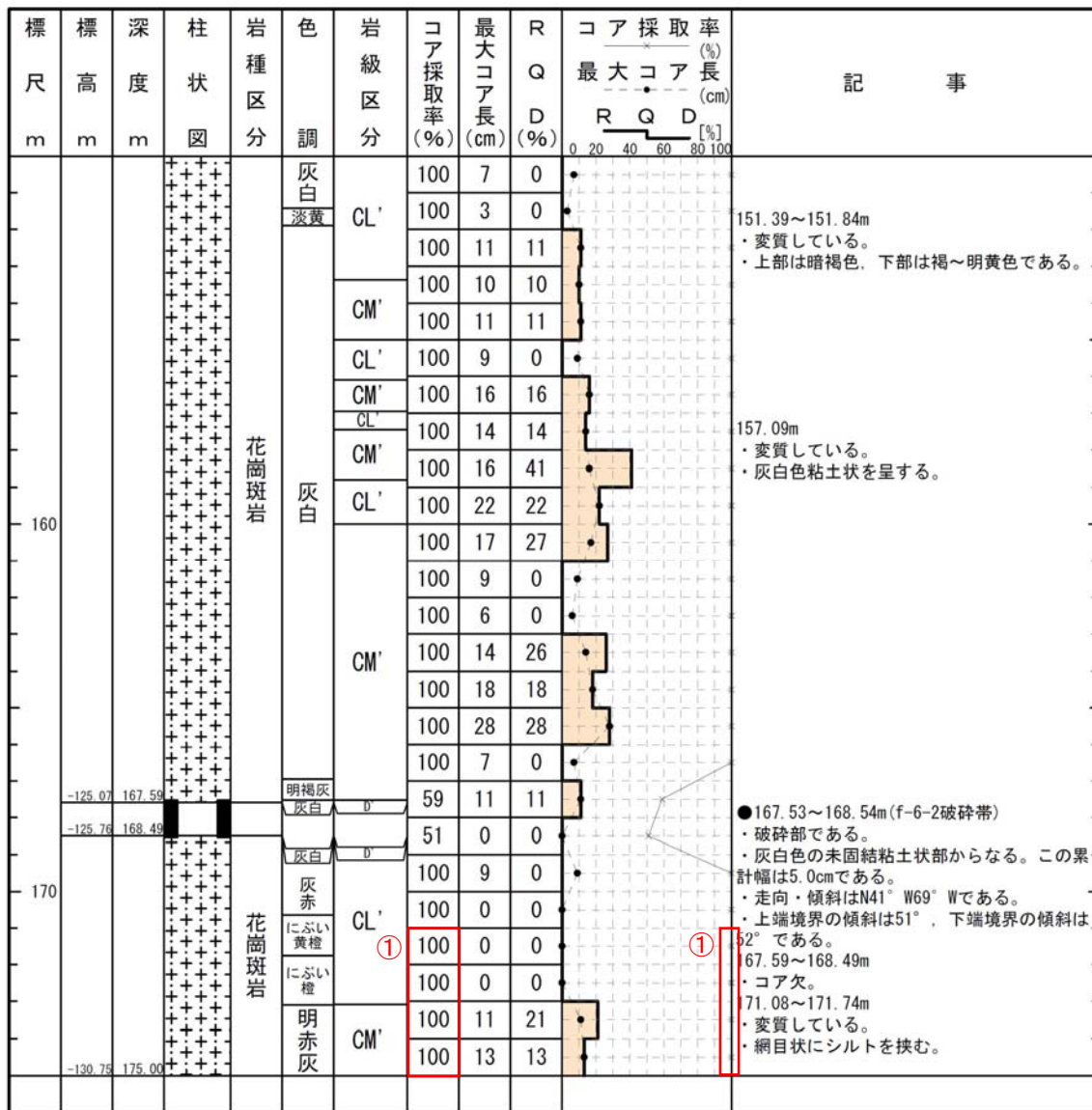


1-269～1-276(分類c)①  
 コア欠を岩種区分に反映させたため。  
 1-250(分類b)②  
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位(m)/測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
																N 値 ~ 深度															
		130.75	175.00	花崗斑岩	明赤灰	Dg IVg cg γ IVg bg IVg IVg				3	深度171.08~171.74m: 変質帯。上盤37度、下盤39度。網目状にシルトを挟む。  深度173.10~175.00m: 全体に弱く変質を受けている。	0 50 100 0 10 20 30 40 50	CL [CL]											113	76/泥水	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	42.5	130	0.0	泥水3	0
																							2/76.00								



柱状図(150.00m～175.00m)



1-250(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。



柱状図(0.00m~35.00m)

H19—No. 18

孔口標高	T.P.	7.03m	掘削長	175.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事
		0.00		盛土	黄褐	③	100					0.00~8.30m ・盛土である。
		8.30		盛土	褐		100					
		9.75		盛土	にぶい黄		100					8.30~9.75m ・玉石混じり砂礫である。
		10.25		盛土	にぶい黄		100					9.75~10.25m ・砂である。
		11.63		盛土	にぶい黄		100					10.25~11.63m ・砂礫である。
		13.34		盛土	にぶい黄		100					11.63~13.34m ・シルト混じり砂である。
		14.17		盛土	にぶい黄		100					13.34~14.17m ・砂礫である。
		15.54		盛土	にぶい黄		100					14.17~15.54m ・シルト混じり砂である。
		16.34		盛土	にぶい黄		100					15.54~16.34m ・砂である。
		17.04		盛土	にぶい黄		100					16.34~17.04m ・砂礫混じりシルト質砂である。
		17.81		盛土	にぶい黄		100					17.04~17.81m ・砂礫である。
		18.25		盛土	にぶい黄		100					17.81~18.25m ・高有機質土である。
		19.35		盛土	にぶい黄		100					18.25~19.35m ・有機質砂である。
		20.85		盛土	にぶい黄		100					19.35~20.85m ・木片・炭化物を多く含む。
		27.05		盛土	にぶい黄		100					20.85~27.05m ・炭化物を含み、一部木片が認められる。
		30.40		盛土	にぶい黄		100					27.05~30.40m ・砂である。
		35.00		盛土	にぶい黄		100					30.40~35.00m ・有機質砂である。
				花崗斑岩	にぶい黄		100	18	53			7.04~17.81m ・砂礫混じり砂である。
				花崗斑岩	にぶい黄		100	10	10			・径1cm以下、最大径4cmの垂角礫を含む中粒砂である。
				花崗斑岩	にぶい黄		100	30	72			7.81~18.25m ・砂である。
				花崗斑岩	にぶい黄		100	10	21			8.25~19.35m ・砂礫である。
				花崗斑岩	にぶい黄		100	25	70			9.35~45.52m ・花崗斑岩である。
				花崗斑岩	にぶい黄		100	14	14			20.00~21.29m ・強風化部である。
				花崗斑岩	にぶい黄		100	10	10			20.85~27.05m ・アブライトである。
				花崗斑岩	にぶい黄		100	19	33			23.02~24.68m ・全体に強風化し、黄褐色を帯び、割れ目に沿ってシルトを挟む。
				花崗斑岩	にぶい黄		100	0	0			30.40~42.40m ・アブライトである。
				花崗斑岩	にぶい黄		100	11	11			
				花崗斑岩	にぶい黄		100	12	22			
				花崗斑岩	にぶい黄		100	10	10			
				花崗斑岩	にぶい黄		100	12	35			

- 1-277~1-280(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-281~1-285(分類c)②  
表現を統一したため。
- 1-286(分類b)③  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤分類	岩級区分	孔内水位(測定期日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔径(mm) / 孔壁保護	コーチャチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)									
																N 値 ~ 深度																								
30	16.40	27.05	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	深度28.18~29.61m: 風化しているが、柱状コアをなす。節理に沿って黒褐色酸化マンガンを挟む。		D'										115 / ケーシング																	
	19.30	30.40	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	アプライト、上位との境界不明瞭。深度30.34~33.00m: 強風化し軟質。節理の多くは密着し、やや不明瞭。		D'										95 / ケーシング																	
40	29.69	42.40	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	深度33.00m以深、強い風化を受けているが、弱風化のところもあり。		D'																											
	32.39	45.52	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	深度35.14~35.16m: 傾斜58~61度。幅5~8mm。黒褐色固結状シルトを挟む。		D'																											
	32.39	45.52	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	深度37.73m以深、柱状コアをなすが、強風化し、やや軟質。節理に沿って褐色を帯びる。深度38.50~38.65m: 石英の斑晶多い。		D'																											
	32.39	45.52	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	深度41.90~42.41m: 変質帯。上盤66度、下盤48度、砂状化。深度41.97~42.00m: 流入粘土を挟む。上盤61度、下盤62度、幅15~18mm。黄褐色砂混じりシルト状。花崗斑岩、上位との境界不明瞭。		D'																											
50	32.39	45.52	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	アプライト、下位との境界傾斜33度。深度45.52~53.30m: アプライト。石基は径0.1mm以下である。深度45.50m: 風化軟質化の下限。深度45.90~46.75m: 幅5cm程度のベグマタイト脈を挟む。		D'																											
	39.13	53.30	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	深度50.09m: シーム。傾斜55度。幅2~3mm。黒褐色シルト状。深度50.19m: シーム。傾斜43度。幅1~5mm。黒褐色シルト状。		D'																											
60	39.13	53.30	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	花崗斑岩、上位との境界不明瞭。深度53.30~65.70m: 花崗斑岩。斑晶は径0.2~0.5cmの石英主体で散在程度。石基は径0.1~0.5mm。深度54.69~58.10m: 変質帯。上盤40度、下盤47度。珪化変質し、硬質。一部脱色し灰白色を帯びる。		D'																											
	39.13	53.30	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	深度59.40~60.14m: 変質をうけ、脱色している。		D'																											
	39.13	53.30	花崗斑岩	硬軟状	ε	ε	ε	ε	ε	ε	深度62.44~63.36m: 珪化変質帯。岩片は硬質。		D'																											

# H19—No. 18

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H19—No. 18

孔 口 標 高	T.P.	7.03m	掘 削 長	175.00m
---------	------	-------	-------	---------

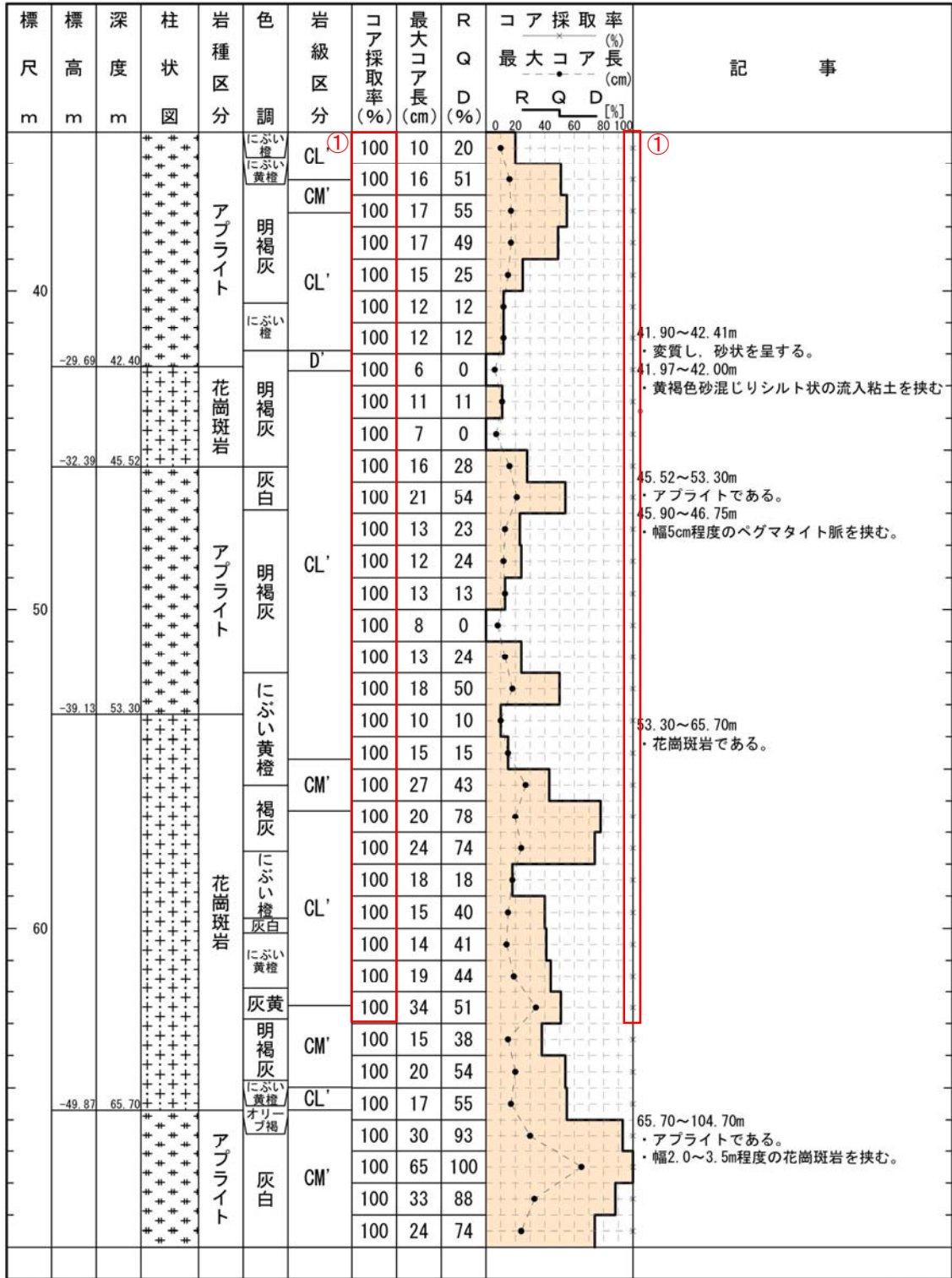
標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)	記 事
										最大コア長 (cm)	
					黄褐		100				0.00~8.30m ・盛土である。
				盛土	褐		100				
					にぶい黄		100				8.30~9.75m ・玉石混じり砂礫である。
					にぶい黄		100				9.75~10.25m ・砂である。
					にぶい黄		100				10.25~11.63m ・砂礫である。
					にぶい黄		100				11.63~11.95m ・シルト混じり砂である。
					にぶい黄		100				11.95~12.16m ・砂である。
					にぶい黄		100				12.16~13.34m ・礫混じりシルト質砂である。
					にぶい黄		100				13.34~13.98m ・シルト混じり砂である。
					にぶい黄		100				13.98~14.17m ・砂礫である。
					にぶい黄		100				14.17~14.30m ・高有機質土である。
					にぶい黄		100				14.30~15.54m ・有機質砂である。
					にぶい黄		100				15.54~16.34m ・砂である。
					にぶい黄		100				16.34~17.04m ・炭化物を含み、一部木片が認められる。
					にぶい黄		100				17.04~17.81m ・有機質砂である。
					にぶい黄		100				17.81~18.25m ・礫混じり砂である。
					にぶい黄		100				18.25~19.35m ・砂である。
					にぶい黄		100				19.35~45.52m ・砂礫である。
					にぶい黄		100				20.00~21.29m ・花崗斑岩である。
					にぶい黄		100				21.29~20.85m ・強風化部である。
					にぶい黄		100				20.85~27.05m ・アブライトである。
					にぶい黄		100				27.05~23.02m ・全体に強風化し、黄褐色を帯び、割れ目に沿ってシルトを挟む。
					にぶい黄		100				23.02~24.68m ・アブライトである。
					にぶい黄		100				24.68~30.40m ・アブライトである。
					にぶい黄		100				30.40~42.40m ・アブライトである。

1-286(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ( % ) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級分類	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)									
															0	10	20	30	40												50								
30	-16.40 -19.30	27.05 30.40	アプライト 花崗斑岩	アプライト 花崗斑岩	灰色	硬軟	IVg Dg	割れ目	ε δ		深度28.18~29.61m: 風化しているが、柱状コアをなす。節理に沿って黒褐色酸化マンガンを挟む。	0 10 20 30 40 50	D'	D'																									
40	-19.30 -29.69	30.40 42.40	アプライト 明褐灰	アプライト 明褐灰	灰色 褐色	硬軟 軟	IVg Dg IIIg IVg IIIg IVg IIIg	割れ目	ε δ γ	2	アプライト、上位との境界不明瞭。 深度30.34~33.00m: 強風化し軟質。節理の多くは密着し、やや不明瞭。 深度33.00m以深、強い風化を受けているが、弱風化のところもあり。 深度35.14~35.16m: 傾斜58~61度。幅5~8mm。黒褐色固結状シルトを挟む。 深度37.73m以深、柱状コアをなすが、強風化し、やや軟質。節理に沿って褐色を帯びる。 深度38.50~38.65m: 石英の斑晶多い。	0 10 20 30 40 50	D'	D'																									
50	-29.69 -32.39	42.40 45.52	花崗斑岩 明褐灰	花崗斑岩 明褐灰	褐色 灰色	軟 硬軟	Dg IVg Eg IIIg IVg IIIg IVg IIIg	割れ目	δ γ	3	深度41.90~42.41m: 変質帯。上盤66度。下盤48度。砂状化。 深度41.97~42.00m: 流入粘土を挟む。上盤61度。下盤62度。幅15~18mm。黄褐色砂混じりシルト状。 花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 アプライト、下位との境界傾斜33度。 深度45.52~53.30m: アプライト。石基は径0.1mm以下である。 深度45.50m: 風化軟質化の下限。 深度45.90~46.75m: 幅5cm程度のベグマタイト脈を挟む。	0 10 20 30 40 50	D'	D'																									
60	-32.39 -39.13	45.52 53.30	アプライト 明褐灰	アプライト 明褐灰	灰色 褐色	硬軟 硬軟	Dg IVg Cg IIIg IVg Cg IIIg IVg IIIg	割れ目	γ	2	深度50.09m: シーム。傾斜55度。幅2~3mm。黒褐色シルト状。 深度50.19m: シーム。傾斜43度。幅1~5mm。黒褐色シルト状。	0 10 20 30 40 50	D'	D'																									
	-39.13	53.30	花崗斑岩 明褐灰	花崗斑岩 明褐灰	褐色 灰色	硬軟 硬軟	Dg IVg Cg IIIg IVg Cg IIIg IVg IIIg	割れ目	γ	3	花崗斑岩、上位との境界不明瞭。 深度53.30~65.70m: 花崗斑岩。斑晶は径0.2~0.5cmの石英主体で散在程度。石基は径0.1~0.5mm。 深度54.69~58.10m: 変質帯。上盤40度。下盤47度。珩化変質し、硬質。一部脱色し灰白色を帯びる。	0 10 20 30 40 50	D'	D'																									
			花崗斑岩 明褐灰 灰白 明褐灰 灰白 明褐灰 灰白	花崗斑岩 明褐灰 灰白 明褐灰 灰白	褐色 灰色 灰白色 褐色 灰色 灰白色	硬軟 硬軟 硬軟 硬軟 硬軟 硬軟	Dg IVg Cg IIIg IVg Cg IIIg IVg Cg IIIg IVg Cg IIIg IVg Cg IIIg	割れ目	γ	2	深度59.40~60.14m: 変質をうけ、脱色している。 深度62.44~63.36m: 珩化変質帯。岩片は硬質。	0 10 20 30 40 50	D'	D'																									



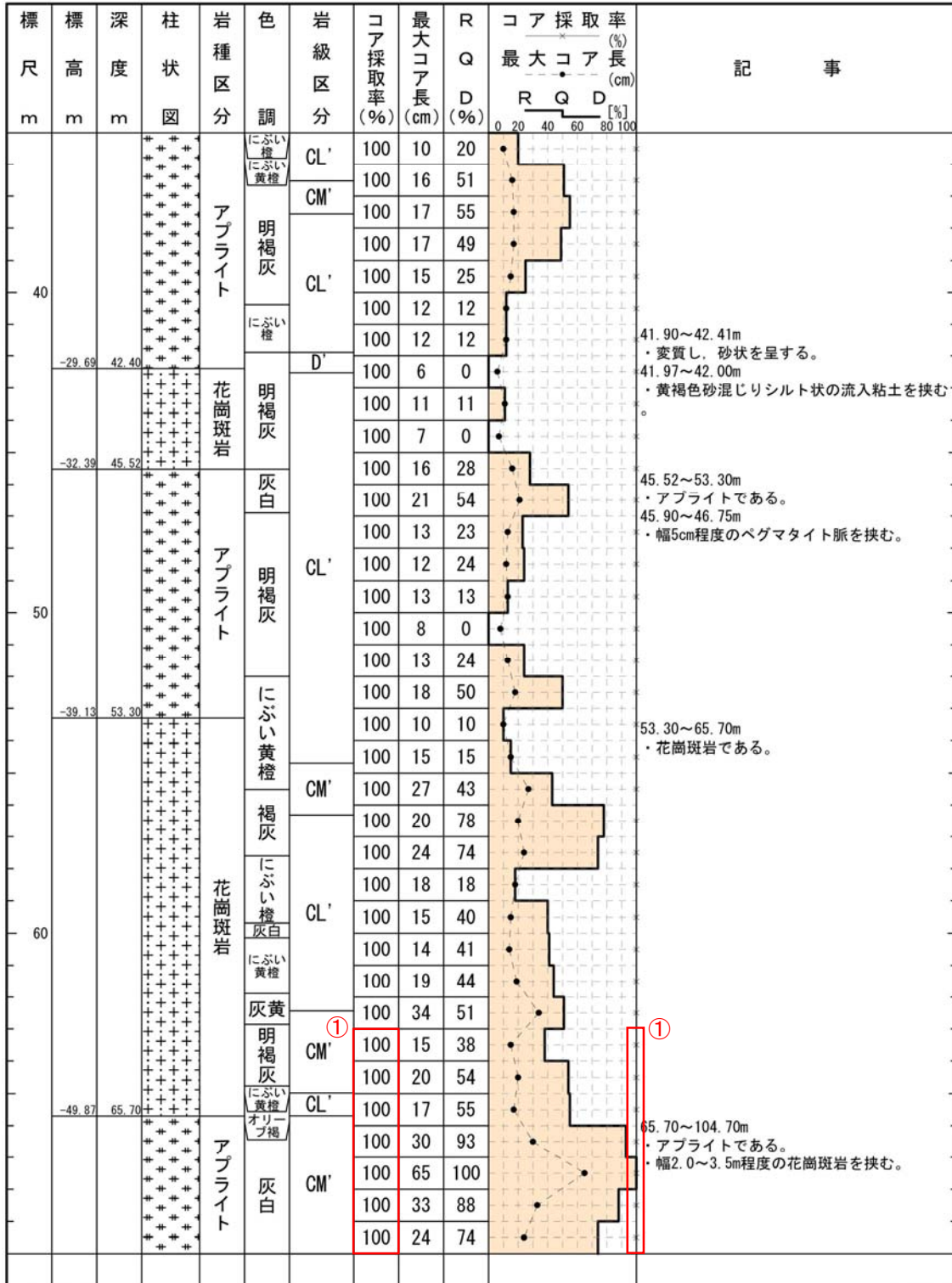
柱状図(35.00m～70.00m)



1-286(分類b)①  
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風化	変質	記号	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	孔内水位 (N) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm)	コアチューブ 保護	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)				
															( N 値 ~ 深度 )																			
70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	明褐灰	Cg	III g	bg	γ	2				OM		0	10	20	30	40	50			2/21	64.00	108					0.0	泥水 5	5	
																15	30	45	60	75	90													100
																20	35	50	65	80	95													100
																25	40	55	70	85	100													100
																30	45	60	75	90	100													100
																35	50	65	80	95	100													100
																40	55	70	85	100	100													100
																45	60	75	90	100	100													100
																50	65	80	95	100	100													100
																55	70	85	100	100	100													100
																60	75	90	100	100	100													100
																65	80	95	100	100	100													100
80	-62.25	80.00	+	アブライト	灰白	Cg	III g	bg	γ	2				OM		0	10	20	30	40	50			2/22	72.00						0.0	泥水 5	0	
																15	30	45	60	75	90													100
																20	35	50	65	80	95													100
																25	40	55	70	85	100													100
																30	45	60	75	90	100													100
																35	50	65	80	95	100													100
																40	55	70	85	100	100													100
																45	60	75	90	100	100													100
																50	65	80	95	100	100													100
																55	70	85	100	100	100													100
																60	75	90	100	100	100													100
																65	80	95	100	100	100													100
70	85	100	100	100	100	100																												
90	-65.11	83.30	+	アブライト	暗褐	IV g	I g	bg	γ	3				OM		0	10	20	30	40	50			2/26	86.00						0.0	泥水 5	3	
																15	30	45	60	75	90													100
																20	35	50	65	80	95													100
																25	40	55	70	85	100													100
																30	45	60	75	90	100													100
																35	50	65	80	95	100													100
																40	55	70	85	100	100													100
																45	60	75	90	100	100													100
																50	65	80	95	100	100													100
																55	70	85	100	100	100													100
																60	75	90	100	100	100													100
																65	80	95	100	100	100													100
70	85	100	100	100	100	100																												
80	95	100	100	100	100	100																												
90	-73.21	92.65	+	アブライト	暗褐	IV g	I g	bg	γ	3				OM		0	10	20	30	40	50			2/27	94.00						0.0	泥水 5	2	
																15	30	45	60	75	90													100
																20	35	50	65	80	95													100
																25	40	55	70	85	100													100
																30	45	60	75	90	100													100
																35	50	65	80	95	100													100
																40	55	70	85	100	100													100
																45	60	75	90	100	100													100
																50	65	80	95	100	100													100
																55	70	85	100	100	100													100
																60	75	90	100	100	100													100
																65	80	95	100	100	100													100
70	85	100	100	100	100	100																												
80	95	100	100	100	100	100																												
90	-76.19	96.10	+	アブライト	灰褐	IV g	I g	bg	γ	2				OM		0	10	20	30	40	50			2/27	94.00						0.0	泥水 5	0	
																15	30	45	60	75	90													100
																20	35	50	65	80	95													100
																25	40	55	70	85	100													100
																30	45	60	75	90	100													100
																35	50	65	80	95	100													100
																40	55	70	85	100	100													100
																45	60	75	90	100	100													100
																50	65	80	95	100	100													100
																55	70	85	100	100	100													100
																60	75	90	100	100	100													100
																65	80	95	100	100	100													100
70	85	100	100	100	100	100																												
80	95	100	100	100	100	100																												
90	-77.19	97.25	+	アブライト	にぶい黄褐	IV g	I g	bg	γ	2				OM		0	10	20	30	40	50			2/27	94.00						0.0	泥水 5	0	
																15	30	45	60	75	90													100
																20	35	50	65	80	95													100
																25	40	55	70	85	100													100
																30	45	60	75	90	100													100
																35	50	65	80	95	100													100
																40	55	70	85	100	100													100
																45	60	75	90	100	100													100
																50	65	80	95	100	100													100
																55	70	85	100	100	100													100
																60	75	90	100	100	100													100
																65	80	95	100	100	100													100
70	85	100	100	100	100	100																												
80	95	100	100	100	100	100																												
90	-77.19	97.25	+	アブライト	にぶい黄褐	IV g	I g	bg	γ	2				OM		0	10	20	30	40	50			2/27	94.00						0.0	泥水 5	0	
																15	30	45	60	75	90													100
																20	35	50	65	80	95													100
																25	40	55	70	85	100													100
																30	45	60	75	90	100													100
																35	50	65	80	95	100													100
																40	55	70	85	100	100													100
																45	60	75	90	100	100													100
																50	65	80	95	100	100													100
																55	70	85	100	100	100													100
																60	75	90	100	100	100													100
																65	80	95	100	100	100													100
70	85	100	100	100	100	100																												
80	95	100	100	100	100	100																												
90	100	100	100	100	100	100																												

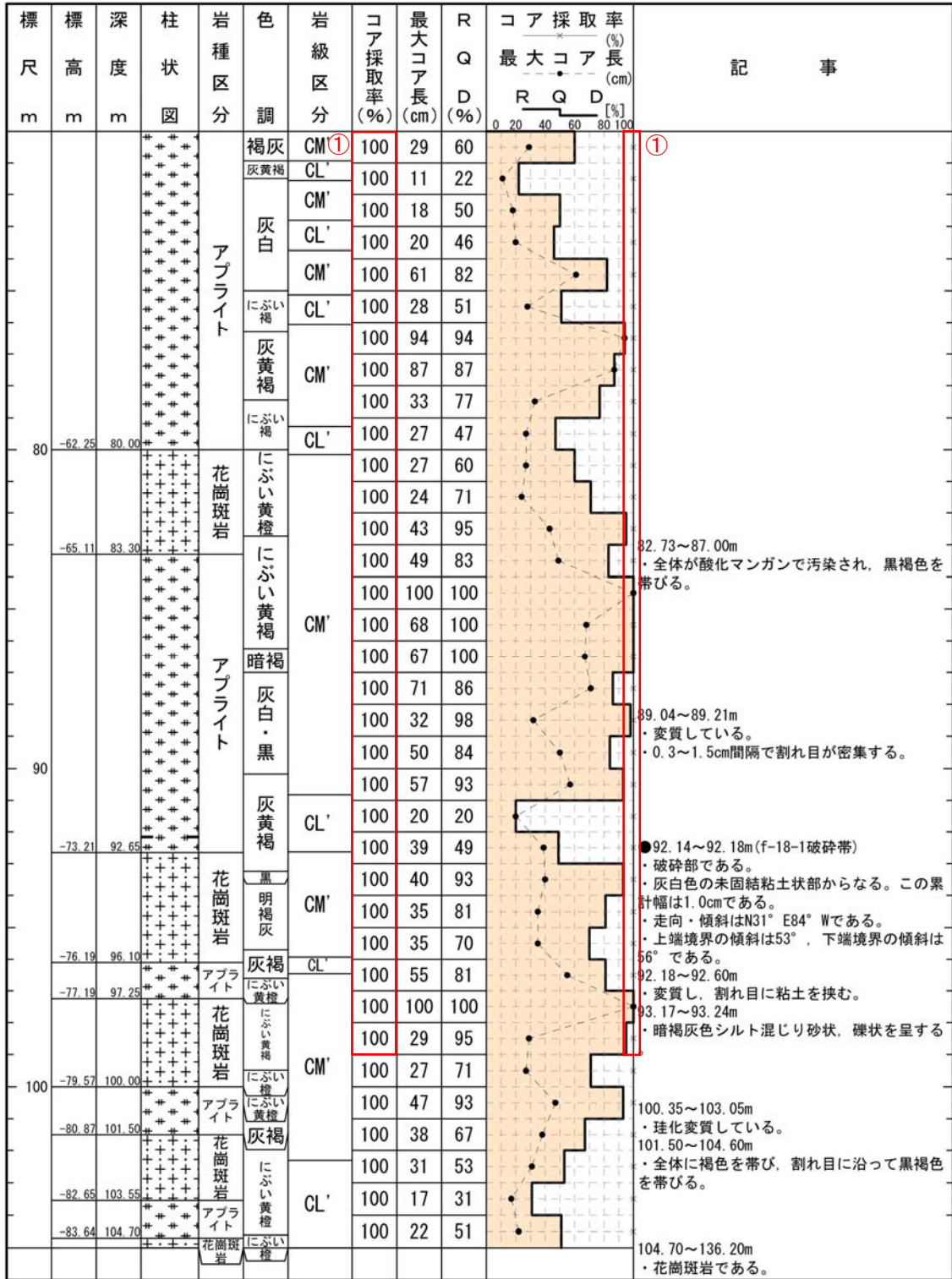
柱状図(35.00m～70.00m)



1-286(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	風化	変質	記号	岩盤区分	岩内水位(測定日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験(岩内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																													
													( N 値 ~ 深度 )																																																																																																																																																																																																																																																											
70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	明褐灰	Cg	bg	γ	2	深度64.98m: シーム。傾斜68度。幅1mm。黒褐色粘土状。 深度64.98~65.55m: 変質帯。上盤68度。下盤62度。節理密集部。一部礫状。	OM	N	0	50	100	21	64.00	108	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	5																																																																																																																																																																																																																																																
																									70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	灰白	Cg	bg	2	深度65.04m: シーム。傾斜67度。幅1~1.5mm。暗褐色~黄褐色シルト状。 深度65.27m: シーム。傾斜64度。幅1mm。暗褐色シルト状。 アフライト。上位との境界不明瞭。 深度65.70~104.70m: アフライト。厚さ2.0~3.5m程度の花崗斑岩を挟む。 アフライトの石基は0.1mm以下であり。斑晶が非常に少ない。	OM	N	0	50	100	22	72.00	104	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	0																																																																																																																																																																																																																								
																																																	70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	褐灰	Dg	cg	2	深度70.00~75.00m: 変質による溶脱部と珪化部とが0.5~1.0m単位で出現。	CL	N	0	50	100	23	75.40	111	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	0																																																																																																																																																																																																
																																																																									70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	アフライト	Cg	bg	2	深度76.30~78.45m: 全体に酸化マンガで汚染され。黒色斑状を呈する。	OM	N	0	50	100	24	81.30	111	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	0																																																																																																																																																																								
																																																																																																	70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	にぶい褐	IVg	cg	2	深度80.00~82.73m: 珪化変質をうけ硬質。	CL	N	0	50	100	25	86.00	95	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	0																																																																																																																																																
																																																																																																																									70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	にぶい黄褐	I g	cg	2	花崗斑岩。上位下位との境界不明瞭。	OM	N	0	50	100	26	86.00	98	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	0																																																																																																																								
																																																																																																																																																	70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	にぶい黄褐	I g	cg	2	深度82.73~87.00m: 全体に酸化マンガで汚染され。黒褐色を帯びる。	OM	N	0	50	100	27	94.00	98	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	0																																																																																																
																																																																																																																																																																									70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	アフライト	IVg	cg	2	深度87.00~90.18m: 変質帯。下盤46度。酸化マンガ濃集部と白色変質部が斑状模様を示す。	OM	N	0	50	100	28	96.00	64	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	3																																																																								
																																																																																																																																																																																																	70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	灰白・黒	Dg	cg	2	深度89.04~89.21m: 変質帯。上盤60度。下盤66度。0.3~1.5cm間隔で節理密集。	CL	N	0	50	100	29	96.00	64	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	3																																																
																																																																																																																																																																																																																									70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	灰黄褐	Cg	cg	2	深度90.18~91.65m: 溶脱し岩質脆い。	CL	N	0	50	100	30	96.00	64	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	3																								
																																																																																																																																																																																																																																																	70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	明褐灰	I g	cg	2	深度92.14~92.18m: 破砕帯(Hc)。上盤50度。下盤56度。幅2~15mm。灰白色砂質シルト状。 深度92.18~92.60m: 変質帯。上盤56度。下盤80度。節理密集部。粘土を挟む。 花崗斑岩。上位との境界漸移的。 深度93.17~93.24m: 幅3~15mm。暗褐色シルト混じり砂・礫状。	OM	N	0	50	100	31	96.00	64	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	2
70	-49.87	65.70	+	花崗斑岩	にぶい黄褐	Dg	cg	2	深度98.07~99.45m: 比較的節理多く。柱状。一部岩片状コア。	OM	N	0	50	100	33	96.00	64	ダブルコアチューブ/ダイヤモンド	35.0	100	0.0	泥水5	0																																																																																																																																																																																																																																																	

柱状図(70.00m~105.00m)

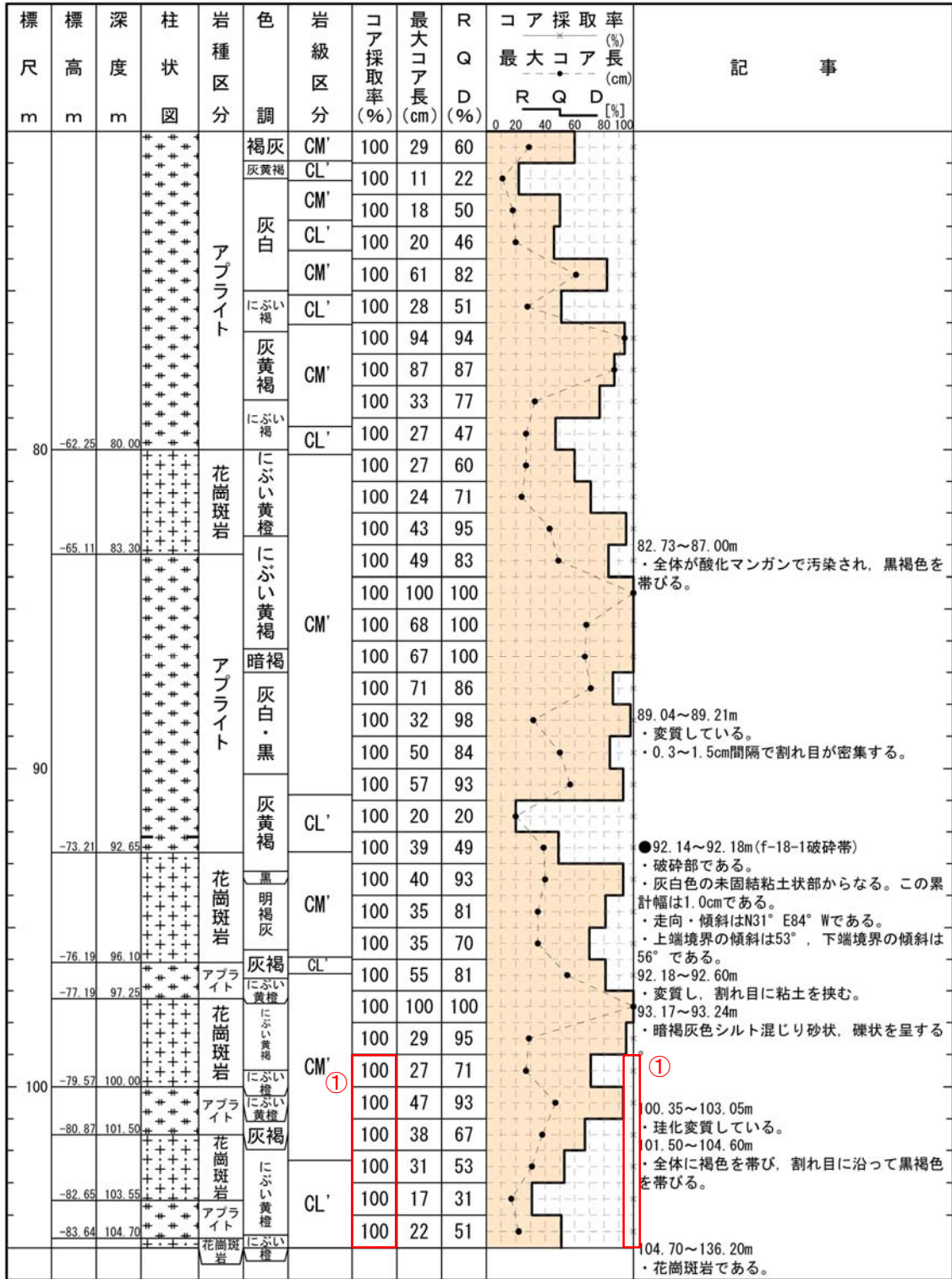


1-286(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	孔内水位(測定期日) (N) 値	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )				原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔径 (mm) / 孔壁保護	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)					
													0	10	20	30															
100	79.57	100.00	花崗斑岩アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	bg	γ	深度100.35~103.05m: 珪化変質帯。アフライト、上位との境界漸移的、下位との境界傾斜28度。 深度101.50~104.60m: 全体に褐色を帯び、節理に沿って黒褐色を帯びる。	0.77 [97] 0.47 [97] 0.38 [67] 0.31 [53] 0.22 [54]	OM																				
	80.87	101.50	花崗斑岩アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	γ	深度103.10~103.50m: 弱い溶脱部。低角度の節理密集し、岩片状。 アフライト、上位との境界漸移的、下位との境界傾斜20~30度。 深度104.70~136.20m: 花崗斑岩。径2~5mm程度の石英、長石及び黒雲母の斑晶を5~20%程度含み、石基は径0.1mm以下である。 深度105.45~110.60m: 弱い珪化変質を受け、岩片は硬質。	0.27 [91] 0.22 [54] 0.18 [41] 0.22 [53] 0.16 [87] 0.25 [85] 0.30 [100] 0.30 [88] 0.46 [91] 0.27 [97] 0.31 [74] 0.19 [24] 0.28 [67] 0.26 [40] 0.38 [40]	CL																				
110			花崗斑岩アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度107.50~110.60m: 新鮮岩。節理少なく柱~長柱状コア。 深度110.68m: シーム。傾斜64度。幅3~5mm、暗褐色シルト状。 深度113.72m以深、節理多く短柱~岩片状コア。節理に沿って黒褐色を帯びる。 深度115.00~117.55m: 珪化変質を受け硬質。	0.26 [87] 0.25 [85] 0.30 [100] 0.30 [88] 0.46 [91] 0.27 [97] 0.31 [74] 0.19 [24] 0.28 [67] 0.26 [40] 0.38 [40]	OM																				
			花崗斑岩アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	β	深度118.88m: シーム、傾斜73度。幅2~4mm、浅黄色砂混じりシルト状。 深度119.90~136.20m: 花崗斑岩。斑晶は径3~5mm程度。散在程度で、部分的に密集。基質は径0.1mm以下で流理有り。	0.16 [86] 0.24 [50] 0.18 [43] 0.14 [44] 0.11 [71] 0.18 [36] 0.25 [29] 0.48 [58]	CL																				
120			花崗斑岩アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	γ	深度122.16~122.18m: 破砕帯(HJ)。上盤32度、下盤66度。幅25mm以上、暗灰色砂・礫状。 深度122.18~122.35m: 破砕帯(HJ)。上盤66度、下盤41度。礫・砂混じりシルト、シルト混じり礫状。 深度122.35~122.60m: 変質帯。上盤41度、下盤68度。幅25mm、砂状部を伴う。 深度125.92~129.53m: 傾斜30~50度の節理が多く発達。短柱~岩片状コア主体。アフライト、上位下位との境界不明瞭。	0.11 [71] 0.18 [36] 0.25 [29] 0.48 [58] 0.26 [40] 0.38 [40] 0.15 [13] 0.18 [30] 0.24 [74] 0.38 [140] 0.12 [22] 0.26 [50] 0.15 [38]	OM																				
	102.31	126.25	花崗斑岩アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	γ	深度129.53~131.46m: 節理少なく、柱~短柱状コア主体。 深度131.46~133.34m: 非常に節理が多く、岩片状コア主体。	0.11 [71] 0.18 [36] 0.25 [29] 0.48 [58] 0.26 [40] 0.38 [40] 0.15 [13] 0.18 [30] 0.24 [74] 0.38 [140] 0.12 [22] 0.26 [50] 0.15 [38]	CL																				
130			花崗斑岩アフライト	花崗斑岩	にふい黄	II g	cg	2	深度134.47m: 傾斜73度の節理面に幅10mm程度の石英脈を挟む。	0.15 [38]	OM																				



柱状図(70.00m~105.00m)

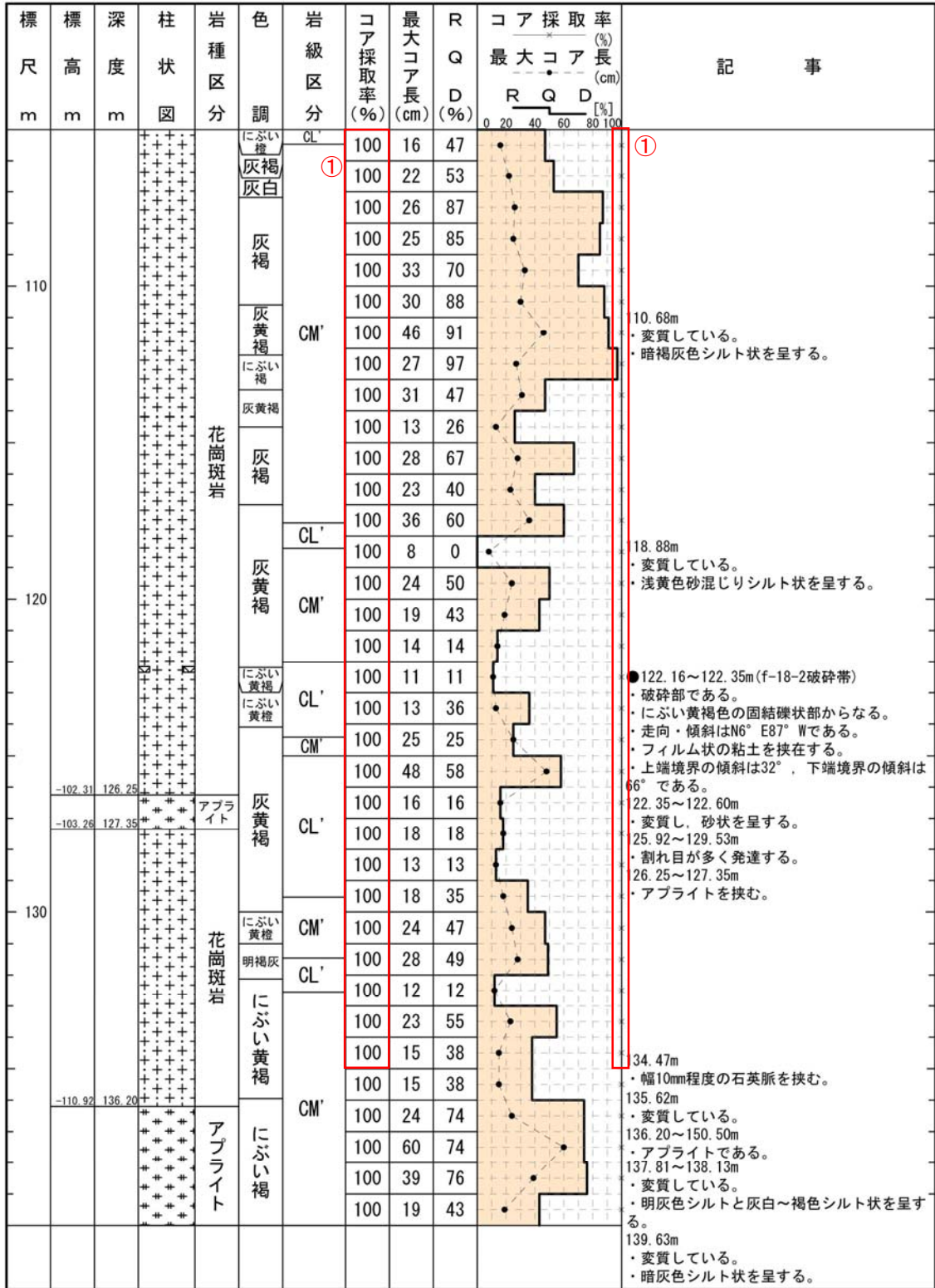


1-286(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — ( % ) 最大コア長 cm R Q D L [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
															( N 値 ~ 深度 )																				
100	79.57	100.00	花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g III g I g II g	Cg	II g IV g II g	γ		深度100.35~103.05m: 珪化変質帯。アフライト、上位との境界漸移的、下位との境界傾斜28度。 深度101.50~104.60m: 全体に褐色を帯び、節理に沿って黒褐色を帯びる。	0 50 100	OM			2/28 100.40	91																		
	80.87	101.50	花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Dg	IV g II g	γ		深度103.10~103.50m: 弱い溶脱部。低角度の節理密集し、岩片状。 アフライト、上位との境界漸移的、下位との境界傾斜20~30度。 深度104.70~136.20m: 花崗斑岩。径2~5mm程度の石英、長石及び黒雲母の斑晶を5~20%程度含み、石基は径0.1mm以下である。 深度105.45~110.60m: 弱い珪化変質を受け、岩片は硬質。	0 50 100	CL																						
	82.65	103.50	花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度107.50~110.60m: 新鮮岩。節理少なく柱~長柱状コア。	0 50 100	OM			3/3 106.00	89											0.0	泥水5	0					
	83.64	104.70	花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度104.70~136.20m: 花崗斑岩。径2~5mm程度の石英、長石及び黒雲母の斑晶を5~20%程度含み、石基は径0.1mm以下である。 深度105.45~110.60m: 弱い珪化変質を受け、岩片は硬質。	0 50 100	OM																						
			花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度107.50~110.60m: 新鮮岩。節理少なく柱~長柱状コア。	0 50 100	OM																						
			花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度110.68m: シーム。傾斜64度。幅3~5mm、暗褐色シルト状。	0 50 100	OM																						
			花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度113.72m以深、節理多く短柱~岩片状コア。節理に沿って黒褐色を帯びる。	0 50 100	OM																						
			花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度115.00~117.55m: 珪化変質を受け硬質。	0 50 100	OM																						
			花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度118.88m: シーム。傾斜73度。幅2~4mm、浅黄色砂混じりシルト状。	0 50 100	OM																						
			花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度119.90~136.20m: 花崗斑岩。斑晶は径3~5mm程度。散在程度で、部分的に密集。基質は径0.1mm以下で流理有り。	0 50 100	OM																						
			花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度122.16~122.18m: 破砕帯(HJ)。上盤32度、下盤66度。幅25mm以上、暗灰色砂・礫状。 深度122.18~122.35m: 破砕帯(HJ)。上盤66度、下盤41度。礫・砂混じりシルト、シルト混じり礫状。 深度122.35~122.60m: 変質帯。上盤41度、下盤68度。幅25mm、砂状部を伴う。	0 50 100	OM																						
			花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度125.92~129.53m: 傾斜30~50度の節理が多く発達。短柱~岩片状コア主体。アフライト、上位下位との境界不明瞭。	0 50 100	OM																						
	102.31	126.25	花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度129.53~131.46m: 節理少なく、柱~短柱状コア主体。	0 50 100	OM																						
	103.26	127.35	花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度131.46~133.34m: 非常に節理が多く、岩片状コア主体。	0 50 100	OM																						
			花崗斑岩 アフライト	花崗斑岩 アフライト	にぶい黄褐色 にぶい黄褐色	II g IV g II g	Cg	IV g II g	β		深度134.47m: 傾斜73度の節理面に幅10mm程度の石英脈を挟む。	0 50 100	OM																						

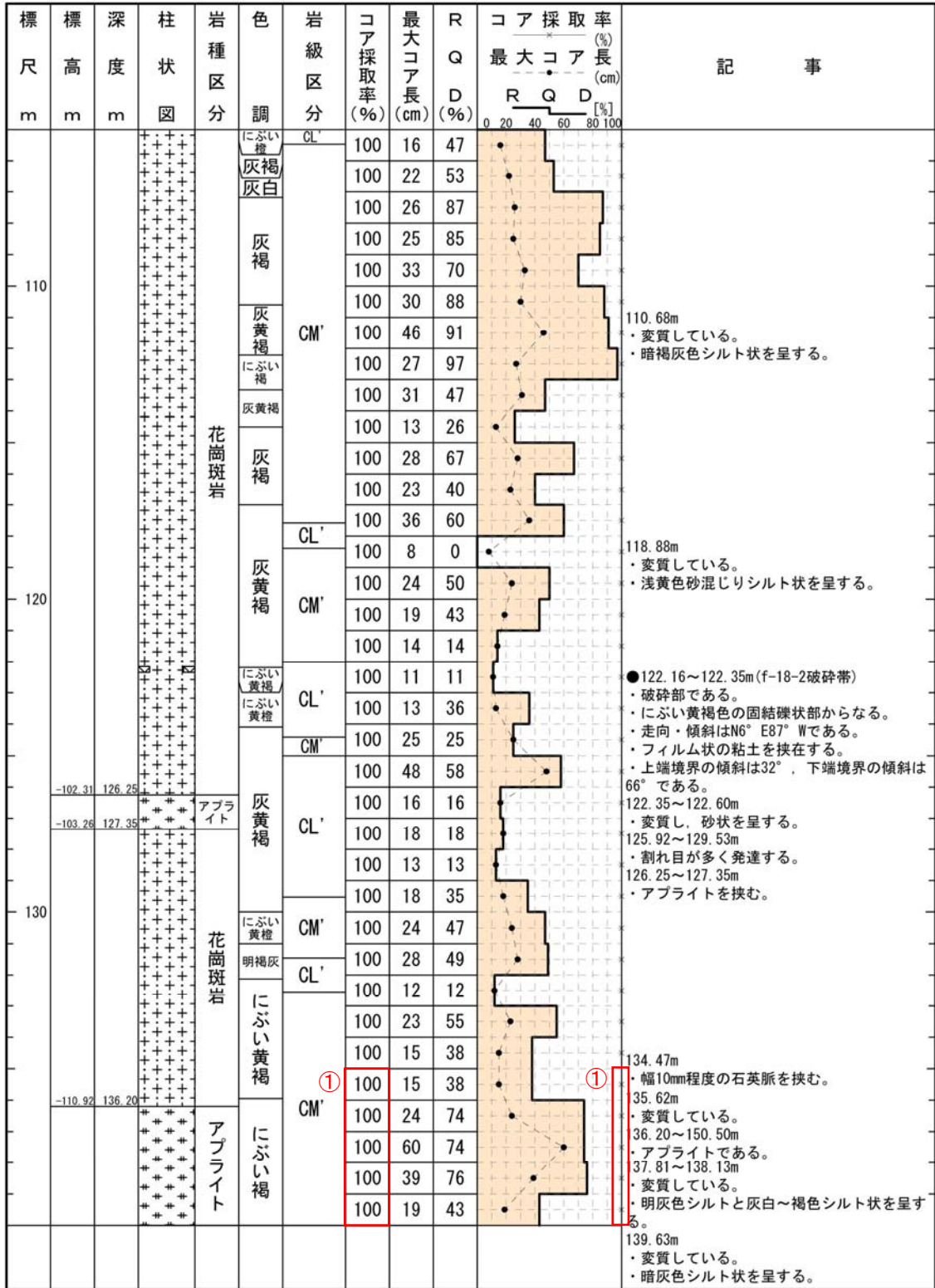
柱状図(105.00m～140.00m)



1-286(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。



柱状図(105.00m～140.00m)

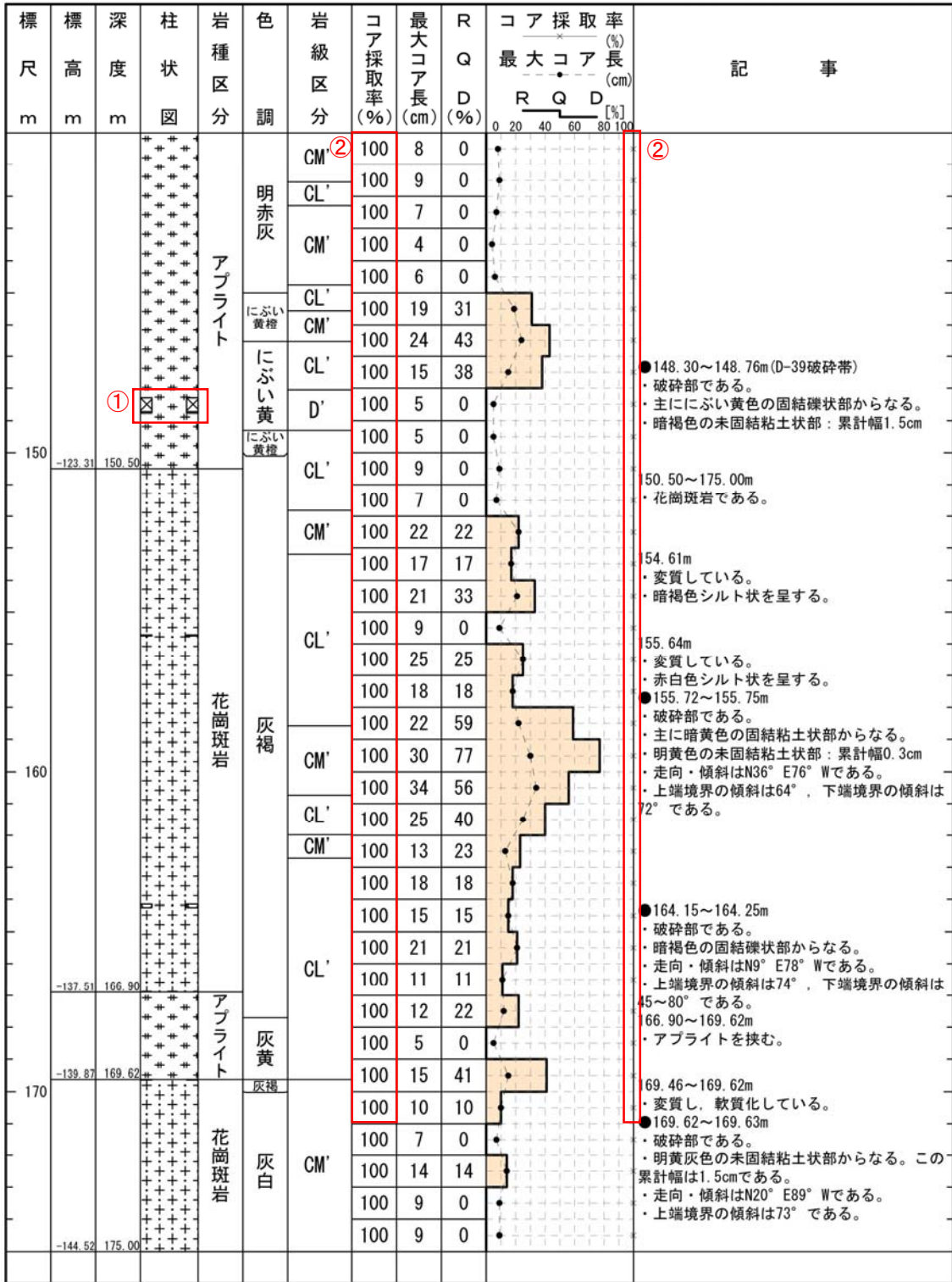


1-286(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験)試験					室内試験	掘進速度	孔径	給送	回転	送水	送水	排水							
													N値~深度													原位置試験	掘進月	保護	圧	量	量	
(m)	(m)	(m)										(N)値	0	10	20	30	40	50														
		110.92		花崗斑岩	にんじい褐	IIIg	bg		深度135.62m: シーム。傾斜52度。幅0.1mm。傾斜43度の節理を見かけ0.2~0.3cm正断層的にずらす。アプライト。上位との境界傾斜10~20度。	15	OM																					
		136.20				IVg	cg		深度136.20~150.50m: アプライト。石基は径0.1mm以下である。	14	OM																					
						IIIg	bg		深度137.81m: シーム。傾斜67度。幅0.2~5mm。明灰色シルト状。	14	OM																					
						IVg	cg		深度137.81~138.13m: 変質帯。上盤67度。下盤75度。節理密集部。一部砂状。	15	OM																					
						IIg	cg		深度138.13m: シーム。傾斜75度。幅1mm。灰白~褐色シルト状。	15	OM																					
						IIIg	cg		深度139.63m: シーム。傾斜74度。幅0.2mmの暗灰色シルト状。傾斜50度の節理を見かけ0.5cm正断層的にずらす。	16	OM																					
						IVg	cg	γ	深度141.55~142.29m: 節理多く。節理に沿って砂~礫状をなす。	16	OM																					
						IVg	cg		深度144.91m: シーム。傾斜77度。幅5~9mm。暗褐色礫混じり砂状。	16	OM																					
						IVg	cg		深度147.07~150.50m: 変質帯。上盤38度。下盤62度。砂。砂礫状。	17	OM																					
						IVg	cg		深度147.43m: シーム。傾斜77度。幅1~3mm。明褐色シルト状。	17	OM																					
						VIg	dg		深度148.30~148.68m: 破砕帯(Hj)。上盤80度。下盤45度。シルト混じり礫状。	17	OM																					
						IVg	cg		深度148.73~148.76m: 破砕帯(Hc)。上盤65度。下盤90度。桃白色礫混じりシルト状。暗褐色シルト状。	18	OM																					
						IVg	cg		深度149.22m: シーム。傾斜80度。幅5mm。暗褐色シルト状。	18	OM																					
						IVg	cg		深度150.50~175.00m: 花崗斑岩。一部に厚さ2.7mのアプライトを挟む。花崗斑岩は、径2~4mmの石英、長石及び径1mmの黒雲母の斑晶を1~5%程度含み、石基は径0.1mm以下である。所により斑晶は密集する。	19	OM																					
						IVg	cg		深度154.61m: シーム。傾斜69度。幅1mm。暗褐色シルト状。	21	OM																					
						IVg	cg		深度155.23~155.86m: 変質帯。上盤68度。下盤65度。岩質脆い。	21	OM																					
						IVg	cg		深度155.64m: シーム。傾斜87度。幅1~3mm。赤白色シルト状。	22	OM																					
						IVg	cg		深度155.72~155.75m: 破砕帯(Hc)。上盤64度。下盤72度。幅10~15mm。明黄~暗黄色シルト状。	22	OM																					
						IVg	cg		深度156.40~156.46m: 幅3~20mm。黒色シルト状。黒色礫混じりシルト質砂状。	22	OM																					
						IVg	cg		深度157.53~158.63m: 節理多い。岩質やや脆く。短柱~岩片状コア。	22	OM																					
						IIg	bg	β	深度160.99m: シーム。傾斜65度。幅0.5~2mm。赤・白色シルト状。	25	OM																					
						IIIg	cg		深度161.25~162.72m: 比較的節理少なく。短柱~柱状コア。	25	OM																					
						IVg	cg		深度162.72~164.15m: 節理密集し。岩片~短柱状コア。	26	OM																					
						IVg	cg		深度164.15~164.25m: 破砕帯(Hj)。上盤74度。下盤45~80度。幅35~50mm以上。暗褐・明褐・暗黄色固結砂・礫状。	26	OM																					
						IVg	cg		深度165.20~165.26m: 幅30~52mm。葉片状。一部砂・礫状。暗褐色砂質シルトを挟む。	27	OM																					
						IVg	cg		深度165.26~165.28m: 幅0~37mm以上。砂・礫状。	27	OM																					
						IVg	cg		アプライト。上位との境界不明瞭。下位との境界傾斜73度。	27	OM																					
						IVg	cg		深度168.42~168.45m: 幅0~18mm。礫・シルト混じり砂状。上下面に明褐色シルトを挟む。	28	OM																					
						IIIg	bg		深度169.46~169.62m: 変質帯。上盤66度。下盤73度。軟質化。	28	OM																					
						IVg	cg		深度169.62~169.63m: 破砕帯(Hc)。傾斜73度。幅15mm。明黄灰色シルト状。	28	OM																					



柱状図(140.00m～175.00m)

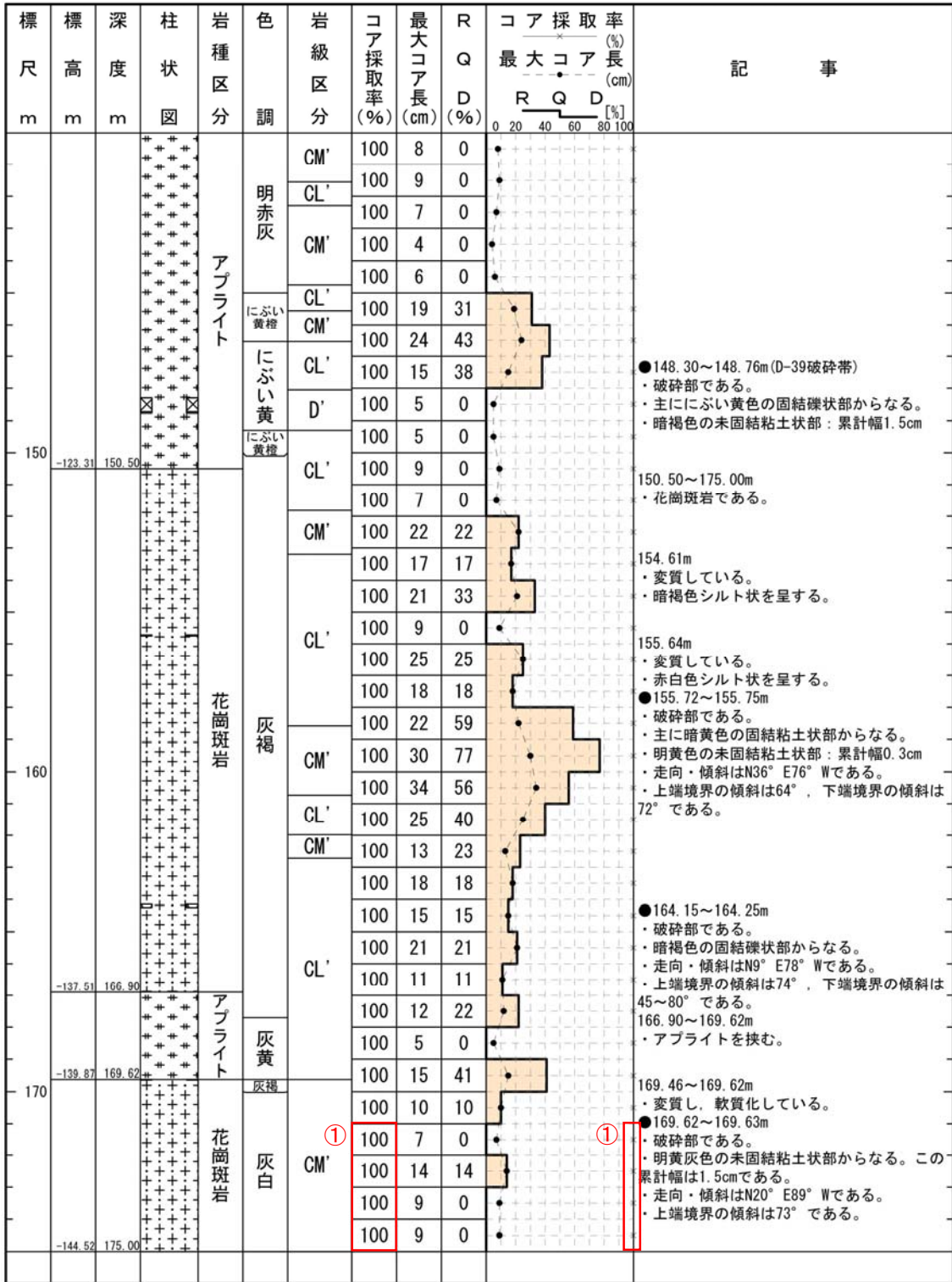


1-287(分類d) ①  
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)  
 1-286(分類b) ②  
 報告書の記載漏れを修正したため。



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位 / 測定月日 (m)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)	
														N 値 ~ 深度																
		144.52 ~ 175.00	+++++	花崗斑岩	灰白	Cg	IVg IIIg IIIg IVg IVg IVg	β	2		0 50 100	GM [GM]		0 10 20 30 40 50				102	3/14 73.00	76	ダブルコアチューブ / ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水5	0				
																		3/15 73.00												

柱状図(140.00m~175.00m)



1-286(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

Header information table including borehole name (1-5), location, dates, and personnel details.

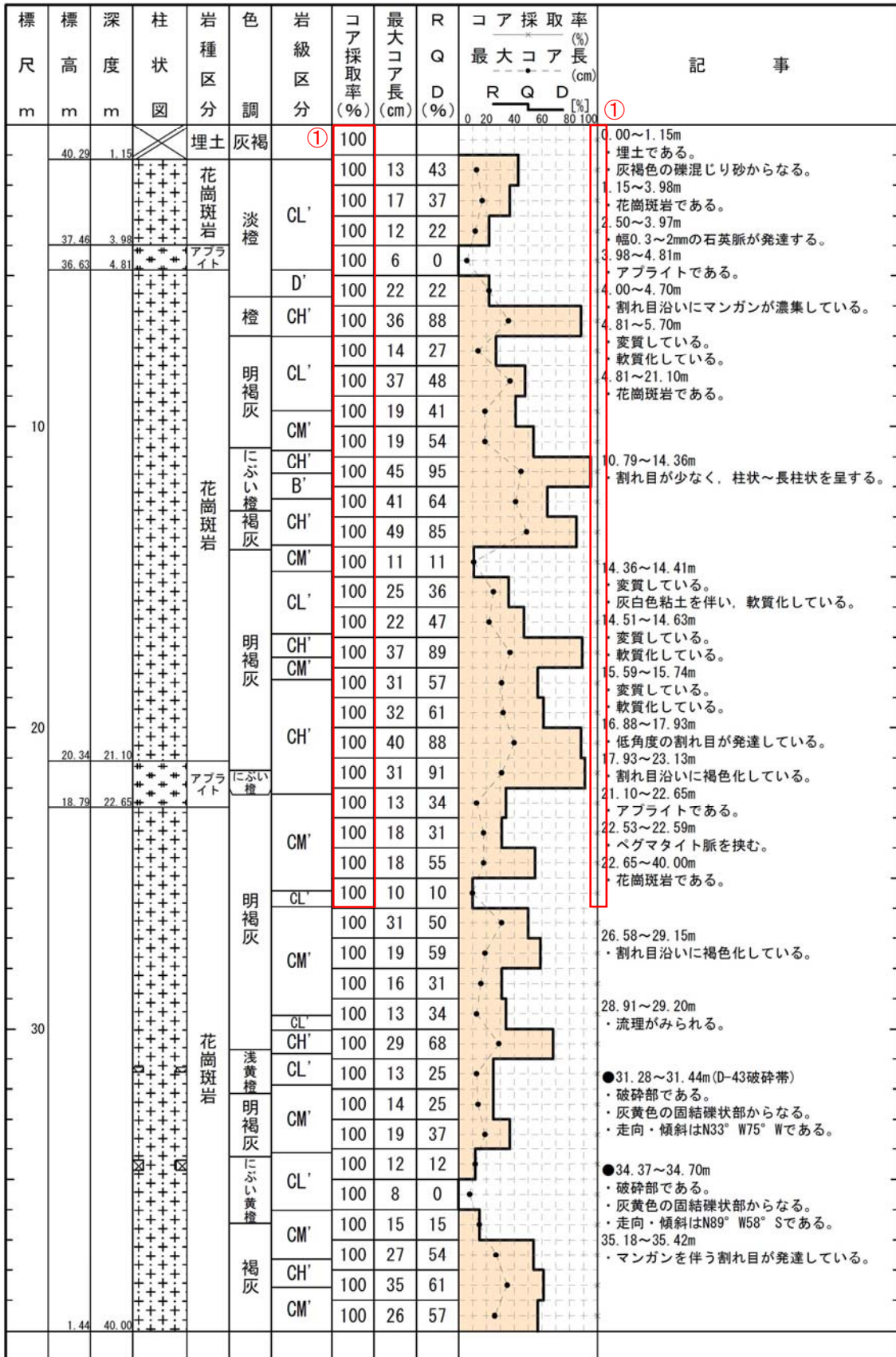
Main borehole log table with columns for depth, lithology, soil strength, and test results.

# H20-①-5

## 柱状図(0.00m~40.00m)

H20-①-5

孔口標高	T.P. 41.44m	掘削長	40.00m
------	-------------	-----	--------



1-288(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位 (m) / 測定日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
																( N 値 ~ 深度 )															
30	1.44	40.00		花崗斑岩	明褐灰	IVg, IIIg, IVg, Bg, IVg, IIIg, IVg, CG, Dg, Vg	bg			2	25.64m: シーム。傾斜78°。幅0.4cm程度の暗褐色粘土からなる。 26.58~29.15m: 傾斜70°程度の節理が発達している。節理に沿って褐色化している。 28.91~29.20m: 斑島の径が5mm程度と小さくなり、流理がみられる。傾斜32°程度。 29.15~40.00m: 傾斜25°及び75°程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。 29.97m: シーム。傾斜73°。幅0.2cm程度の褐色、灰白色粘土からなる。周辺は節理が発達している。 30.51~30.73m: 斑島の径が4mm程度と小さくなる。30.70mに幅1cm程度で鉱物の配列がみられる。傾斜は14°程度である。 30.85m: シーム。傾斜74°。幅0.3cm程度の灰白色粘土からなる。これより下盤側は節理が発達している。 31.28~31.44m: 破砕帯 (Hb)。上盤72°下盤74°。幅5cm程度。礫混じり灰黄色粘土からなる。 31.78m: シーム。傾斜72°。幅0.3cm程度の褐色粘土からなる。周辺は節理が発達している。 34.12~36.03m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にふい金属音を発する。 34.37~34.70m: 破砕帯 (Hb)。上盤64°下盤不明。幅15cm程度。礫混じり灰黄色粘土からなる。 35.18~35.42m: マンガンを伴う傾斜75°程度の節理が発達している。 36.03~40.00m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。 38.93~40.00m: 斑島の径が10mm以下と上位に比べて小さくなる。上位との境界は傾斜70°程度。	0 50 100	26.92	0 10 20 30 40 50	6/11 31.85	6/12 31.65	6/13 40.00	83	76	76	78	ダブルコアチューブ / ダイアビット	20.0	100	0.0	泥水3	0.0	泥水2	0.0	泥水3	

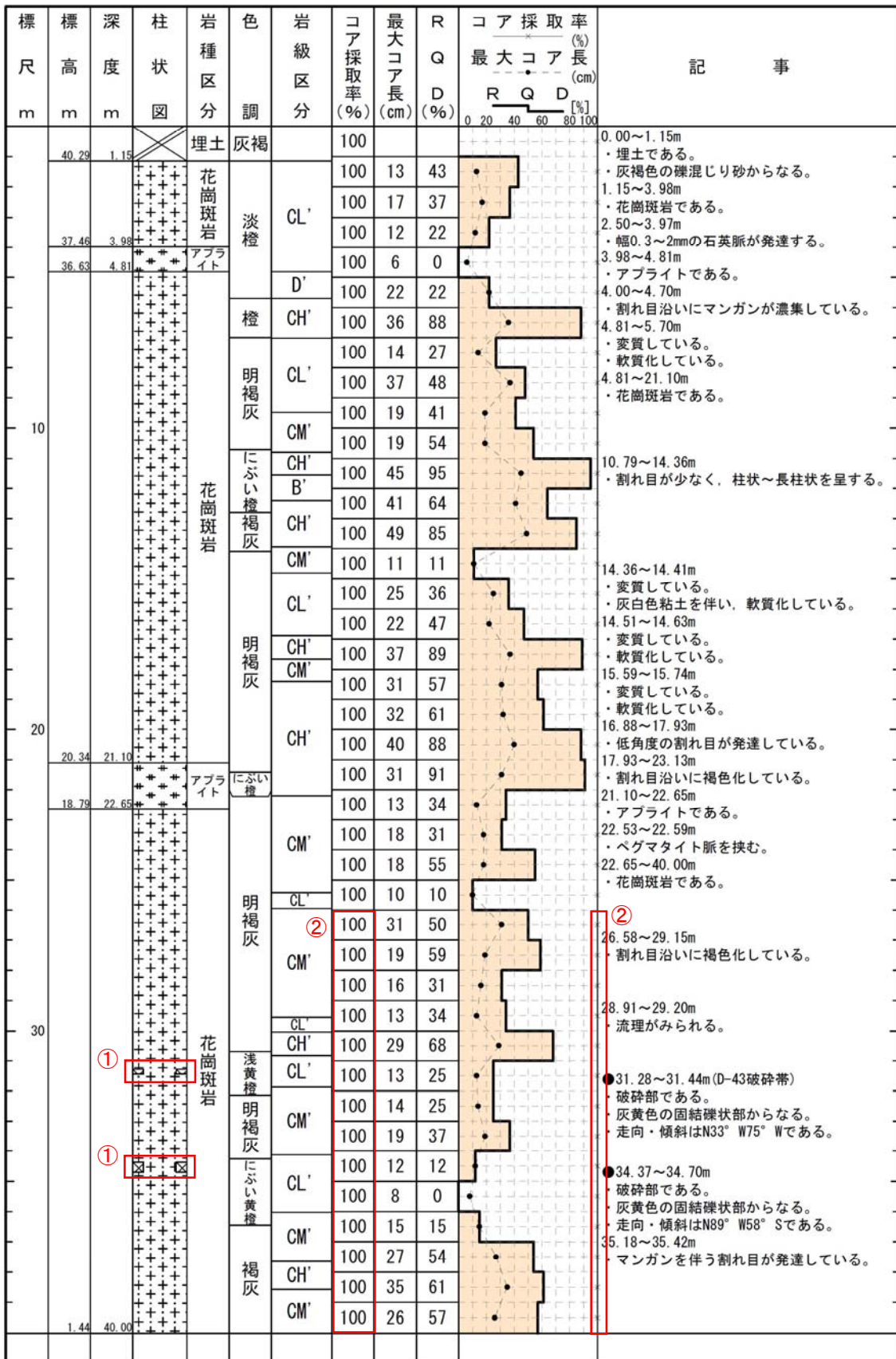


# H20-①-5

## 柱状図(0.00m~40.00m)

H20-①-5

孔口標高	T.P. 41.44m	掘削長	40.00m
------	-------------	-----	--------



1-289, 1-290 (分類d) ①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)  
1-288 (分類b) ②  
報告書の記載漏れを修正したため。



ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.														
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	①-6		調査位置		北緯	
発注機関				調査期間		東経
調査業者名	主任技師			現代場人	コ鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+ 41.44 m	角	180°上 90° 40°	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配
総掘削長	85.00 m	度		向	鉛直 0°	使用機種
					試験機	ハンマー 落下用具
					エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	岩盤区分	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N値~深度)	原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)														
40.93	0.67		[柱状図: 埋土, 明褐灰, 花崗斑岩, 橙, 明褐灰, 灰白, 明褐灰, 黄橙, 明赤灰, 黄橙, 灰白]	埋土							0.00~0.11m: 腐植土。 0.11~0.67m: 埋土。砂混じり細粒砂からなる。 0.67~3.0, 8.0m: 花崗斑岩。長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~20%程度含む。全体に節理に沿って褐色化し、マンガンを灰白色粘土を伴うことが多い。 0.67~2.62m: 節理が開口し、土砂が流入している。塊状を呈する岩石自体はやや硬質である。 2.15~3.95m: 所々、節理に沿ってマンガンを濃集する。 2.62~4.44m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。 3.54m: 幅3mm程度の石英脈を挟む。 4.44~7.60m: コアはやや硬質で、ハンマーでぶい金属音を発する。  7.14~13.12m: 周辺に比べて斑晶がやや大きく、含有量も20%程度と多い。 7.60~13.00m: コアはやや軟質~軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。 8.25m: 幅1~7mm程度の石英脈を挟む。 8.42~9.80m: 節理に沿ってマンガンを濃集する。  11.96m: 節理に沿って幅10mm程度でマンガンを濃集する。  13.00~15.91m: コアは風化、変質し、軟質で、ハンマーで著しい濁音を発する。  14.23~14.75m: 節理に沿ってマンガンを濃集する。 14.41m: シーム。傾斜43°。幅0.7cm程度の褐色粘土からなる。周辺の節理と斜交する。 14.87~15.91m: 変質帯。上盤不明瞭、下盤不明瞭。幅54cm程度。軟質化している。一部に灰白色粘土が網目状に分布する。境界は漸移的である。 15.91~22.52m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。 17.38~17.41m: 節理に沿って幅10mm程度でマンガンを濃集する。  22.52~25.80m: コアはやや硬質で、ハンマーでぶい金属音を発することが多い。																																		
10																																													
20																																													

# H20-①-6

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H20-①-6

孔 口 標 高	T. P.	41.44m	掘 削 長	85.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	40.93	0.67	埋土	にふい 黄橙	②	D'	100	8	0				0.00~0.67m 埋土である。
						D'	100	9	0				
10			+	花崗斑岩	明褐灰	CL'	100	10	10				0.11~0.67m 礫混じり細粒砂からなる。
						CM'	100	16	28				0.67~85.00m 花崗斑岩である。
						CL'	100	19	52				0.67~2.62m 割れ目沿いに褐色化する。
						CL'	100	32	43				0.67~2.62m 割れ目が開口し、土砂が流入している。
						CL'	100	16	29				2.62~3.95m 礫状を呈する。
						D'	100	9	0				2.15~3.95m 所々に割れ目沿いにマンガンが濃集する。
						D'	100	8	0				3.54m 幅3mmの石英脈を挟む。
						CL'	100	10	10				8.25m 幅1~7mmの石英脈を挟む。
						CL'	100	7	0				8.42~9.80m 割れ目沿いにマンガンが濃集する。
						CL'	100	10	10				11.96m 割れ目沿いに幅10mmでマンガンが濃集する。
20			+	花崗斑岩	灰白	D'	100	6	0				14.23~14.75m 割れ目沿いにマンガンが濃集する。
						D'	100	3	0				● 14.41~14.42m (D-43破砕帯) 破砕部である。
						CL'	100	10	10				褐色の固結礫状部からなる。
						CL'	100	25	48				走向・傾斜はN53° W60° Sである。
						CL'	100	16	39				● 14.78~15.13m 破砕部である。
						CL'	100	13	35				灰白色の固結粘土状部からなる。
						CL'	100	11	11				走向・傾斜はN81° W65° Sである。
						CL'	100	19	53				17.38~17.41m 割れ目沿いに幅10mm程度でマンガンが濃集する。
						CM'	100	35	68				
						CM'	100	13	59				
			+	花崗斑岩	明赤灰 黄橙	CL'	100	17	27				
						CM'	100	22	58				
						CM'	100	25	80				25.80~27.38m 割れ目が多く、短柱状を呈する。
						CL'	100	17	37				
						CL'	100	14	25				28.43~28.75m 割れ目沿いにマンガンが濃集する。
												29.92~30.00m 幅1~3cm程度のペグマタイト脈を挟む。	

1-291(分類d)①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

1-292(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定月日) ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔徑 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
															( N 値 ~ 深度 )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
30			+	花崗斑岩	明褐灰	Bg	II g				25.80~27.38m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。	0 50 100 26.00	CM' [CM]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
																																	27.38~32.40m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。	27.73 27.73																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
																																																															28.43~28.75m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	28.43 28.43																																																																																																																																																																																																																																																																																					
																																																																																														29.92~30.00m: 幅1~3cm程度のベグマタイト脈を挟む。径10~20mm程度の石英が目立つ。	29.92 29.92																																																																																																																																																																																																																																																						
																																																																																																																													30.09m: 節理に沿って幅3mm程度の石英脈を伴う。	30.09 30.09																																																																																																																																																																																																																							
																																																																																																																																																												30.69~44.64m: 花崗斑岩。径3~10mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を20~25%程度含む。周辺に比べて斑晶の粒径が大きく、含有量も多い。全体に節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	30.69 30.69																																																																																																																																																																																								
																																																																																																																																																																																											32.49~36.40m: コアはやや硬質~硬質で、ハンマーでにぶい金属音~金属音を発する。	32.49 32.49																																																																																																																																																									
																																																																																																																																																																																																																										32.49~33.48m: 所々、節理に沿ってマンガンが濃集する。	32.49 32.49																																																																																																																										
																																																																																																																																																																																																																																																									36.10m: 節理に沿って幅10mm程度でマンガンが濃集する。	36.10 36.10																																																																																											
																																																																																																																																																																																																																																																																																								36.40~44.44m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。	36.40 36.40																																																												
																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							38.81~39.00m: 節理に沿ってマンガンを伴う。	38.81 38.81																													
41.00~41.38m: コアの側面に幅3~8mm程度の石英脈を挟む。	41.00 41.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
																															41.78~44.35m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	41.78 41.78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
																																																														44.44~85.00m: コアはやや硬質~硬質で、ハンマーでにぶい金属音~金属音を発する。	44.44 44.44																																																																																																																																																																																																																																																																																						
																																																																																													44.64~85.00m: 花崗斑岩。径3~10mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を15~20%程度含む。全体に節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	44.64 44.64																																																																																																																																																																																																																																																							
																																																																																																																												48.34~48.38m: 変質帯。上盤36°、下盤60°。幅3cm程度。軟質化している。上盤と下盤の傾斜角が大きく異なる。	48.34 48.34																																																																																																																																																																																																																								
																																																																																																																																																											50.62~60.28m: 節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	50.62 50.62																																																																																																																																																																																									
																																																																																																																																																																																										53.53~53.58m: 変質帯。上盤41°、下盤43°。幅4cm程度。軟質化している。	53.53 53.53																																																																																																																																																										
																																																																																																																																																																																																																									57.24m: 幅10mm程度の石英脈を挟む。	57.24 57.24																																																																																																																											
																																																																																																																																																																																																																																																								60.25m: シーム。傾斜55°。幅0.3cm程度の黒色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。	60.25 60.25																																																																																												

# H20-①-6

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H20-①-6

孔 口 標 高	T.P.	41.44m	掘 削 長	85.00m
---------	------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事	
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q		D
	40.93	0.67		埋土	にふい 黄橙		100	8	0				0.00~0.67m ・埋土である。	
				D'			100	9	0				0.00~0.11m ・有機質土である。	
				CL'	明褐灰		100	14	24				0.11~0.67m ・礫混じり細粒砂からなる。	
				CM'			100	10	10					0.67~85.00m ・花崗斑岩である。
				CL'			100	16	28					・割れ目沿いに褐色化する。
				CL'			100	19	52					0.67~2.62m ・割れ目が開口し、土砂が流入している。
				D'	橙		100	32	43					・礫状を呈する。
				D'			100	16	29					2.15~3.95m ・所々に割れ目沿いにマンガンが濃集する。
				D'	明褐灰		100	9	0					3.54m ・幅3mmの石英脈を挟む。
				CL'			100	8	0					8.25m ・幅1~7mmの石英脈を挟む。
				CL'			100	10	10					8.42~9.80m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。
				D'	灰白		100	7	0					11.96m ・割れ目沿いに幅10mmでマンガンが濃集する。
				D'			100	10	10					
				CL'	明褐灰		100	8	0					14.23~14.75m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。
				CL'			100	6	0					●14.41~14.42m (D-43破碎帯)
				CL'			100	3	0					・破碎部である。
				CL'			100	10	10					・褐色の固結礫状部からなる。
				CM'	黄橙		100	25	48					・走向・傾斜はN53° W60° Sである。
				CL'			100	16	39					●14.78~15.13m ・破碎部である。
				CL'	明赤灰 黄橙		100	13	35					・灰白色の固結粘土状部からなる。
			CL'			100	11	11					・走向・傾斜はN81° W65° Sである。	
			CM'	灰白		100	19	53					17.38~17.41m ・割れ目沿いに幅10mm程度でマンガンが濃集する。	
			CM'			100	35	68						
			CL'	明褐灰		100	13	59						
			CL'			100	17	27						
			CM'	淡赤橙		100	22	58						
			CL'			100	25	80					① 25.80~27.38m ・割れ目が多く、短柱状を呈する。	
			CL'			100	17	37						
			CL'			100	14	25					28.43~28.75m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。	
			CL'			100	16	28					29.92~30.00m ・幅1~3cm程度のペグマタイト脈を挟む。	

1-292(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風質	変質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D □ [ % ]	岩盤分類	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日 ( N 値 )	標準貫入試験) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔徑 (mm) / 孔壁保護	コーナチューブ / ビット	給圧 (KN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																
																( N 値 ~ 深度 )																																															
30			+	花崗斑岩	明褐灰	Bg	III g					25.80~27.38m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。	43 (80)	CM'	[CM]	26.00																																															
																																		淡赤橙	Dg	III g	cg	γ	2	27.38~32.40m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。	47 (31)	27.73	27.73														126						
					明褐灰	Dg	IV g	cg	2	29.92~30.00m: 幅1~3cm程度のベグマタイト脈を挟む。径10~20mm程度の石英が自立。	44 (29)																																																				
																																明褐灰	Cg	IV g	cg	2	30.09m: 節理に沿って幅3mm程度の石英脈を伴う。	44 (34)																									
					明褐灰	Cg	IV g	cg	2	30.69~44.64m: 花崗斑岩。径3~10mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を20~25%程度含む。周辺に比べて斑晶の粒径が大きく、含有量も多い。全体に節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	44 (35)																																																				
																																																															明褐灰
					明褐灰	Bg	II g	bg	2	32.49~33.48m: 所々、節理に沿ってマンガンが濃集する。	36 (34)																																																				
																																		明赤褐	Dg	IV g	cg	2	36.10m: 節理に沿って幅10mm程度でマンガンが濃集する。	36 (32)																							
					明赤褐	Dg	IV g	cg	3	36.40~44.44m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。	45 (34)																																																				
																																		淡赤橙	Dg	IV g	cg	3	38.81~39.00m: 節理に沿ってマンガンを伴う。	47 (31)																							
					淡赤橙	Dg	IV g	cg	3	38.87~39.11m: 変質帯。上盤52°、下盤54°。幅14cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。周辺は節理が発達している。	49 (33)																																																				
																																		淡赤橙	Dg	IV g	cg	3	41.00~41.38m: コアの側面に幅3~8mm程度の石英脈を挟む。	49 (30)																							
					淡赤橙	Dg	IV g	cg	3	41.78~44.35m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	49 (34)																																																				
																																		明赤灰	Cg	IV g	cg	2	44.44~85.00m: コアはやや硬質~硬質で、ハンマーでにぶい金属音~金属音を発する。	49 (33)																							
明赤褐	Bg	II g	bg	γ	2	44.64~85.00m: 花崗斑岩。径3~10mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を15~20%程度含む。全体に節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	49 (34)																																																								
																														明赤褐	Bg	III g	cg	2	48.34~48.38m: 変質帯。上盤36°、下盤60°。幅3cm程度。軟質化している。上盤と下盤の傾斜角が大きく異なる。	47 (32)																											
明褐灰	Bg	IV g	cg	2	50.62~60.28m: 節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	47 (32)																																																									
																													明褐灰	Bg	IV g	cg	2	53.53~53.58m: 変質帯。上盤41°、下盤43°。幅4cm程度。軟質化している。	47 (31)																												
明赤	Bg	II g	bg	2	57.24m: 幅10mm程度の石英脈を挟む。	47 (37)																																																									
																													明赤	Bg	III g	cg	2	60.25m: シーム。傾斜55°。幅0.3cm程度の黒色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。	45 (31)																												

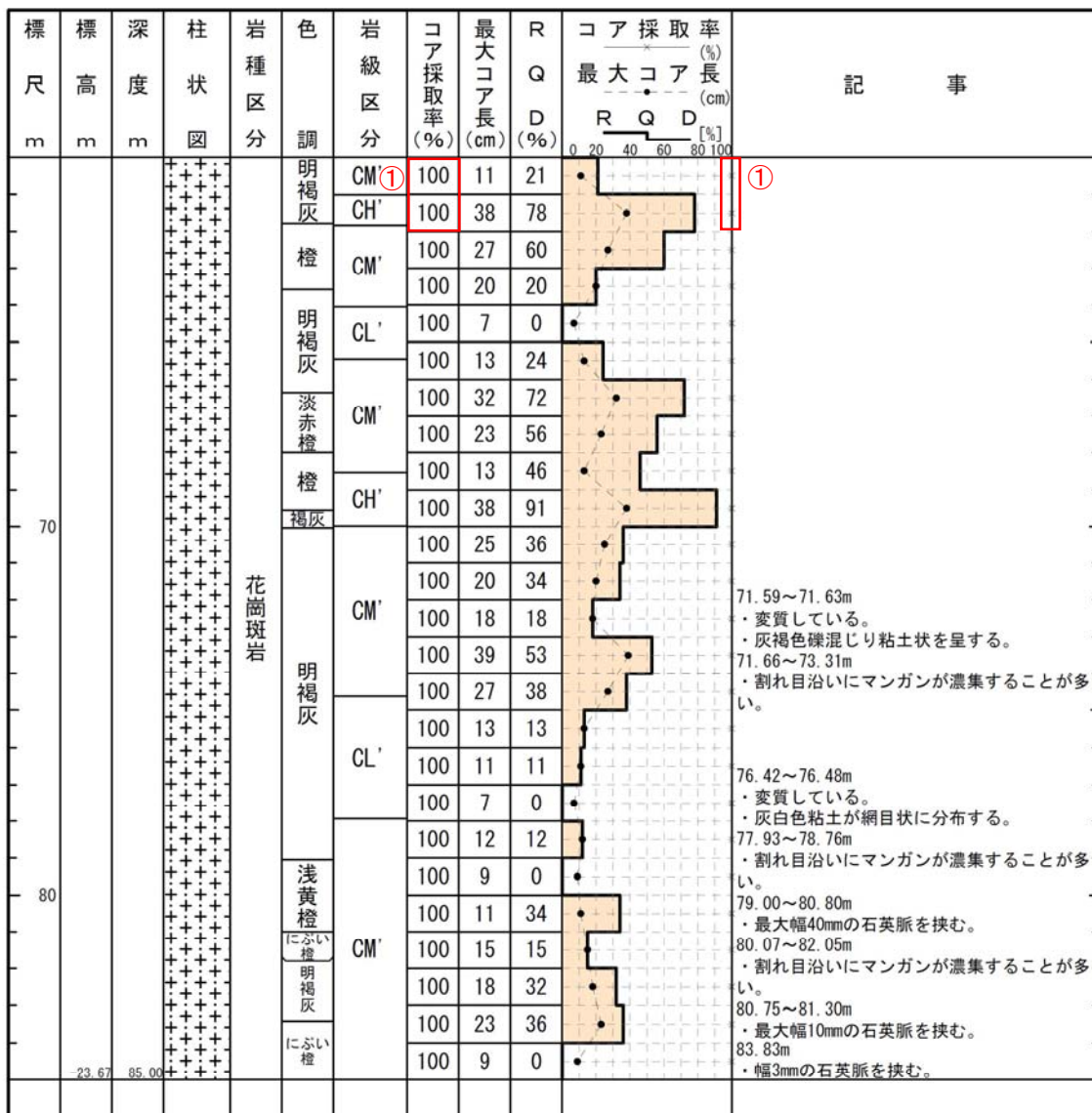




標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	記述	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 — cm R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級	孔内水位 (m) / 測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 孔内水平载荷 ( t )	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアリコーン / ビット	給送水量 ( MPa )	回転数 ( rpm )	送水圧 ( MPa )	排水量 ( l / 分 )										
																	( N 値 ~ 深度 )																							
30				明褐灰	Bg	II g						25.80~27.38m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。		CM'	[CM]																									
				淡赤橙	Dg	III g						27.38~32.40m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。																												
				明褐灰	Dg	IV g					2	28.43~28.75m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。																												
				明褐灰	Dg	IV g					2	29.92~30.00m: 幅1~3cm程度のベグマタイト脈を挟む。径10~20mm程度の石英が自立。																												
				明褐灰	Dg	IV g					2	30.09m: 節理に沿って幅3mm程度の石英脈を伴う。																												
				明褐灰	Dg	IV g					2	30.69~44.64m: 花崗斑岩。径3~10mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を20~25%程度含む。周辺に比べて斑晶の粒径が大きく、含有量も多い。全体に節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。																												
				明褐灰	Dg	IV g					2	32.49~36.40m: コアはやや軟質~硬質で、ハンマーでにぶい金属音~金属音を発する。																												
				明褐灰	Dg	IV g					2	32.49~33.48m: 所々、節理に沿ってマンガンが濃集する。																												
				明赤灰	Bg	II g					2	36.10m: 節理に沿って幅10mm程度でマンガンが濃集する。																												
				明赤灰	Bg	II g					2	36.40~44.44m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。																												
				淡赤橙	Dg	IV g					3	38.81~39.00m: 節理に沿ってマンガン脈を伴う。																												
				淡赤橙	Dg	IV g					3	38.87~39.11m: 変質帯。上盤52°、下盤54°。幅14cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。周辺は節理が発達している。																												
				明赤灰	Dg	IV g					2	41.00~41.38m: コアの側面に幅3~8mm程度の石英脈を挟む。																												
				明赤灰	Dg	IV g					2	41.78~44.35m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。																												
				明赤灰	Bg	II g					2	44.44~85.00m: コアはやや硬質~硬質で、ハンマーでにぶい金属音~金属音を発する。																												
				明赤橙	Bg	II g					2	44.64~85.00m: 花崗斑岩。径3~10mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を15~20%程度含む。全体に節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。																												
				明赤橙	Bg	II g					2	48.34~48.38m: 変質帯。上盤36°、下盤60°。幅3cm程度。軟質化している。上盤と下盤の傾斜角が大きく異なる。																												
				明赤橙	Bg	II g					2	50.62~60.28m: 節理に沿ってマンガン脈を伴うことが多い。																												
				明赤橙	Bg	II g					2	53.53~53.58m: 変質帯。上盤41°、下盤43°。幅4cm程度。軟質化している。																												
				明赤橙	Bg	II g					2	57.24m: 幅10mm程度の石英脈を挟む。																												
				明赤橙	Bg	II g					2	60.25m: シーム。傾斜55°。幅0.3cm程度の黒色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。																												

# H20-①-6

## 柱状図(60.00m~85.00m)

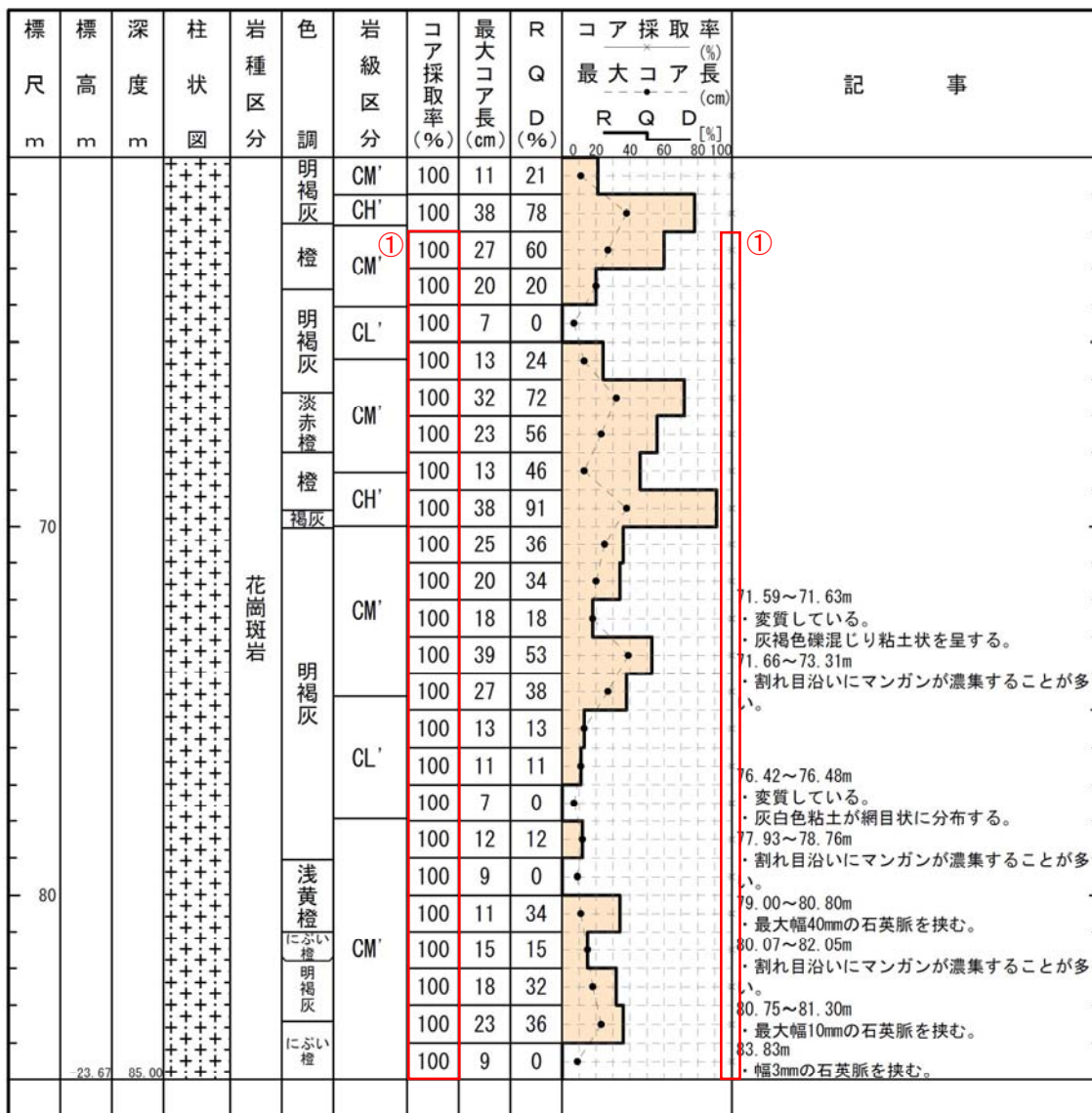


1-292(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H20-①-6

## 柱状図(60.00m~85.00m)



1-292(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

### ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.									3
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	---

事業・工事名

ボーリング名	Br-3	調査位置		北緯	
発注機関		調査期間		東経	
調査業者名		主任技師		ボーリング責	
現代理人		コ鑑定者		ハンマー落下用具	
孔口標高	44.23 m	角		使用機	
総掘削長	80.00 m	度		試錐機	エンジン
		向		ポンプ	

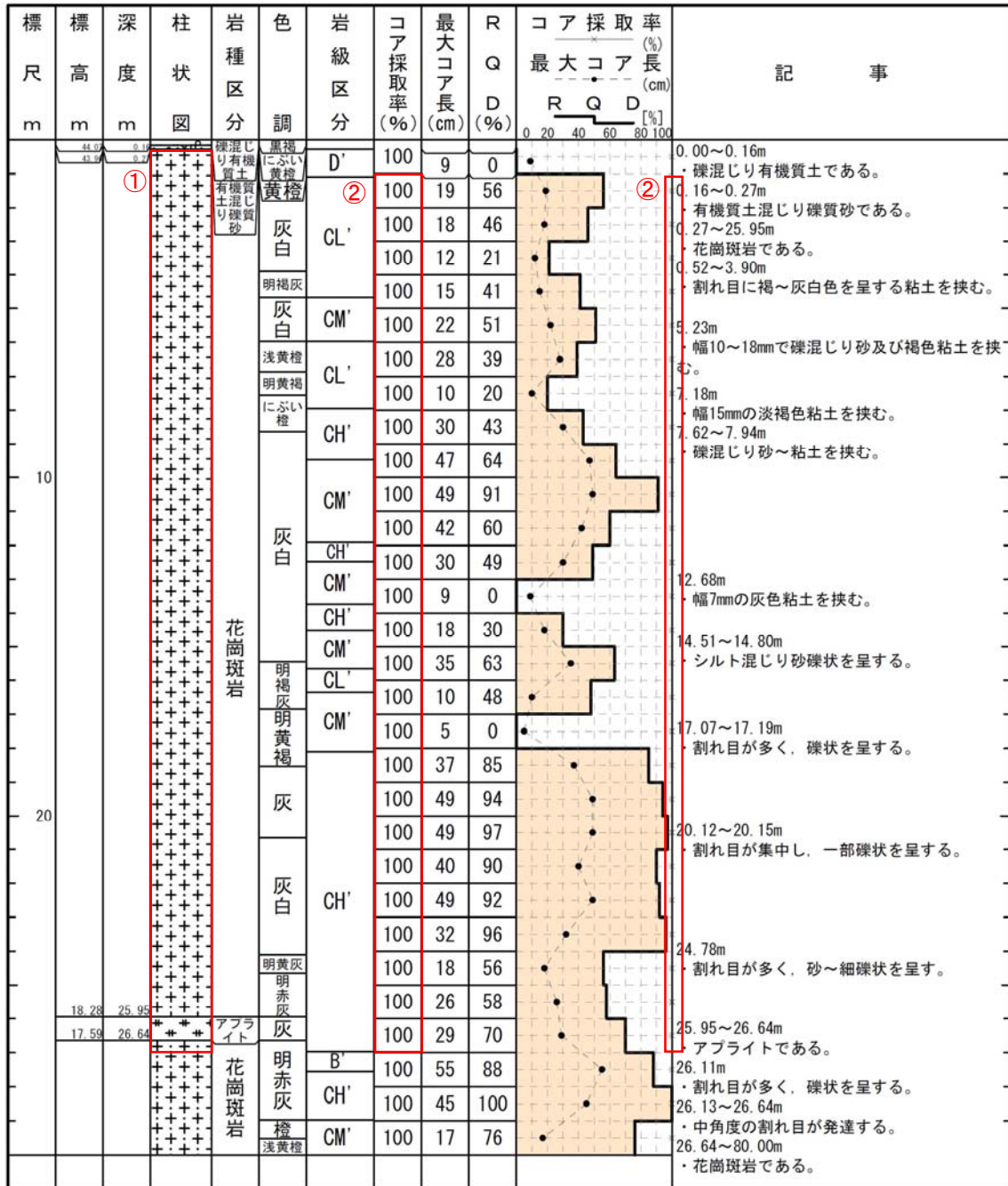
標尺	標高	深度	柱状図	岩種	色	硬軟	コア形状	割れ目	風化	記	岩	区	試験	原	室	掘	掘	給	回	送	排								
																						(m)	(m)	(m)	分	分	分	分	分
44.07	43.96	0.16		花崗斑岩	黒褐色	Dg	IVg	γ		0.00~0.16m: 礫混じり有機質砂。砂を主体とし、有機質で草根や葉を挟み込む。	D'																		
		0.16		花崗斑岩	黒褐色	Eg	IVg	γ		0.16~0.27m: 有機質土混じり硬質砂。細粒砂を主体とする基質中に風化花崗斑岩の垂角~角礫(最大径7cm)を挟み込む。	CL'																		
		0.27		花崗斑岩	黒褐色	Dg	IVg	γ		0.27~25.95m: 花崗斑岩。 0.52~1.05m: 幅2~5mmの褐色粘土を複数挟み込む。 2.06m, 2.32m: それぞれ幅1~2mmの灰白色、褐色粘土を挟み込む。 3.25, 3.29m: 幅2mmの褐色粘土を挟み込む。 3.90m: 幅2mmの灰白色粘土を挟み込む。 4.50m: 幅5~7mmの淡褐色粘土~シルトを挟み込む。 4.81m: 幅3mmの灰白色粘土を挟み込む。 5.23m: 幅10~18mmの礫混じり砂及び褐色粘土を挟み込む。 5.59~5.60m: 灰白色の鉱物脈を複数挟み込む。 7.18m: 幅15mmの淡褐色粘土を挟み込む。 7.62~7.94m: 礫混じり砂~粘土を挟み込む。礫は径5~30mm程度の角礫。	CL'																		
		10		花崗斑岩	黒褐色	Bg	IVg	γ		10.91~10.92m: 褐色の礫混じり粘土を挟み込む。礫は径2~3mmの垂角~角礫。	CH'																		
		20		花崗斑岩	黒褐色	Bg	IVg	γ		12.49~12.50m: 幅5mmの褐色の砂混じり粘土を挟み込む。 12.68m: 幅7mmの灰色粘土を挟み込む。 13.25m: 幅7mmの灰白~淡緑色の細礫混じりシルト~粘土を挟み込む。 14.51~14.80m: シルト混じりの砂礫状を呈する。礫は径1~20mmの垂角礫。 15.12m, 15.17m: 幅2mmの灰白色粘土を挟み込む。 15.65~16.13m: 礫混じりの砂状を呈する。礫径は最大40mm程度。 16.22m, 16.34m: 幅3mmの灰白色粘土を挟み込む。 16.46m: 幅3mmの淡褐色粘土を挟み込む。 16.66~16.74m: 幅1~10mmの灰白色粘土を複数挟み込む。 17.07~17.19m: 礫径2~10mmの礫状を呈する。 17.19m: 幅2~5mmの褐色粘土を挟み込む。 17.84~18.08m: 岩片状に崩れ、一部に灰白色粘土を挟む。 20.12~20.15m: 割れ目が集中し、一部礫状を呈する。	CH'																		
		18.28		花崗斑岩	黒褐色	Dg	IVg	γ		24.12~24.46m: 割れ目に沿って幅1~2mmの褐色粘土を複数挟み込む。	CH'																		
		25.95		花崗斑岩	黒褐色	Bg	IVg	γ		24.78m: 幅3~15mmで砂~細礫状を呈す。	CH'																		
		17.59		アフライト	黒褐色	Bg	IVg	γ		25.95~26.64m: アフライト。 26.11m: 幅2~10mmで径2~5mmの礫状を呈する。 26.13~26.64m: 傾斜40°の割れ目が発達する。 26.64~80.00m: 花崗斑岩。	CH'																		

# H27-Br-3

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-3

孔口標高	T.P.	44.23m	掘削長	80.00m
------	------	--------	-----	--------



- 1-293(分類c)①  
 審査資料作成の際に模様を見直したため。  
 1-294(分類b)②  
 報告書の記載漏れを修正したため。



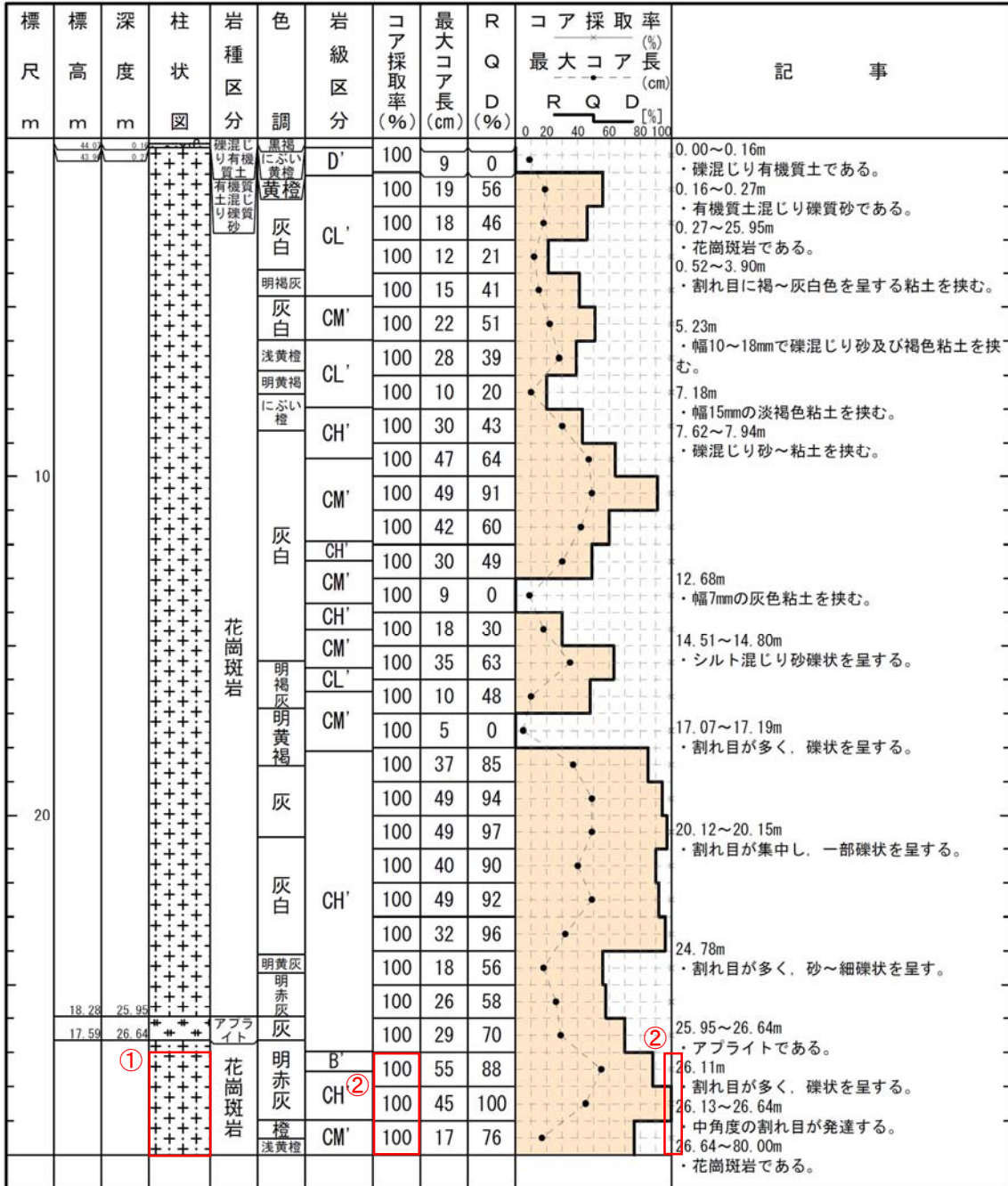
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	標準貫入 ( ) 試験 ( N 値 ~ 深度 ) 図		孔内水位 (m) / 測定月日	原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)				
													N	値																
30			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	26.64~26.66m: 幅10~25mmの淡褐色の礫混じり粘土を挟在する。礫は最大径10mm。	B'	CH'	0	0				4/28	89					0.1	清水3	0				
40			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	29.18~29.64m: 幅1~2mmで褐色粘土を複数挟在する。 29.90~30.22m: 岩片状~礫状に崩れる。	CM'	CH'	0	0					4/29	93										
50			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	31.48~31.54m: 傾斜70°の割れ目が発達する。	B	CH'	0	0					4/30	132										
60			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	38.90m: 幅5mmの黄褐色粘土を挟在する。	CM'	CH'	0	0					5/1	123										
60			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	40.19~40.53m: 径3~5cmの角礫状~岩片状を呈する。 ●40.53~41.10m: 破碎帯。 40.53~40.75m: 角礫状破碎部(Hi)。やや軟らかい角礫状を呈す。上端の傾斜70°。 40.75~40.96m: 礫混じり粘土状破碎部(Hb)。砂~粘土を基質とする。礫径は最大で30mm。 40.96~41.10m: 礫混じり粘土状破碎部(Hc-2)。それぞれ幅が10~15mm・10mm・40~50mmの黄灰色、灰白色・明褐色の礫混じり粘土からなる。主剪断面は40.96mで傾斜60°。下端の傾斜は不明瞭。	CL'	CH'	0	0							5/7	123								
60			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	41.10~41.22m: 角礫状を呈する。 42.40~42.49m: 網目状に割れ目が発達する。 43.33~43.68m: 高角度の割れ目が直越する。 44.92m: 幅2~3mmの砂混じり灰色粘土を挟在する。 45.93~46.37m: 傾斜30~50°の割れ目が発達する。 46.54m: 傾斜45°の割れ目に沿って幅10mmの細礫混じり砂を挟在する。	CL'	CH'	0	0							5/8	133								
60			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	50.51~50.95m: 礫状~岩片状を呈する。	CL'	CH'	0	0					5/8	133										
60			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	52.33~52.69m: 傾斜30~40°の割れ目が発達し、角礫状~岩片状を呈する。 53.17~53.54m: 傾斜50~70°の割れ目が発達し、岩片状を呈する。	CL'	CH'	0	0					5/8	133										
60			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	57.07~57.12m: 礫状を呈する。	CL'	CH'	0	0					5/8	133										
60			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	59.18~60.04m: 傾斜30~80°の割れ目が発達する。 60.04~60.47m: 割れ目が集中し、径20~50mmの角礫状を呈する。	CL'	CH'	0	0					5/8	133										
60			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	61.51~61.55m: 割れ目が集中し、礫状を呈する。 62.81m: 幅10mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	CL'	CH'	0	0					5/8	133										
60			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	62.82~62.85m: 淡黄灰~淡緑灰色の細礫混じりシルト~粘土を挟在する。	CL'	CH'	0	0					5/8	133										

# H27-Br-3

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-3

孔 口 標 高	T. P.	44.23m	掘 削 長	80.00m
---------	-------	--------	-------	--------

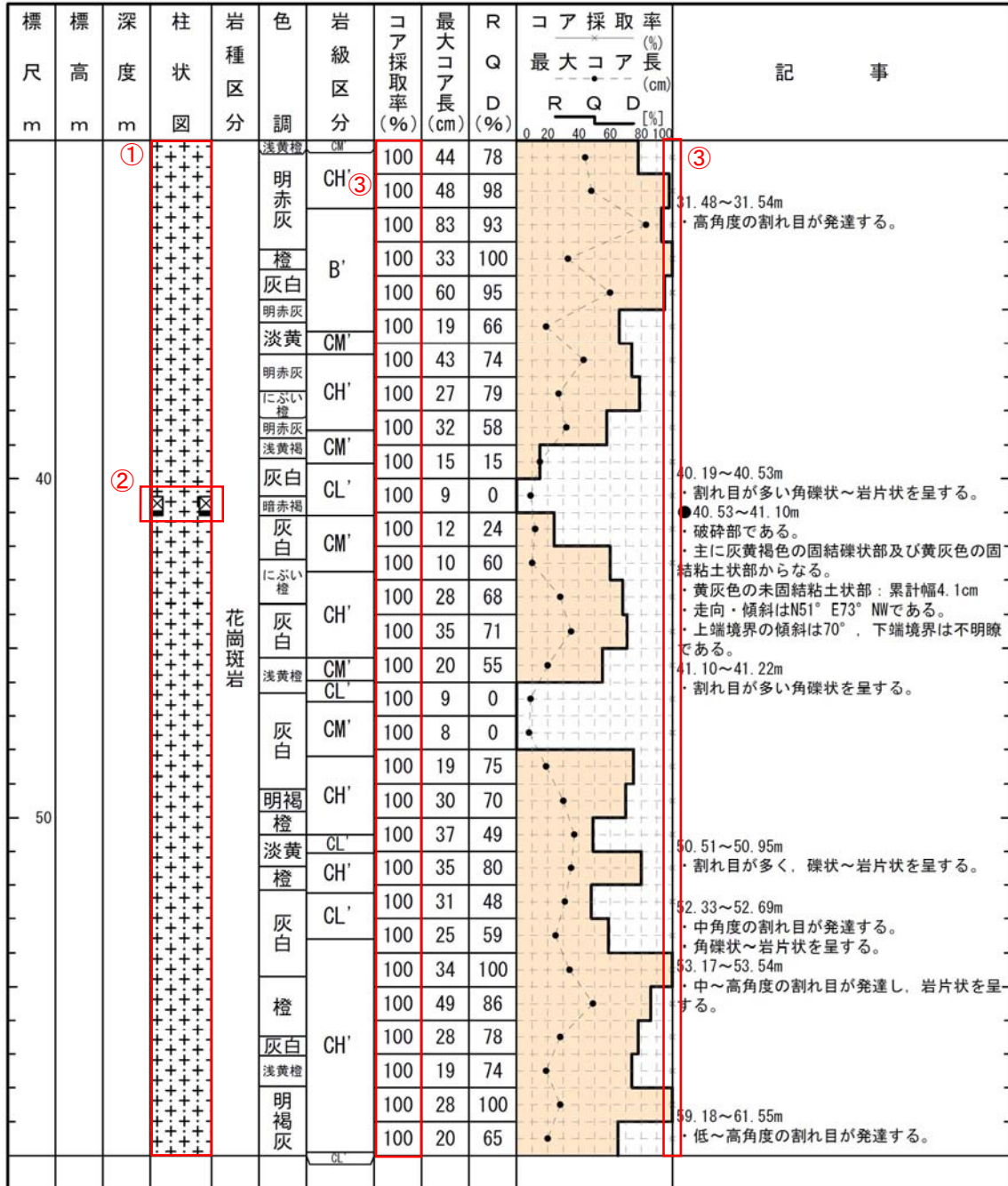


- 1-293(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-294(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	標準貫入 ( N 値 ~ 深度 ) 試験		孔内水位 ( m ) / 測定月日	室内試験	掘進月日	掘進速度 ( cm / 時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給送水圧 ( kN · MPa )	回転数 ( rpm )	送水圧 ( MPa )	送水量 ( L / 分 )	排水量 ( L / 分 )				
													( N 値 )	( 深度 )															
30			[Image]	明赤灰	Bg	IIg	IIg	bg	β	26.64~26.66m: 幅10~25mmの淡褐色の礫混じり粘土を挟在する。礫は最大径10mm。	B'	CH'	0	26.64															
																											55	26.66	
40			[Image]	橙	Bg	IIIg	IIIg	cg	γ	29.18~29.64m: 幅1~2mmで褐色粘土を複数挟在する。 29.90~30.22m: 岩片状~礫状に崩れる。	CM'	CH'	0	29.18															
																											55	29.64	
50			[Image]	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	β	3	31.48~31.54m: 傾斜70°の割れ目が発達する。	CH'	CH'	0	31.48															
																										55	31.54		
60			[Image]	橙	Bg	IIIg	IIIg	δ	3	38.90m: 幅5mmの黄褐色粘土を挟在する。 40.19~40.53m: 径3~5cmの角礫状~岩片状を呈する。 ●40.53~41.10m: 破砕帯。 40.53~40.75m: 角礫状破砕部(Hi)。やや軟らかい角礫状を呈す。上端の傾斜70°。 40.75~40.96m: 礫混じり粘土状破砕部(Hb)。砂~粘土を基質とする。礫径は最大で30mm。 40.96~41.10m: 礫混じり粘土状破砕部(Hc-2)。それぞれ幅が10~15mm・10mm・40~50mmの黄灰色、灰白色・明褐色の礫混じり粘土からなる。主剪断面は40.96mで傾斜60°。下端の傾斜は不明瞭。 41.10~41.22m: 角礫状を呈する。 42.40~42.49m: 網目状に割れ目が発達する。 43.33~43.68m: 高角度の割れ目が直越する。 44.92m: 幅2~3mmの砂混じり灰色粘土を挟在する。 45.93~46.37m: 傾斜30~50°の割れ目が発達する。 46.54m: 傾斜45°の割れ目に沿って幅10mmの細礫混じり砂を挟在する。	B	CH'	0	38.90															
70			[Image]	灰白	Bg	IVg	IVg	cg	δ	50.51~50.95m: 礫状~岩片状を呈する。	CL'	CH'	0	50.51															
																										55	50.95		
80			[Image]	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	β	3	52.33~52.69m: 傾斜30~40°の割れ目が発達し、角礫状~岩片状を呈する。 53.17~53.54m: 傾斜50~70°の割れ目が発達し、岩片状を呈する。	CL'	CH'	0	52.33															
																										55	52.69		
90			[Image]	橙	Bg	IIIg	IIIg	δ	2	57.07~57.12m: 礫状を呈する。	CH'	CH'	0	57.07															
																										55	57.12		
100			[Image]	明赤灰	IIg	IIIg	IIIg	γ	3	59.18~60.04m: 傾斜30~80°の割れ目が発達する。 60.04~60.47m: 割れ目が集中し、径20~50mmの角礫状を呈する。	CL'	CH'	0	59.18															
																										55	60.04		
110			[Image]	灰白	Bg	IVg	IVg	cg	γ	61.51~61.55m: 割れ目が集中し、礫状を呈する。	CH'	CH'	0	61.51															
																										55	61.55		
120			[Image]	橙	Bg	IIIg	IIIg	δ	2	62.81m: 幅10mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	CM'	CL'	0	62.81															
																										55	62.81		
130			[Image]	灰白	Bg	IVg	IVg	cg	δ	62.82~62.85m: 淡黄灰~淡緑灰色の細礫混じりシルト~粘土を挟在する。	CL'	CL'	0	62.82															
																										55	62.85		

# H27-Br-3

## 柱状図(30.00m~60.00m)



- 1-293(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-295(分類d)②  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-294(分類b)③  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩 級 区 分	標準貫入 ( N 値 ~ 深度 ) 図		孔内水位 ( m ) / 測定月日	試験		原位置試験 ( 孔内水平載重 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 ( cm / 時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 送 水 量 ( L / 分 )	回 転 数 ( rpm )	送 水 圧 ( MPa )	送 水 量 ( L / 分 )	排 水 量 ( L / 分 )							
													N	値		試験	試験																		
30				明赤灰	Bg	II g	bg	β		26.64~26.66m: 幅10~25mmの淡褐色の礫混じり粘土を挟在する。礫は最大径10mm。	B'	CH'	0	26.64							4/28	89						0.1	清水3	0					
40				明赤灰	Bg	II g	cg	γ		29.18~29.64m: 幅1~2mmで褐色粘土を複数挟在する。 29.90~30.22m: 岩片状~礫状に崩れる。	CM'	CH'	27	29.18							4/29	93													
50				明赤灰	Bg	II g	β	3		31.48~31.54m: 傾斜70°の割れ目が発達する。	CH'	CH'	31	31.48							4/30	132													
60				明赤灰	Bg	II g	γ	2		38.90m: 幅5mmの黄褐色粘土を挟在する。	CM'	CH'	38	38.90							5/1	123													
60				明赤灰	Bg	II g	δ	3		40.19~40.53m: 径3~5cmの角礫状~岩片状を呈する。 ●40.53~41.10m: 破碎帯。 40.53~40.75m: 角礫状破碎部(Hi)。やや軟らかい角礫状を呈す。上端の傾斜70°。 40.75~40.96m: 礫混じり粘土状破碎部(Hb)。砂~粘土を基質とする。礫径は最大で30mm。 40.96~41.10m: 礫混じり粘土状破碎部(Hc-2)。それぞれ幅が10~15mm・10mm・40~50mmの黄灰色、灰白色・明褐色の礫混じり粘土からなる。主剪断面は40.96mで傾斜60°。下端の傾斜は不明瞭。	CL'	CM'	40	40.19										5/7	123										
60				明赤灰	Bg	II g	γ	3		41.10~41.22m: 角礫状を呈する。 42.40~42.49m: 網目状に割れ目が発達する。 43.33~43.68m: 高角度の割れ目が直越する。 44.92m: 幅2~3mmの砂混じり灰色粘土を挟在する。 45.93~46.37m: 傾斜30~50°の割れ目が発達する。 46.54m: 傾斜45°の割れ目に沿って幅10mmの細礫混じり砂を挟在する。	CH'	CM'	41	41.10									5/8	133											
60				明赤灰	Bg	II g	β	3		50.51~50.95m: 礫状~岩片状を呈する。	CL'	CH'	50	50.51							5/7	123													
60				明赤灰	Bg	II g	γ	3		52.33~52.69m: 傾斜30~40°の割れ目が発達し、角礫状~岩片状を呈する。 53.17~53.54m: 傾斜50~70°の割れ目が発達し、岩片状を呈する。	CL'	CH'	52	52.33							5/7	123													
60				明赤灰	Bg	II g	δ	2		57.07~57.12m: 礫状を呈する。	CH'	CH'	57	57.07							5/8	133													
60				明赤灰	Bg	II g	γ	3		59.18~60.04m: 傾斜30~80°の割れ目が発達する。 60.04~60.47m: 割れ目が集中し、径20~50mmの角礫状を呈する。	CL'	CH'	59	59.18							5/8	133													
60				明赤灰	Bg	II g	γ	3		61.51~61.55m: 割れ目が集中し、礫状を呈する。	CH'	CH'	61	61.51							5/8	133													
60				明赤灰	Bg	II g	δ	2		62.81m: 幅10mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	CM'	CH'	62	62.81							5/8	133													
60				明赤灰	Bg	II g	γ	3		62.82~62.85m: 淡黄灰~淡緑灰色の細礫混じりシルト~粘土を挟在する。	CL'	CH'	62	62.82							5/8	133													



# H27-Br-3

## 柱状図(60.00m~80.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア長 (cm)	R	Q	
		①		花崗斑岩	灰白	CL'	100	35	46				② 62.81m ・幅10mmの淡緑灰色粘土を挟む。 62.82~62.85m ・淡黄灰~淡緑灰色を呈する細礫混じりシルト~粘土を挟む。 62.85~63.05m ・角礫状~岩片状を呈する。 63.99~64.09m ・淡緑灰色を呈するシルト混じりの角礫状部である。 ・幅1~2mmの灰白色を呈する粘土を挟む。 64.25~65.80m ・高、低角度の割れ目が斜交し、角礫状~岩片状を呈する。 68.89~72.28m ・高、中角度の割れ目が発達する。 71.59~72.28m ・ほぼ鉛直の割れ目が発達する。 71.92~71.95m ・砂状を呈する。 72.28~72.56m ・網目状に割れ目が発達する。 ●77.72~77.90m(D-43破碎帯) ・破碎部である。 ・明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN38° W76° SWである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は70°、下端境界の傾斜は60°である。 78.09~78.36m ・低角度の割れ目が発達する。
					灰白	CH'	100	17	41				
					橙	CM'	100	13	37				
					灰白	CL'	100	9	0				
					灰白	CM'	100	8	0				
					浅黄橙	CL'	100	9	0				
					明褐灰にふい橙	CL'	100	11	20				
					灰白	CL'	100	8	0				
					明褐灰	CM'	100	9	0				
					灰白	CH'	100	18	45				
					灰白	CL'	100	3	0				
					淡黄	CL'	100	3	0				
					淡黄	CM'	100	8	0				
					淡橙	CM'	100	19	55				
					淡橙	CH'	100	18	72				
			淡橙	CL'	100	19	34						
			橙	CM'	100	18	56						
			灰白	CM'	100	9	0						
			橙	CM'	100	19	57						
			橙	CM'	100	37	37						

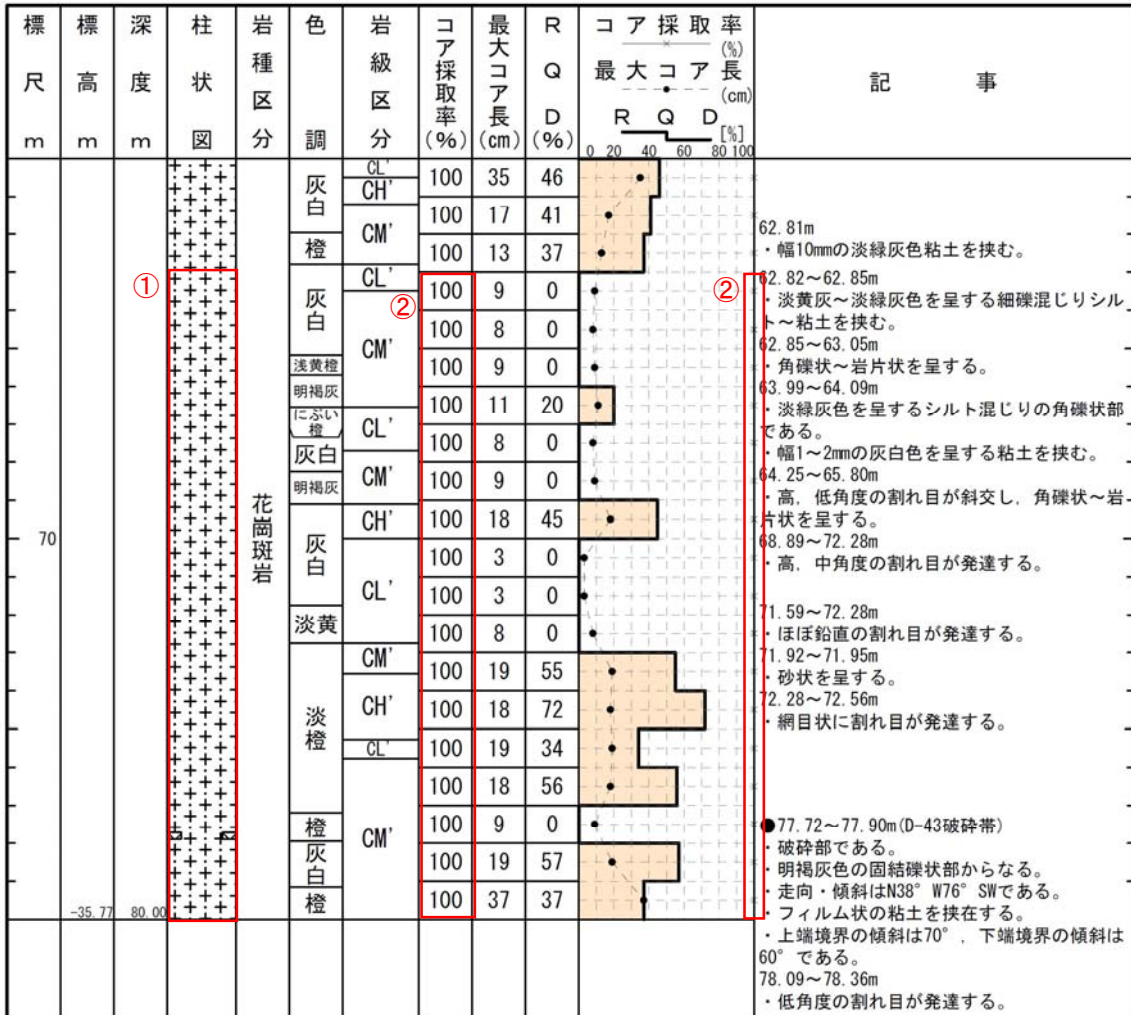
- 1-293(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-294(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 ( 試験 )		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	給圧 (kn・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																										
														( N 値 )	( N 値 ~ 深度 ) 図																																				
70	35.77	80.00	花崗斑岩	灰白	淡黄	IV g	cg	δ	γ	62.85~63.05m: 最大径50mm程度の角礫状~岩片状を呈する。	CL'			0	10			5/8	133																																
																																	63.99~64.09m: 傾斜70°, 幅30mmで淡緑灰色を呈し、シルト混じりの角礫状となる。礫径は5~10mm。幅1~2mmの灰白色粘土を挟在する。																		
																																	64.25~65.80m: 高・低角度の割れ目が交差し、角礫状~岩片状を呈する。																		
																																	68.35~68.46m: 砂状~角礫状を呈し、上端の割れ目の一部に幅1~4mmの淡緑~淡褐色シルトを挟在する。68.89~69.77: 傾斜50°程度の平行的な割れ目が発達する。																		
																																	69.77~72.28m: 高角度の割れ目が卓越し、岩片状を呈する。																		
																																	71.00~71.05m: 砂状~礫状を呈し、下端に幅4mmの黒色酸化物を挟在する。一部に最大幅9mmで淡緑灰色の細礫混じり粘土を挟在する。																		
																																	71.59~72.28m: ほぼ鉛直の割れ目が卓越する。																		
																																	71.92~71.95m: 砂状を呈する。																		
																																	72.28~72.56m: 網目状に割れ目が発達し、礫状~岩片状を呈する。																		
																																	72.56~72.74m: 主として径2~5mmの角礫及び砂の中に最大径40mmの岩片を含む。																		
																																	75.42~75.95m: 高角度の割れ目が卓越する。																		
																																	76.11~76.15m: 低角度の割れ目が集中する。																		
																																	●77.72~77.90m: 破砕帯。角礫状破砕部(H)。上端に幅1~2mmの淡褐色粘土を挟在する。上端の傾斜70°。黒色酸化物を挟在する。下端の傾斜60°。																		
																																	78.09~78.36m: 低角度の割れ目が卓越する。																		

# H27-Br-3

## 柱状図(60.00m~80.00m)



- 1-293(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-294(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。

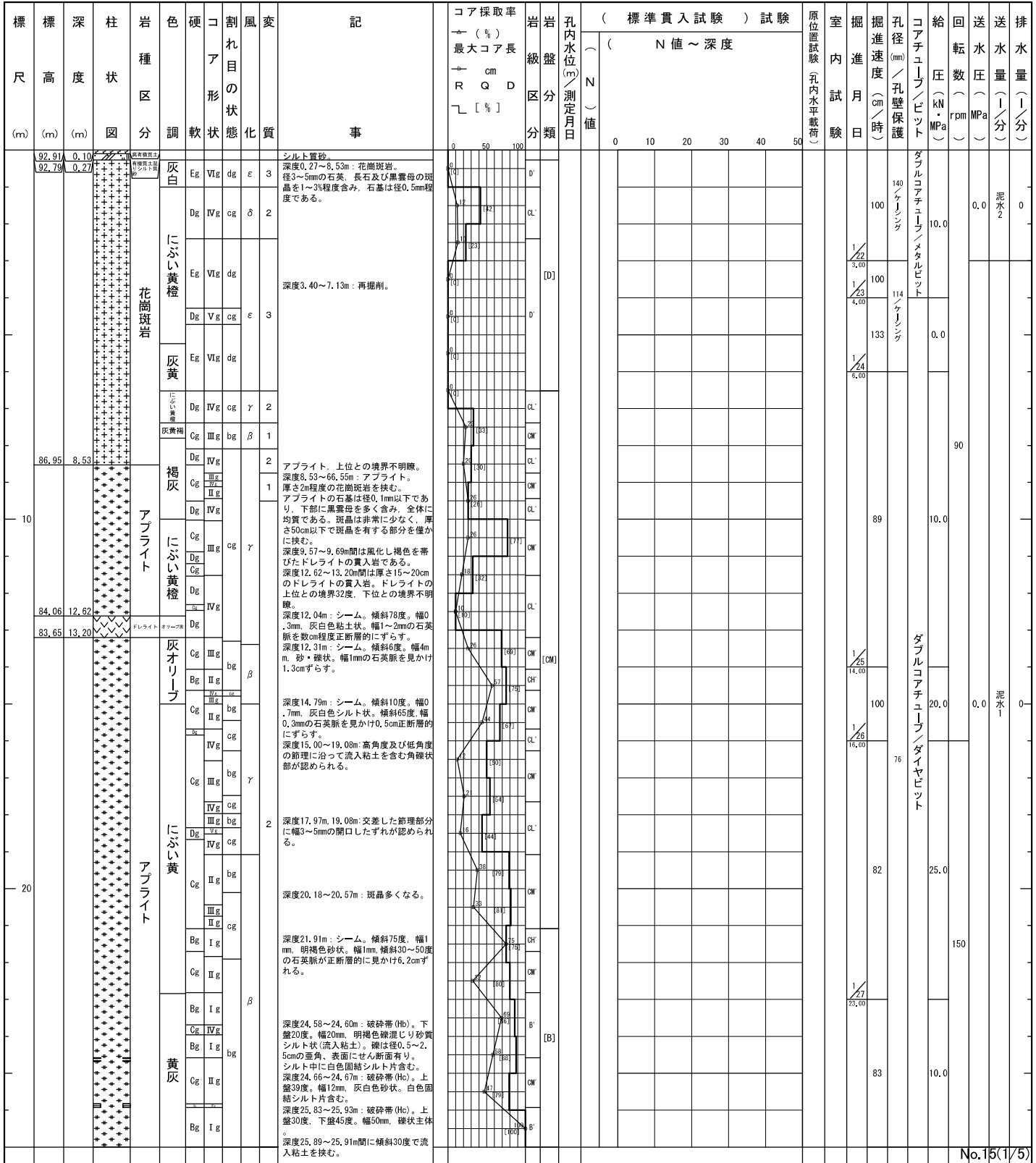
ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No. 15			調査位置		北緯		
発注機関					調査期間		東経	
調査業者名	主任技師				現代理人		ボーリング責任者	
孔口標高	+ 92.98 m	角	180° 上	方	北 0° 西 270°	地盤勾配	使用機種	ハンマー 落下用具
総掘削長	150.00 m	度	90° 下	向	東 90° 南 180°	鉛直 90°	エンジン	ポンプ

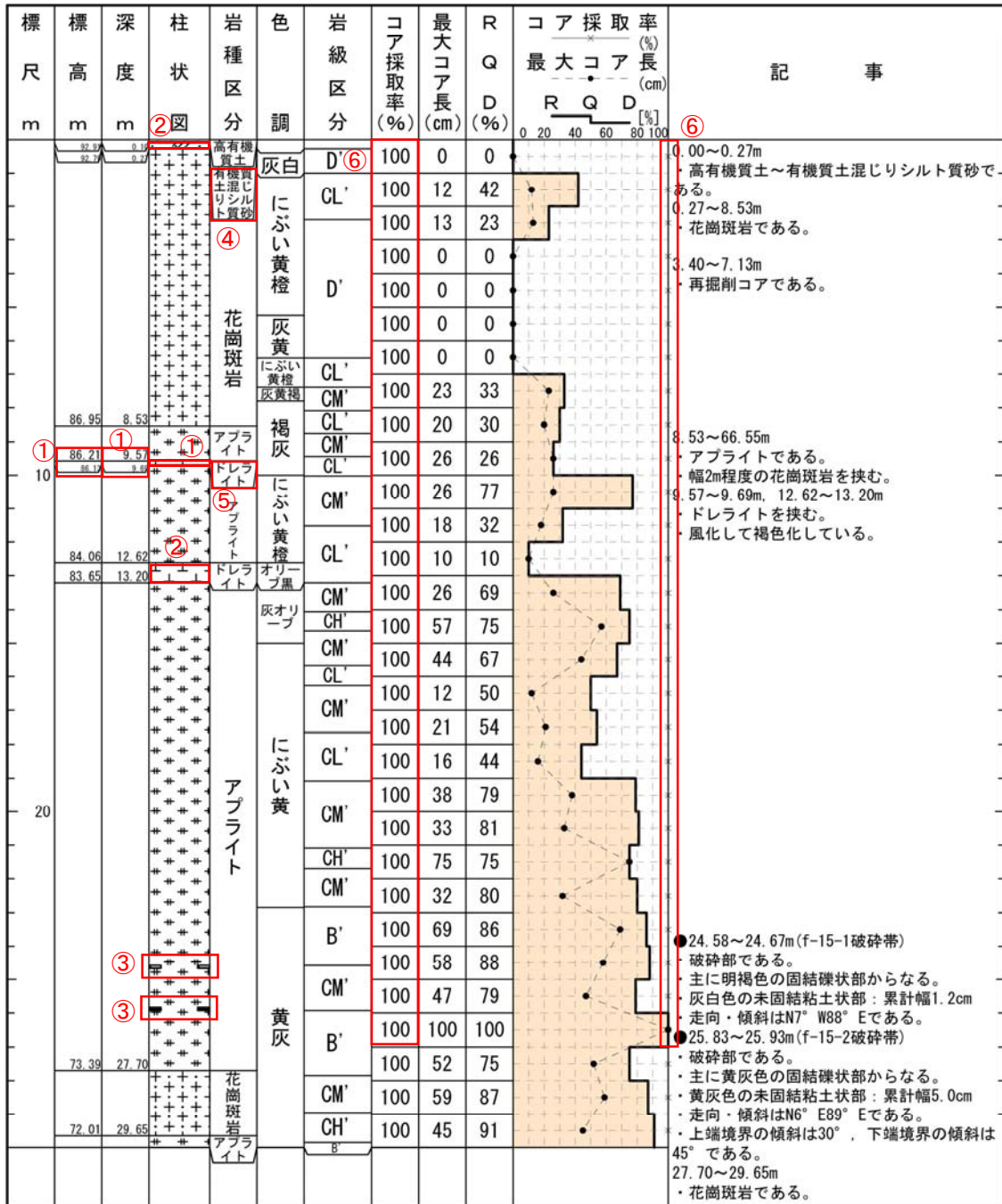


# H19-No. 15

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 15

孔口標高	T. P.	92.98m	掘削長	150.00m
------	-------	--------	-----	---------



- 1-296~1-299, 1-301 (分類c)①  
岩種区分に”ドレライト”が追加されたため。
- 1-300, 1-302 (分類c)②  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-303, 1-304 (分類d)③  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-305 (分類c)④  
表現を統一したため。
- 1-306 (分類c)⑤  
報告書の記事にあった”ドレライト”を反映させたため。
- 1-307 (分類b)⑥  
報告書の記載漏れを修正したため。

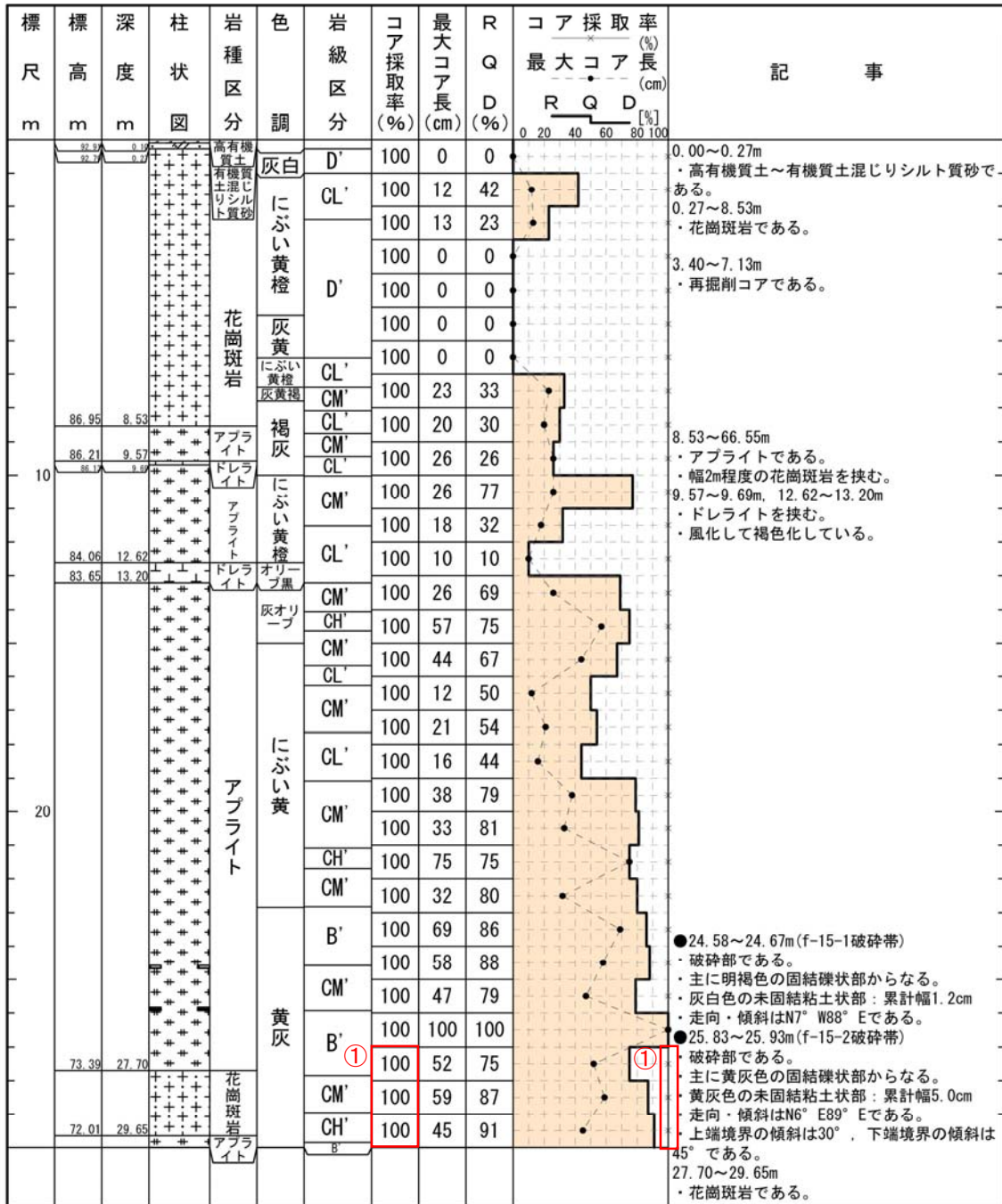


# H19-No. 15

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 15

孔 口 標 高	T. P. 92.98m	掘 削 長	150.00m
---------	--------------	-------	---------



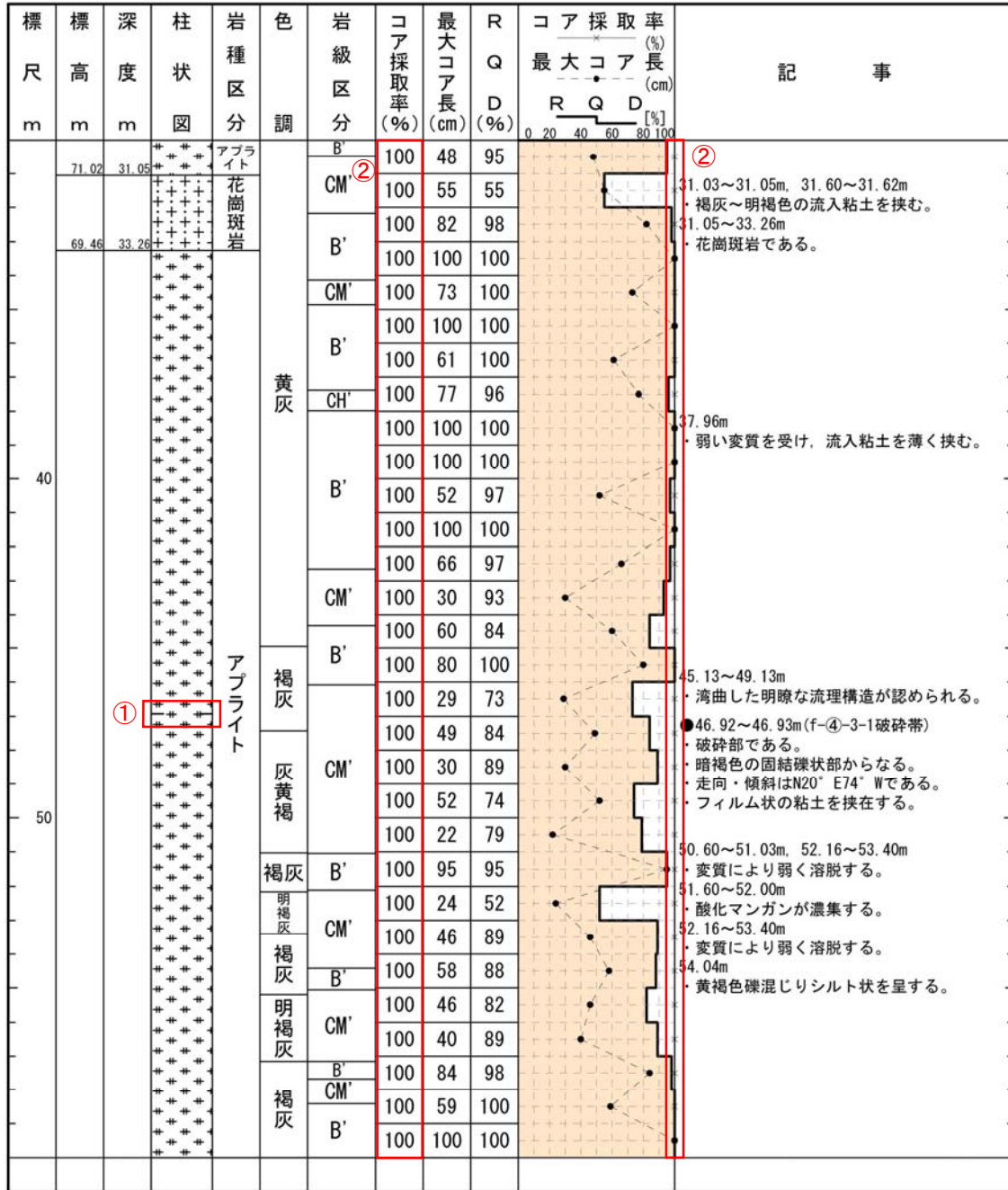
1-307(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。





# H19-No. 15

## 柱状図(30.00m~60.00m)

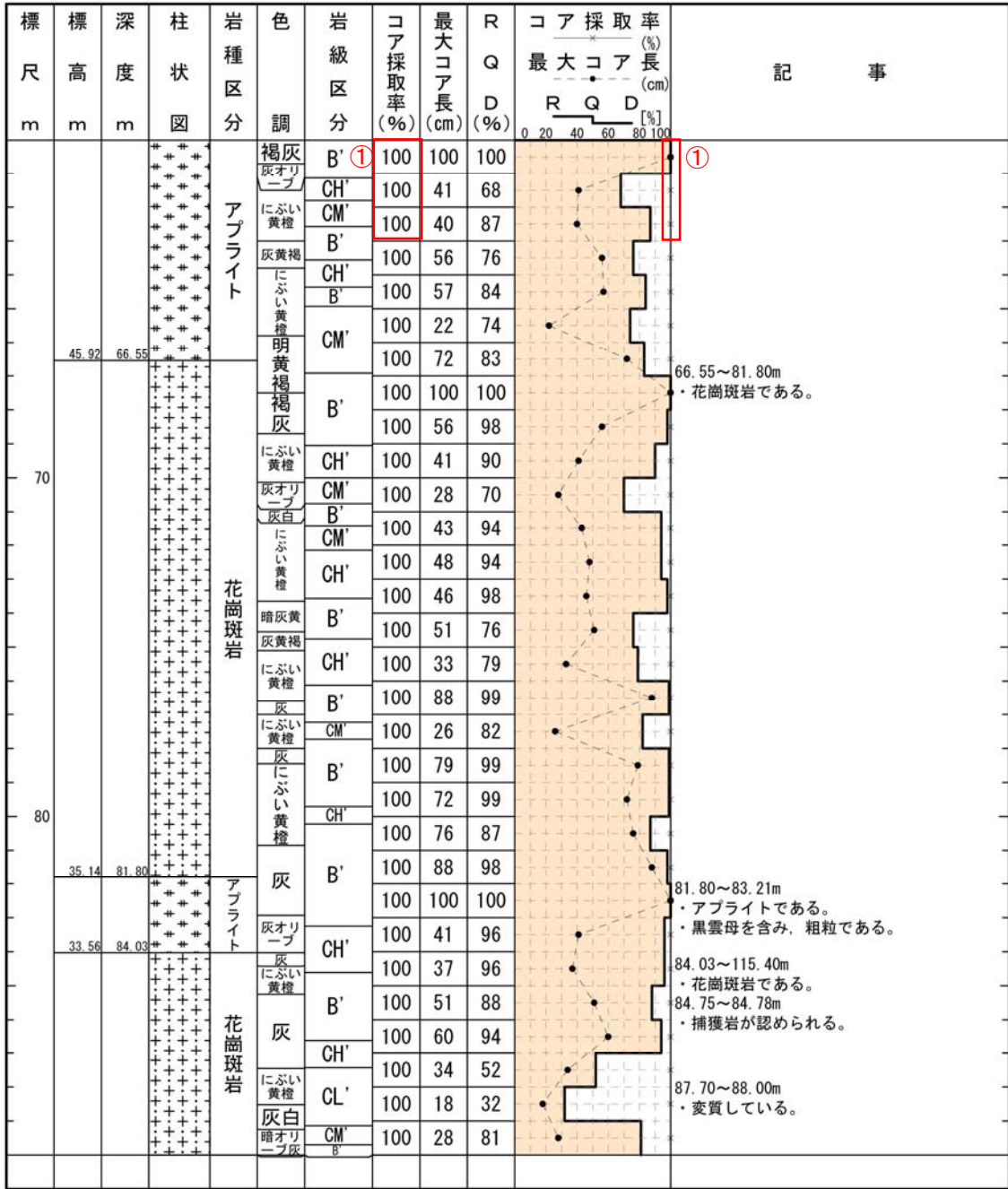


- 1-308(分類d)①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-307(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D L [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位 / 測定日	(標準貫入試験) 試験 (N 値 ~ 深度)					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進進度 (cm/時)	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
																0	10	20	30	40												50	
30	73.39	27.70	アフライト	花崗斑岩	Bg	Ig	bg				花崗斑岩。上位との境界不明瞭。	52 (100)	B'			83		1/29 28,80		10.0													
	72.01	29.68	アフライト	花崗斑岩	Bg	Ig	bg				アフライト。上位との境界漸移的。下位との境界不明瞭。	45 (91)	CH			63																	
	71.02	31.05	アフライト	花崗斑岩	Bg	Ig	cg	γ			深度31.03~31.05m。31.60~31.62m: 傾斜50~60度。幅0.5~1.0cm。砂状~砂質シルト状。褐灰~明褐色の流入粘土を含む。	45 (91)	CH			63																	
	69.46	33.26		黄灰	Bg	Ig					アフライト。上位との境界漸移的。	45 (91)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig						45 (91)	CH	[B]		58		1/30 34,80															
				黄灰	Bg	Ig	bg				深度37.96m: 傾斜10度の節理周辺。幅10~15cm。弱い変質を受ける。流入粘土を薄く挟む。	42 (84)	CH			68		1/31 40,00															
				黄灰	Bg	Ig						42 (84)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				42 (84)	CH			40		2/1 44,40															
				黄灰	Bg	Ig						42 (84)	B'					2/2 45,20															
				黄灰	Bg	Ig	cg	β			深度45.13~49.13m: 所々に傾斜20~45度のうねった明瞭な流理構造が認められる。	45 (90)	CH			45																	
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				45 (90)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				45 (90)	CH					2/5 47,70															
				黄灰	Bg	Ig	cg	β			深度47.80~47.93m。49.45~49.70m: 節理に沿って酸化マンガンが沈着し黒色を帯びる。	48 (96)	CH			86																	
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				48 (96)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β			深度50.60~51.03。52.16~53.40m: 変質により弱く溶脱する。	52 (104)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β			深度51.60~52.00m: 酸化マンガンが顕球状に濃集し、それを取り巻いて褐鉄鉱が帯状に分布する。	52 (104)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				52 (104)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β			深度52.16~53.40m: 変質により弱く溶脱する。	52 (104)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				52 (104)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β			深度54.04m: シーム。傾斜75度。幅4mm。黄褐色凝混じりシルト状。	58 (116)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				58 (116)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β			比較的長石を多く含む。	58 (116)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				58 (116)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				58 (116)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β			深度57.60~58.70m: 部分的に傾斜15~30度の流理が認められる。	64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	CH																				
				黄灰	Bg	Ig	cg	β				64 (128)	B'																				

# H19—No. 15

## 柱状図(60.00m～90.00m)



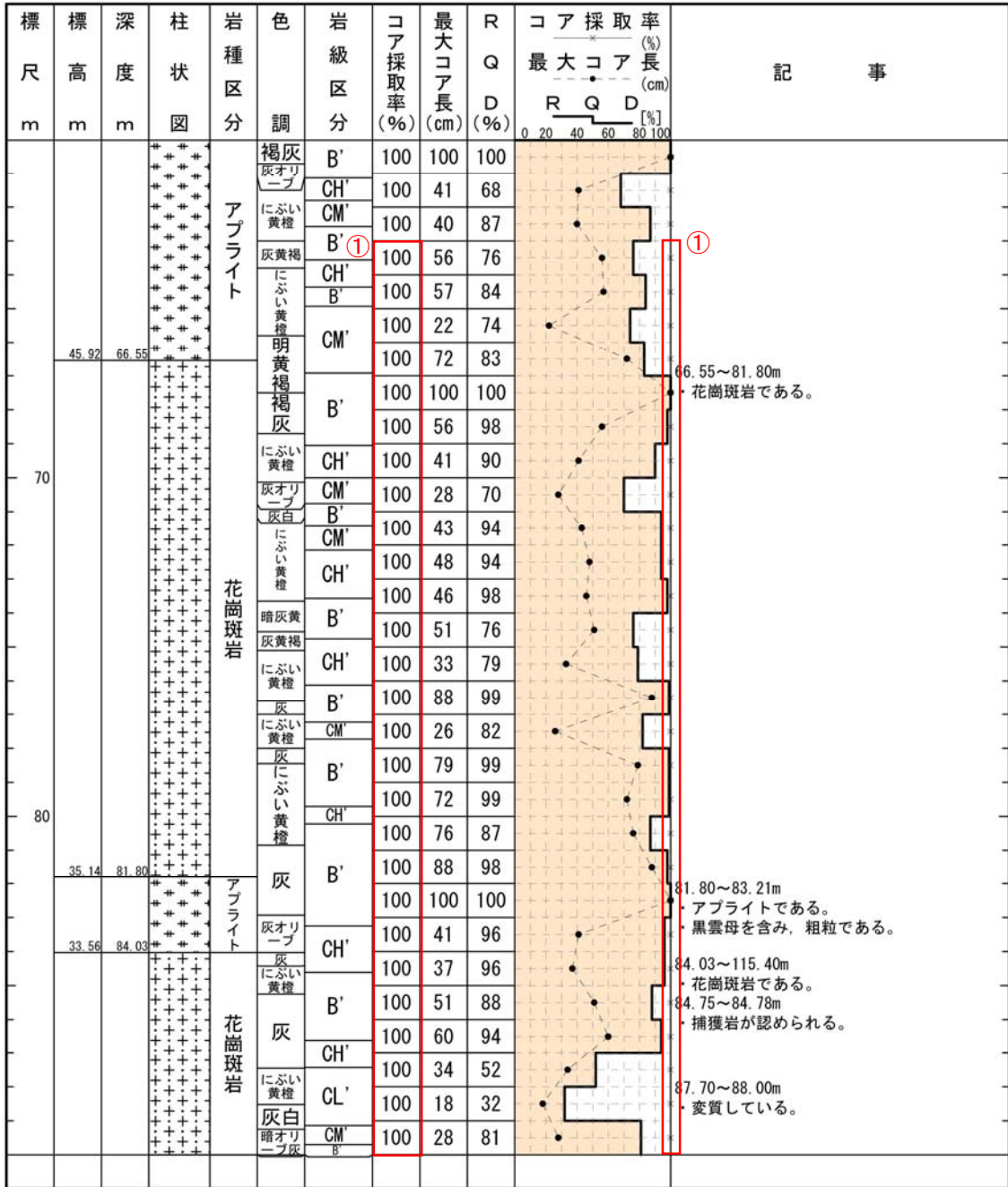
1-307(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定日	( 標準貫入試験 ) 試験		原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
															N 値 ~ 深度	N 値										
				アプライト	灰黄褐色	I g																				
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	II g																				
				アプライト	明黄褐色	I g																				
				花崗斑岩	褐灰色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	灰白	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	暗灰黄	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	II g																				
				アプライト	灰	I g																				
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	II g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	暗灰黄	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	暗灰黄	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	II g																				
				アプライト	灰	I g																				
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	II g																				
				アプライト	灰	I g																				
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	II g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	暗灰黄	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	暗灰黄	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				
				アプライト	にぶい黄褐色	II g																				
				花崗斑岩	明褐色	I g																				

ダブルコアチップ / ダイヤビット

# H19—No. 15

## 柱状図(60.00m～90.00m)



1-307(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

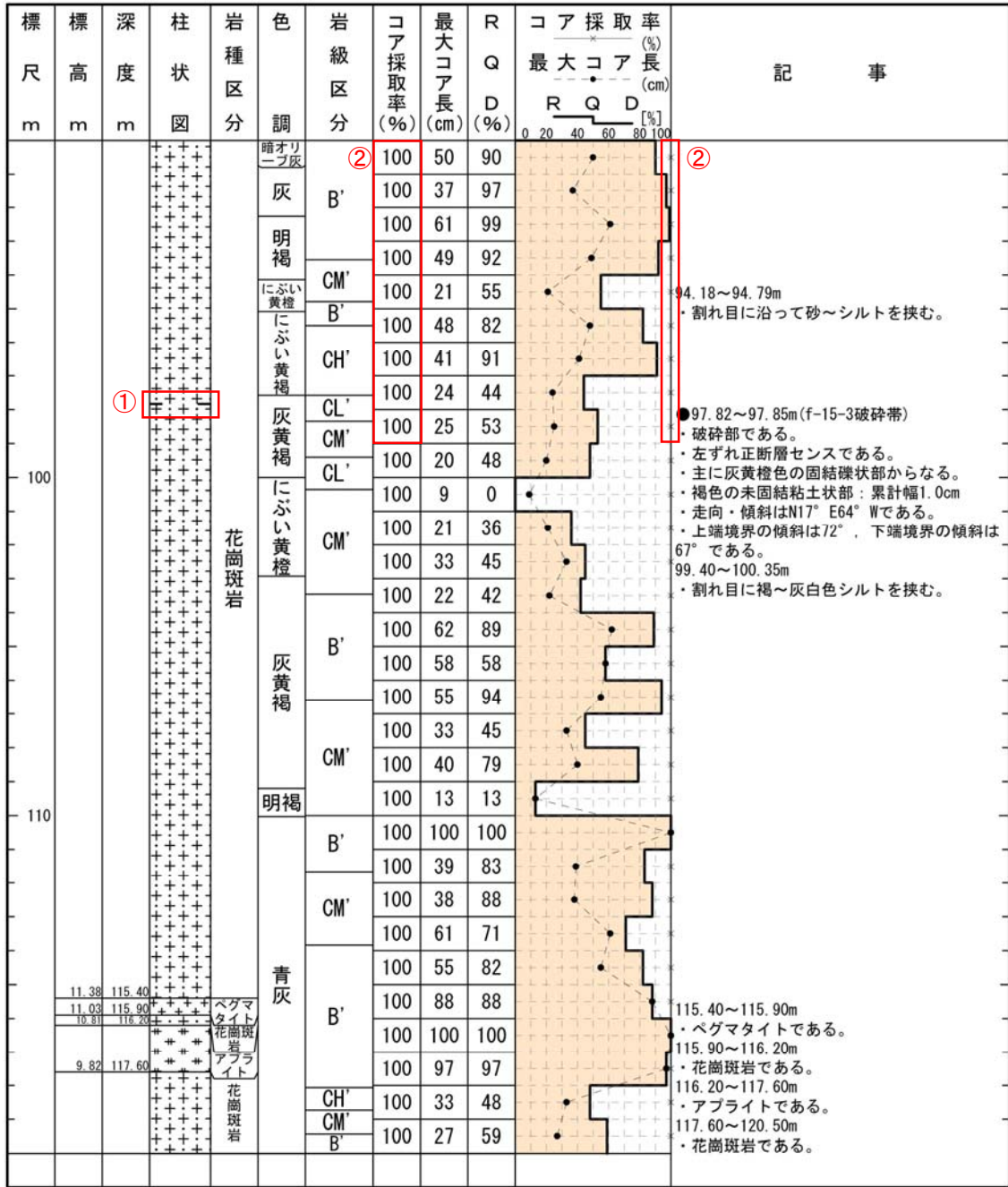


標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定月日)	( 標準貫入試験 ) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)				
																( N 値 ~ 深度 )																	
		45.92		アプライト	明黄褐	I g	III g	β			花崗斑岩。上位との境界不明瞭。深度66.55~120.50m:花崗斑岩。径2~5mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を1~40%程度含み。石基は径0.1~0.5mm程度である。	56					2/8 65.60	71	2/9 70.30	44	2/10 73.80	79	2/12 80.90	52	2/13 84.80	84	2/14 92.05	83		0.0	泥水1	0	
	70	66.55		花崗斑岩	明黄褐	I g	III g	α																									
				アプライト	灰白	I g	III g	β		2	深度77.30~77.36m:傾斜62~67度の節理に沿ってシルト~砂を挟む。																						
	80	81.80		アプライト	灰	I g	III g	α			アプライト。上位との境界傾斜25~30度。深度81.80~83.21m:黒雲母を多く含む粗粒なアプライト。																						
		84.03		花崗斑岩	灰	I g	III g	β			花崗斑岩。上位との境界不明瞭。深度84.03~85.00m:やや斑晶が少なく。深度84.75~84.78m:捕獲岩有り。																						
		88.00		花崗斑岩	灰白	I g	III g	δ 3		3	深度87.70m:シーム。傾斜12度。幅1~2mm。粘土状。 深度87.74~88.00m:変質帯。上盤27度。黄褐色シルト質砂状。																						
		92.05		花崗斑岩	明褐	I g	III g	α			深度91.15~92.05m:斑晶やや細粒。径2~3mm程度の石英斑晶を含む。																						
		97.85		花崗斑岩	灰黄褐	I g	III g	γ			深度94.18~94.79m:傾斜70~75度の節理に沿って砂~シルトを挟む。																						
				アプライト	灰黄褐	I g	III g	γ			深度97.82~97.85m:破砕帯(Hc)。上盤72度、下盤67度。幅12mm。褐色・灰白色シルトの互層状。																						

ダブルコアチューブ/ダイヤビット

# H19—No. 15

## 柱状図(90.00m～120.00m)

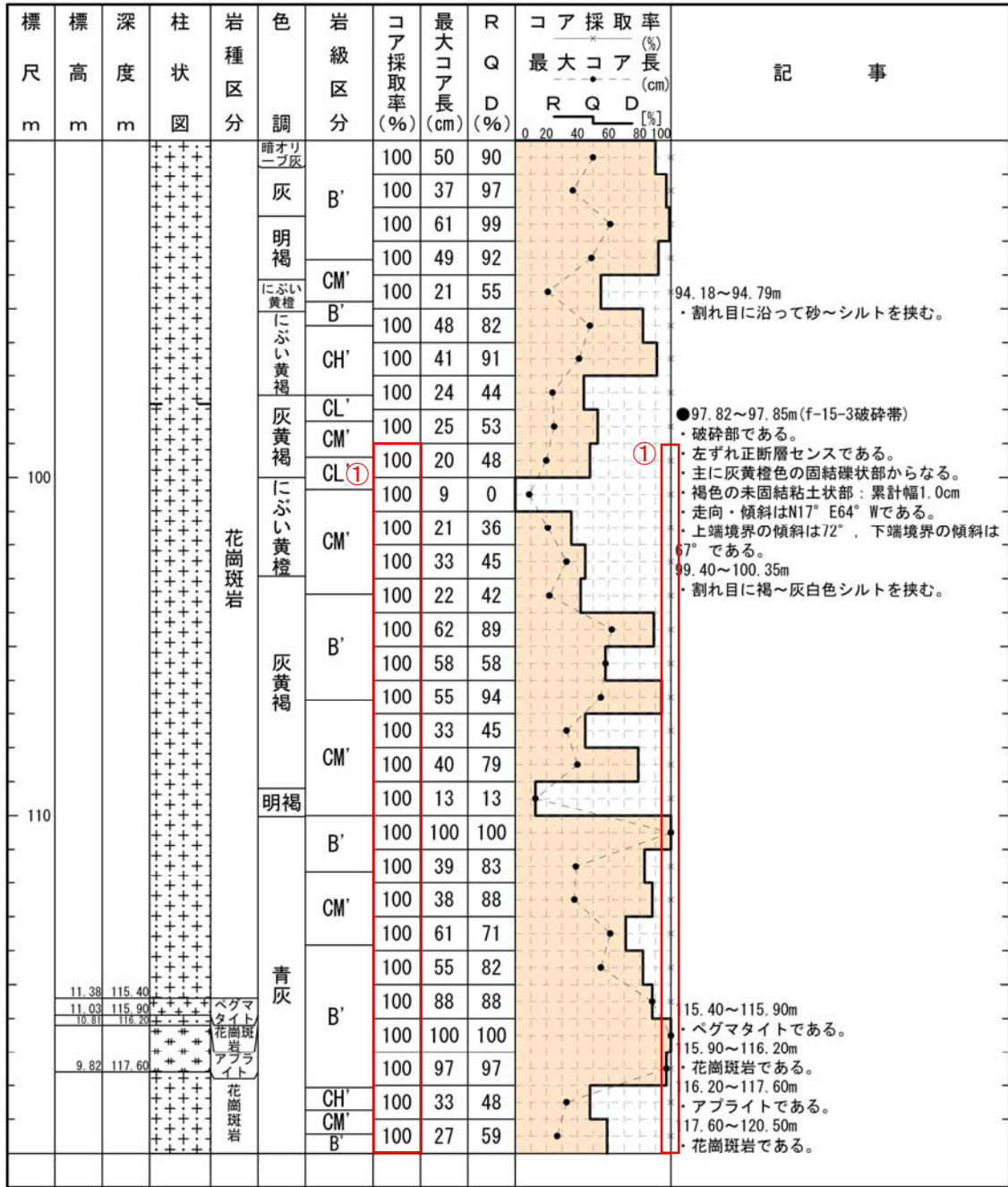


- 1-309(分類d)①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-307(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
															( N 値 ~ 深度 )																	
		100		花崗斑岩	灰黄褐	IVg	og				深度99.00~99.85m: 斑晶少ない。 深度99.40~100.35m: 傾斜56~71度の節理発達し、褐色・灰白色シルトを挟む。	0 50 100	OM		2/15	83																
				花崗斑岩	にぶい黄橙	IVg					深度101.55~102.60m: 斑晶少ない。		[CM]		2/16	31																
				花崗斑岩	灰黄褐	Bg				2	深度106~120m: 傾斜70程度の密着した節理に微小な黄鉄鉱付着。		B'		2/19	101																
				花崗斑岩	明褐	IVg							[CM]			82																
				花崗斑岩	青灰	Bg					深度111.70~120.50m: 斑晶が少なくなり (1~3%程度)、石基は径0.2~0.5mm程度で黒雲母を多く含む。		B'		2/20	40.0																
				花崗斑岩	アフライト	Bg				1	深度115.40~115.90m: ベグマタイト。径1~3cmの長石主体。		B'		2/20	81																
				花崗斑岩	にぶい橙	Bg					アフライト、上位、下位との境界傾斜20~30度。		B'		2/21	76																
				花崗斑岩	にぶい橙	Bg					アフライト、上位との境界漸移的。深度120.50~150.00m: アフライト。石基は径0.1~0.2mm程度で、黒雲母多く、流理が認められる。厚さ20~35cmのベグマタイトを挟む。深度121.10~121.55m: 斑晶多い。		B'		2/21	97																
				花崗斑岩	アフライト	Bg					深度124.50~124.60m: 斑晶多い。 深度125.60~126.10m: 斑晶多い。		B'		2/22	116																
				花崗斑岩	明赤灰	IVg					深度126.00~127.00m: 傾斜70度の一部の節理に幅1mmの石英脈を伴う。		B'																			
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg					深度127.59~127.85m: 変質強く軟質化。 深度128.30~129.00m: 斑晶多い。		B'																			
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg					深度130.15m: 幅2~3mmの石英脈あり。		B'		2/23	97																
				花崗斑岩	灰	Bg					花崗斑岩、上位との境界傾斜40度。花崗斑岩はカリ長石の割合多い。節理に黄鉄鉱を挟む。		B'																			

# H19-No. 15

## 柱状図(90.00m~120.00m)

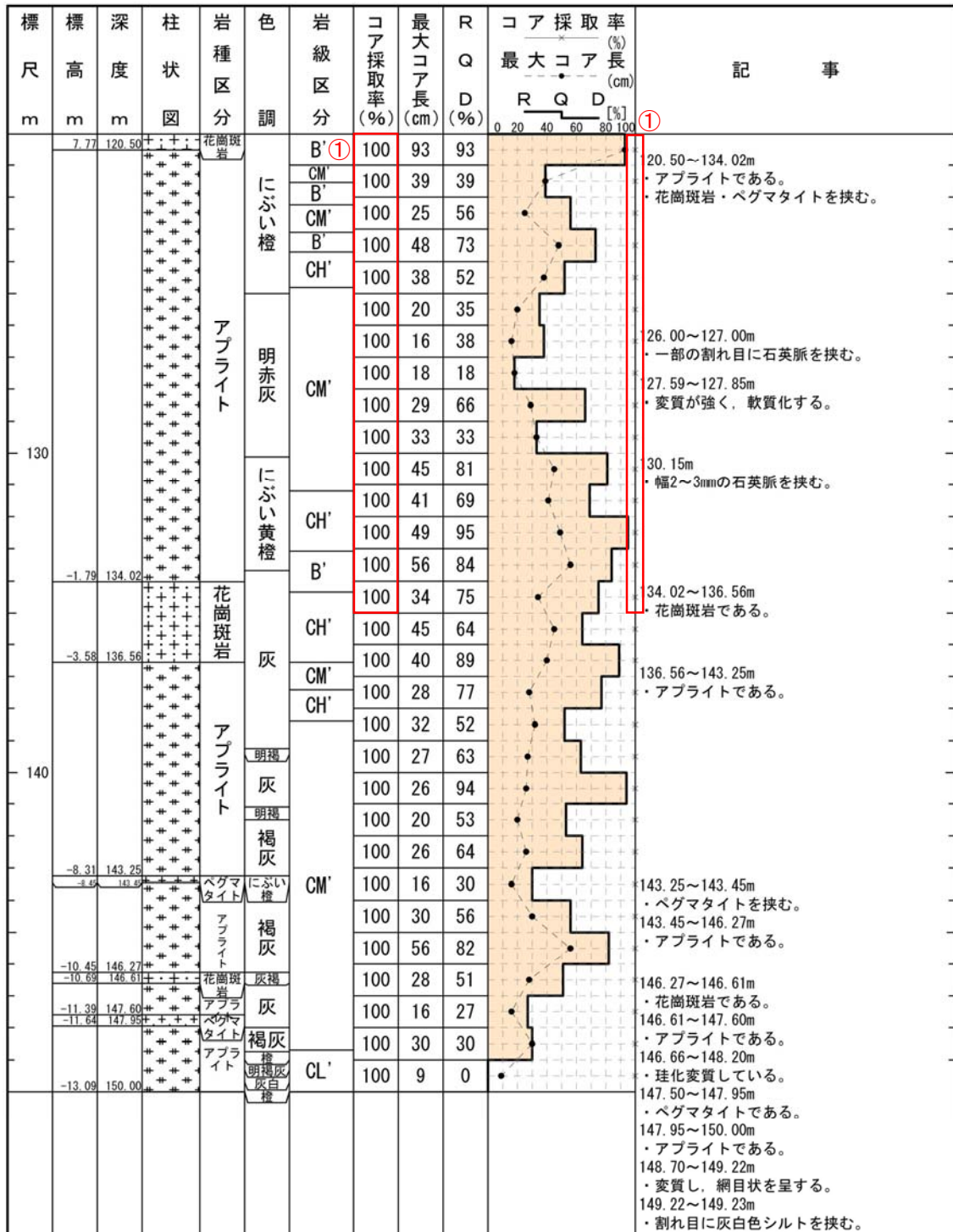


1-307(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	孔内水位(m)/測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)					
															0	10	20	30	40											50				
		100		花崗斑岩	灰黄褐	IVg	og			γ	深度99.00~99.85m: 斑晶少ない。 深度99.40~100.35m: 傾斜56~71度の節理発達し、褐色・灰白色シルトを挟む。	123 [140]	OM		2/15	83																		
				花崗斑岩	にぶい黄橙	IVg				γ	深度101.55~102.60m: 斑晶少ない。	131 [148]	[CM]		2/16	31																		
				花崗斑岩	灰黄褐	Bg	Ig			2	深度106~120m: 傾斜70程度の密着した節理に微小な黄鉄鉱付着。	142 [142]	B'	[B]	2/19	101																		
		110		花崗斑岩	明褐	IVg				β	深度106~120m: 傾斜70程度の密着した節理に微小な黄鉄鉱付着。	155 [140]	B'	[B]	2/20	82																		
				花崗斑岩	青灰	Bg	Ig			β	深度111.70~120.50m: 斑晶が少なくなり (1~3%程度)、石基は径0.2~0.5mm程度で黒雲母を多く含む。	168 [148]	OM		2/20	81																		
				花崗斑岩	アフライト	Bg	Ig			1	アフライト、上位、下位との境界傾斜20~30度。	171 [148]	B'	[B]	2/21	82																		
				花崗斑岩	にぶい橙	Bg	Ig			γ	アフライト、上位との境界漸移的。深度120.50~150.00m: アフライト。石基は径0.1~0.2mm程度で、黒雲母多く、流理が認められる。厚さ20~35cmのアフライトを挟む。深度121.10~121.55m: 斑晶多い。	188 [148]	OM		2/21	81																		
				花崗斑岩	アフライト	Bg	Ig			2	アフライト、上位との境界漸移的。深度120.50~150.00m: アフライト。石基は径0.1~0.2mm程度で、黒雲母多く、流理が認められる。厚さ20~35cmのアフライトを挟む。深度121.10~121.55m: 斑晶多い。	193 [148]	B'	[B]	2/22	97																		
				花崗斑岩	明赤灰	IVg				γ	深度124.50~124.60m: 斑晶多い。 深度125.60~126.10m: 斑晶多い。	207 [148]	OM		2/23	116																		
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	Ig			α	深度126.00~127.00m: 傾斜70度の一部の節理に幅1mmの石英脈を伴う。 深度127.59~127.85m: 変質強く軟質化。 深度128.30~129.00m: 斑晶多い。	216 [148]	OM	[CM]	2/23	97																		
				花崗斑岩	灰	Bg	Ig			α	深度130.15m: 幅2~3mmの石英脈あり。	233 [148]	CH	[CH]	2/23	97																		
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	Ig			α	花崗斑岩、上位との境界傾斜40度。花崗斑岩はカリ長石の割合多い。節理に黄鉄鉱を挟む。	244 [148]	CH	[CH]	2/23	97																		

# H19—No. 15

## 柱状図(120.00m～150.00m)



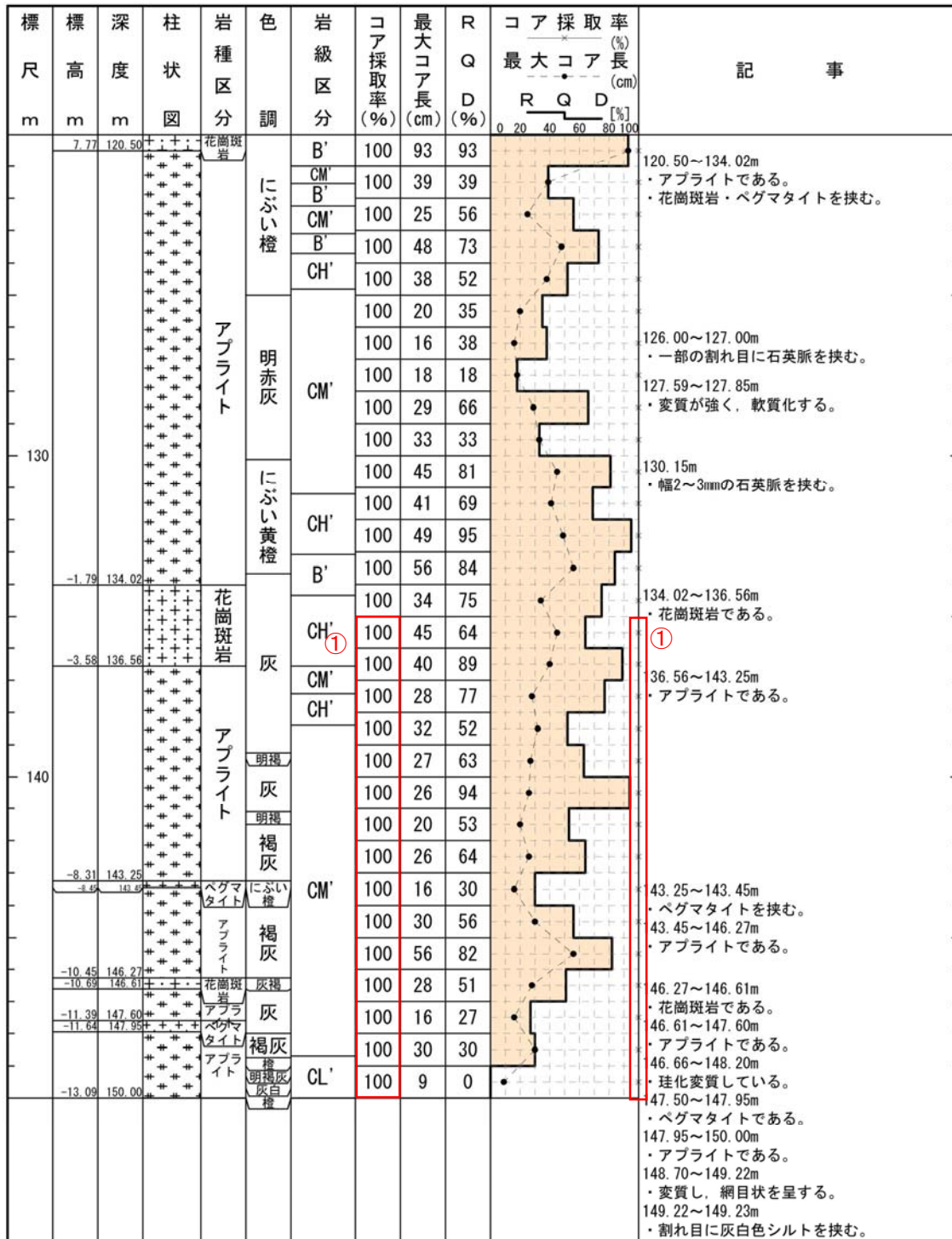
1-307(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。



標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コーア形状	割れ目の状態	風変質	記事	コア採取率 ( % )		最大コア長	岩盤区分		孔内水位(測定日)	N値	( 標準貫入試験 ) 試験						原位置試験(孔内水平載荷)	室内試験日	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径(mm) / 孔壁保護	コアカチューブ/ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																											
											← ( % )	→ ( % )		R	Q			D	←	→	←	→	←												→																										
140	-3.58	136.56	[花崗斑岩]	花崗斑岩	灰	Bg	II g	α		アブライト、上位との境界漸移的。	←	→	45	CH			97							2/24	37.30																																				
140	-8.31	143.25	[アブライト]	アブライト	明褐 褐灰	Bg	II g	α	2	深度139.03~139.42m：弱く変質し、褐色を帯びる。節理に沿って褐色シルトを挟む。	←	→	42	CM			103						2/26	43.30			ダブルコアカチューブ/ダイヤピット	25.0	150	0.0	泥水1																														
	-8.45	143.45				←	→				42	CM																																																	
140	-10.45	146.27	[アブライト]	アブライト	褐灰	Bg	II g	β	γ	深度143.25~143.45m：カリ長石の巨晶を主とするペグマタイトを挟む。	←	→	36	CM			116					2/26	43.30																																						
140	-11.39	147.60	[アブライト]	アブライト	褐灰	Bg	II g	γ	3	深度146.66~148.20m：珪化変質し、灰色石英化している。	←	→	30	CM			50					2/27	50.00																																						
140	-11.64	147.95	[アブライト]	アブライト	褐灰	Bg	II g	γ	2	深度148.10~148.20m：黄鉄鉱濃集。	←	→	30	CM			50					2/27	50.00																																						
140	-13.09	150.00	[アブライト]	アブライト	明褐 灰白	Bg	IV g	α	2	深度148.70~149.22m：変質帯。網目状に変質。褐・灰白色シルトを挟み、全体に軟質。 深度149.22~149.23m：シーム。上盤53度、下盤57度。幅8mm。灰白色シルト状。	←	→	30	CM			50					2/27	50.00																																						

# H19—No. 15

## 柱状図(120.00m～150.00m)



1-307(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNo. [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]

ボーリング名	④-3												調査位置							北緯								
発注機関													調査期間							東経								
調査業者名													主任技師				現代理人				コ定者				ボーリング責任者			
孔口標高	+ 112.50 m	角	180° 上			方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°			地盤勾配			使用機種	試験機				ハンマー 落下用具										
総掘削長	115.00 m	度	0°			向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°			地盤勾配			使用機種	エンジン				ハンマー 落下用具	ポンプ									

標尺	高さ	深度	柱状図	岩種	色	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風質	変質	備考	コア採取率 (%)	最大コア長 cm	R	Q	D	区分	岩級	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	コアチューブ (mm) / 孔壁保護	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)							
110.33	2.17		シルト混じり砂	灰黄褐							0.00~0.05m: 植物根を含む腐植土。 0.05~2.17m: シルト混じり細粒~中粒砂。	0									0																					
108.96	3.54		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				2.17~21.00m: アブライト主体。径1~5mm程度の石英、長石の斑晶を2~5%程度含む。所々、斑晶の含有量が10~20%程度の花崗斑岩を挟む。	21.7					D'			2.17								111														
108.56	3.94		アブライト	黄橙	Cg	IIIg	bg				2.17~5.00m: コアは軟質で、ハンマーで著しい濁音を発する。間に硬質部を残す。	4.5					CM'																									
108.15	4.35		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				2.17~5.11m: 傾斜20°及び45°程度の節理がみられる。節理に沿って灰白色粘土を伴うことが多い。	12					D'																									
107.90	4.60		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				3.54~3.94: ベグマタイト。	12					D'																									
107.00	5.50		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				径5~50mm程度の石英、長石からなるアブライトとの境界は25°程度。	18					CL'																									
106.65	5.85		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				4.05m: 節理に沿って幅5~8mm程度でマンガンが濃集する。	18					CL'																									
104.68	7.82		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				5.00~19.39m: コアはやや硬質で、ハンマーでふい金属音を発することが多い。花崗斑岩分布域では、変質が進み、軟質となっている。	18					CM'																									
104.42	8.08		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				5.11~11.76m: 傾斜40°、60°及び80°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンや灰白色粘土、流入粘土を伴うことが多い。	10					CL'																									
103.92	8.58		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				7.43~7.71m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	11					CM'																									
103.69	8.81		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				7.82~8.08m: 変質帯。上盤5°、下盤5°、幅25cm程度。軟質化している。花崗斑岩の分布と一致する。	17					CL'																									
102.90	9.60		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				8.58~8.81m: 変質帯。上盤10°、下盤5°、幅23cm程度。軟質化している。花崗斑岩の分布と一致する。	17					CL'																									
102.80	9.70		アブライト	明褐灰	Eg	VIg	dg				9.46~9.70m: 変質帯。上盤77°、下盤50°。幅5cm程度。軟質化している。上盤と下盤の傾斜方向が異なる。9.46~10.00m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	15					CM'																									
99.11	13.39		花崗斑岩	浅黄橙	Bg	IIIg	bg				10.00~10.15m: 変質帯。上盤不明、下盤70°。幅5cm程度。軟質化している。	13					CH'																									
98.68	13.82		花崗斑岩	浅黄橙	Bg	IIIg	bg				11.76~14.96m: 傾斜50°及び70°程度の節理がみられる。節理に沿って灰白色粘土を伴うことが多い。	19					CM'																									
			アブライト	明褐灰	Dg	IVg	cg				13.39~13.82m: 変質帯。上盤70°、下盤70°。幅15cm程度。軟質化している。上部は褐色化が顕著。	21					CL'																									
			アブライト	灰白	Cg	IVg	bg				14.96~25.81m: 傾斜20°及び75°程度の節理がみられる。節理に沿って一部褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	21					CL'																									
			アブライト	浅黄	Bg	IIg	bg				17.85m: 幅1~2cm程度で径1~5mm程度の長石の斑晶が脈状に密集する。傾斜65°程度。	20					CH'																									
			アブライト	明褐灰	Cg	IVg	bg				19.39~26.00m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。コアはオリブ黄色を呈する。	20					CH'																									
			アブライト	明褐灰	Dg	IVg	cg				21.00~55.18m: 花崗斑岩主体。径1~20mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~20%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。上位のアブライトとの境界は漸移的である。	22					CL'																									
			花崗斑岩	オリブ黄	Bg	IIIg	bg				22.09m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	22					CM'																									
			花崗斑岩	オリブ黄	Dg	IVg	cg				25.81~25.85m: 破砕帯(Hc)。上盤58°下盤70°。幅2.1cm程度。淡褐色。灰白色粘土からなる。	25					CL'																									

# H20-④-3

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-3

①	孔口標高	T.P. 112.47m	掘削長	115.00m
---	------	--------------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
10	110.30	2.17	シルト 混じり 砂	灰 黄 褐	④	D'	100	0	0	0	0	0	0.00~0.05m 植物根を含む。
	108.93	3.54	アブラ イト	明 褐 灰	D'	100	25	25					0.00~2.17m シルト混じり細粒~中粒砂である。
	108.53	3.94	ベグマ タイト	黄 橙	CM'	100	22	32					2.17~21.00m アブライト主体である。
	108.12	4.35	アブラ イト	明 褐 灰	D'	100	18	18					花崗斑岩を挟む
	107.71	4.76	アブラ イト	明 褐 灰	D'	100	18	18					風化部である。
	106.97	5.50	花崗 斑岩	明 褐 灰	CL'	100	35	85					3.54~3.94m ベグマタイトである。
	106.67	5.89	アブラ イト	明 褐 灰	CM'	100	18	33					4.35~4.60m, 5.50~5.85m, 7.82~8.08m, 8.58~8.81m, 9.60~9.70m, 13.39~13.82m 花崗斑岩である。
	104.65	7.82	アブラ イト	明 褐 灰	CL'	100	9	0					7.82~8.08m 変質している。
	103.89	8.58	花崗 斑岩	明 褐 灰	CM'	100	11	31					8.81~8.81m 軟質化している。
	102.87	9.60	アブラ イト	明 褐 灰	CL'	100	17	55					8.81~8.81m 変質している。
20	99.08	13.39	花崗 斑岩	明 褐 灰	CL'	100	15	49					9.46~10.15m 変質している。
	98.65	13.82	花崗 斑岩	明 褐 灰	CL'	100	37	47					軟質化している。
	91.47	21.00	アブラ イト	明 褐 灰	CH'	100	19	29					● 13.41~13.45m(f-15-3破砕帯) 破砕部である。
			花崗 斑岩	明 褐 灰	CL'	100	7	0					● 13.41~13.45m(f-15-3破砕帯) 破砕部である。
			アブラ イト	明 褐 灰	CL'	100	17	27					浅黄橙色の固結礫状部からなる。 走向・傾斜はN5° E76° Wである。
			アブラ イト	明 褐 灰	CM'	100	12	23					17.85m 幅1~2cmで長石の斑晶が脈状に密集する。
			アブラ イト	明 褐 灰	CH'	100	30	83					
			アブラ イト	明 褐 灰	CH'	100	17	41					
			アブラ イト	明 褐 灰	CH'	100	20	30					
			アブラ イト	明 褐 灰	CL'	100	8	0					21.00~55.18m 花崗斑岩主体である。 上位のアブライトとの境界は漸時的である
30			アブラ イト	明 褐 灰	CH'	100	30	40					● 25.81~25.85m(f-④-3-1破砕帯) 破砕部である。
			アブラ イト	明 褐 灰	CL'	100	12	22					・右ずれ正断層センスである。
			アブラ イト	明 褐 灰	CM'	100	14	40					・淡桃色の未固結粘土状部からなる。この累 計幅は2.1cmである。
			アブラ イト	明 褐 灰	CL'	100	10	10					・走向・傾斜はN23° E64° Wである。
			アブラ イト	明 褐 灰	CH'	100	34	74					・上端境界の傾斜は58°、下端境界の傾斜は 70°である。
			アブラ イト	明 褐 灰	CH'	100	26	64					25.81~40.11m ・割れ目沿いにマンガンや流入粘土を伴うこ とが多い。

- 1-310(分類b)①  
誤記の修正。
- 1-311(分類b)②  
孔口標高を正しい値にしたため。
- 1-312(分類d)③  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-313(分類b)④  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分		孔内水位(測定月日) ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	室内試験	給送水量 (l/分)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																																																										
													岩級	盤分		N 値	10	20	30	40									50																																																																																																																																																																																																																																																																									
30	78.95	33.55	[+]	花崗斑岩	暗オリーブ	Bg	IV g	bg				25.81~40.11m:傾斜75°程度の節理が発達している。節理に沿ってマンガンや流入粘土を伴うことが多い。26.00~115.00m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	0 50 100	CM'	29.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																						
																																	78.50	34.00	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				29.22~29.78m:節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	29.00	CH'	29.88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																								
																																																															73.50	39.00	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				33.55~34.00m:斑晶の含有量が3~5%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	33.55	CM'	33.55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																										
																																																																																													73.02	39.48	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				35.68~35.90m:コアの表面にマンガンが斑点状に沈着する。36.26~74.97m:節理が少なく、コアは長柱状を呈する。	35.68	CH'	35.68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																												
																																																																																																																											73.50	39.00	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				38.05m:節理に沿ってマンガンが濃集する。	38.05	B'	38.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																														
																																																																																																																																																									73.02	39.48	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				38.00~39.48m:斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。39.10m:節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。40.11~41.76m:傾斜85°程度の節理が発達している。	38.00	CH'	38.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																															
																																																																																																																																																																																								73.50	39.00	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				41.76~54.22m:傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	41.76	CH'	41.76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																
																																																																																																																																																																																																																							73.02	39.48	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				47.25m:節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。47.57~47.59m:幅1~4mm程度で径2mm程度のカリ長石が脈状に2条密集している。傾斜10°程度。	47.25	CH'	47.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																
																																																																																																																																																																																																																																																							73.50	39.00	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				50.08~50.20m:不明瞭な流理がみられる。傾斜10~20°程度。50.32~54.20m:斑晶の含有量が35~40%程度で周辺に比べて多い。	50.08	B'	50.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
																																																																																																																																																																																																																																																																																						73.02	39.48	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				52.80~57.12m:コアの表面が褐色化している。	52.80	B'	52.80	0	0
73.50	39.00	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				54.22~61.00m:傾斜20°及び70°程度節理がみられる。	54.22	CH'	54.22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																								
																															73.02	39.48	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				55.18~58.89m:アプライト主体。径1~5mm程度の石英、長石の斑晶を3~5%程度含む。所々、斑晶の含有量が10~20%程度の花崗斑岩を挟む。55.70m:節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	55.18	CH'	55.18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																								
																																																															73.50	39.00	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				56.08~58.90m:所々、流理がみられる。傾斜10~20°程度の低角度と傾斜70°程度の高角度とがある。	56.08	B'	56.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																										
																																																																																													73.02	39.48	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				58.89~115.00m:花崗斑岩主体。径1~15mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~30%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。59.95~60.10m:ベクマタイト、径5~60mm程度の石英、長石からなる。61.00~74.38m:傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。61.06~75.16m:青灰色を呈し、概ね新鮮である。	58.89	CH'	58.89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																												
																																																																																																																											73.50	39.00	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				59.95~60.10m:ベクマタイト、径5~60mm程度の石英、長石からなる。61.00~74.38m:傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。61.06~75.16m:青灰色を呈し、概ね新鮮である。	59.95	CH'	59.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																														
																																																																																																																																																									73.02	39.48	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				59.95~60.10m:ベクマタイト、径5~60mm程度の石英、長石からなる。61.00~74.38m:傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。61.06~75.16m:青灰色を呈し、概ね新鮮である。	59.95	CH'	59.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																															
																																																																																																																																																																																								73.50	39.00	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				59.95~60.10m:ベクマタイト、径5~60mm程度の石英、長石からなる。61.00~74.38m:傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。61.06~75.16m:青灰色を呈し、概ね新鮮である。	59.95	CH'	59.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																
																																																																																																																																																																																																																							73.02	39.48	[+]	花崗斑岩	アプライト	Bg	IV g	cg				59.95~60.10m:ベクマタイト、径5~60mm程度の石英、長石からなる。61.00~74.38m:傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。61.06~75.16m:青灰色を呈し、概ね新鮮である。	59.95	CH'	59.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																

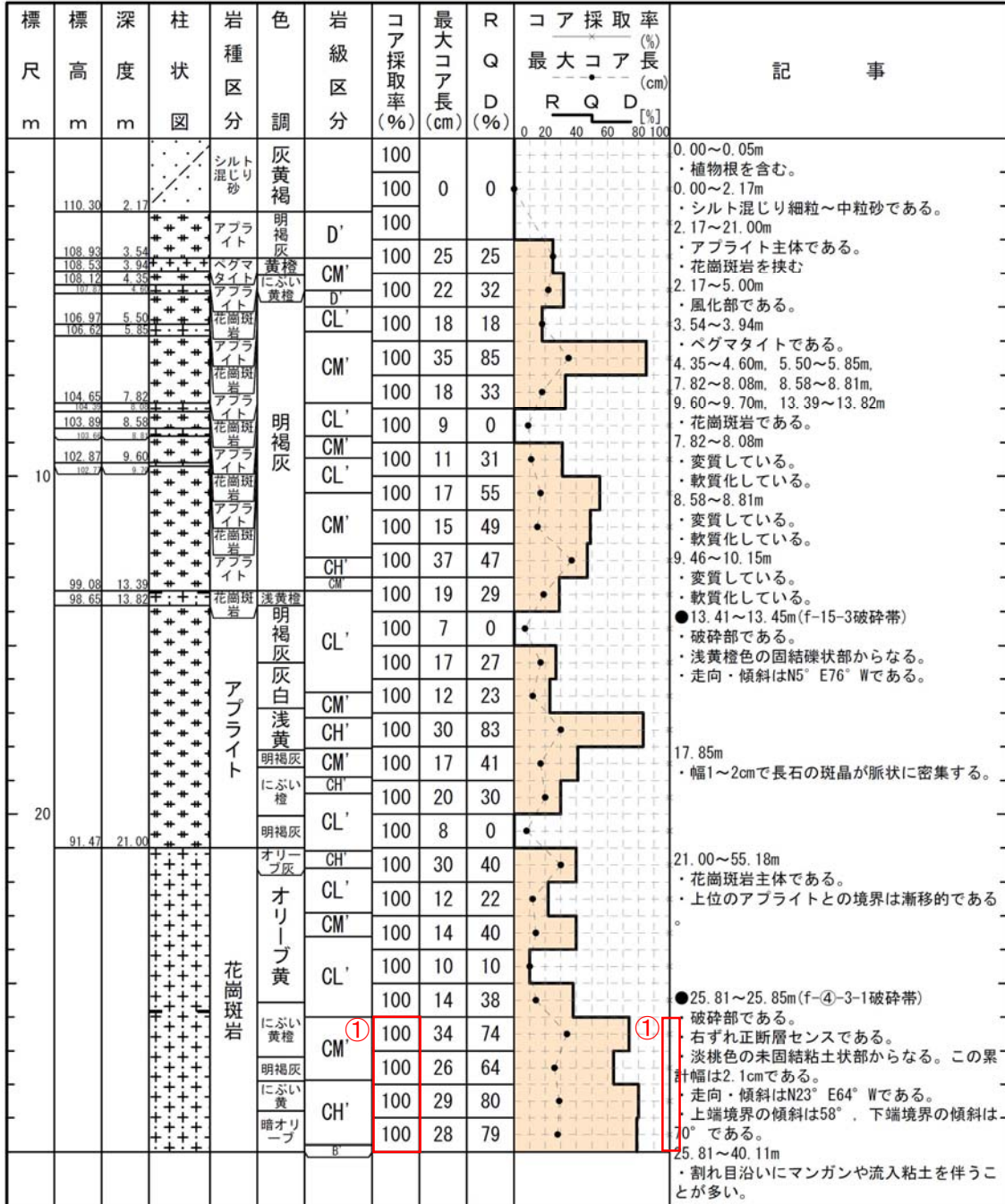


# H20-④-3

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-3

孔口標高	T.P. 112.47m	掘削長	115.00m
------	--------------	-----	---------



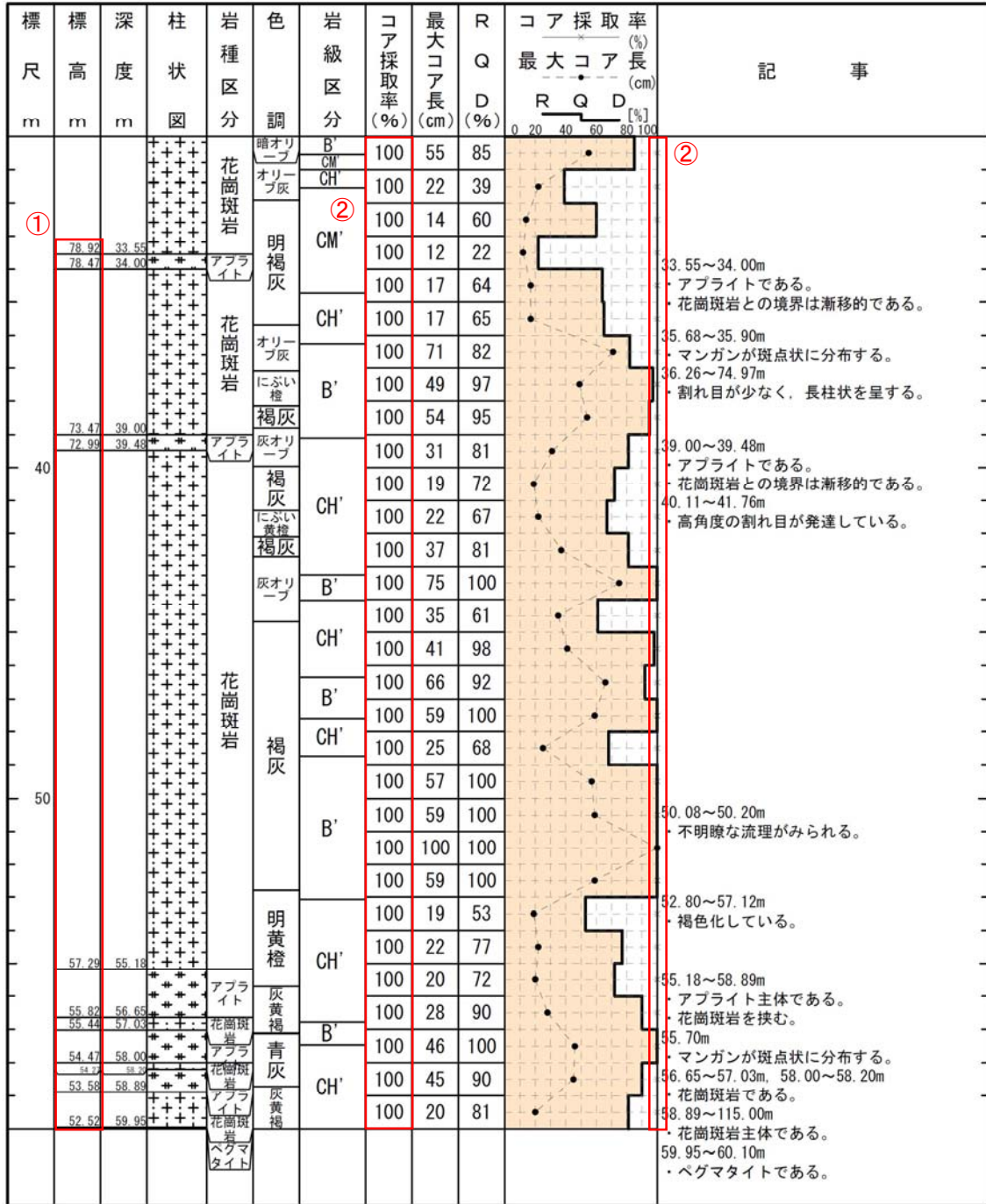
1-313(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風割れ目	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分		孔内水位(測定日)	(標準貫入試験)試験					原位置試験 孔内水平載荷	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	給圧 (kN/MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
												岩級	盤分		(N 値 ~ 深度)	0	10	20	30										40	50	
30	78.95	33.55	[+]	花崗斑岩	暗オリーブオリーブ灰	Bg	IV g	bg	γ	25.81~40.11m:傾斜75°程度の節理が発達している。節理に沿ってマンガンや流入粘土を伴うことが多い。26.00~115.00m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	0	50	100	29.02	0	10	20	30	40	50	4/1	31.75	103	85	10.0	300	0.0	400	0	0	
																															29.22~29.78m:節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。
																															33.55~34.00m:斑晶の含有量が3~5%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。
																															35.68~35.90m:コアの表面にマンガンが斑点状に沈着する。
																															36.26~74.97m:節理が少なく、コアは長柱状を呈する。
																															38.05m:節理に沿ってマンガンが濃集する。
																															38.00~39.48m:斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。
																															39.10m:節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。
																															40.11~41.76m:傾斜85°程度の節理が発達している。
																															41.76~54.22m:傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。
40	73.50	39.00	[+]	花崗斑岩	灰オリーブ	Bg	IV g	bg	β	33.55~34.00m:斑晶の含有量が3~5%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	0	50	100	29.02	0	10	20	30	40	50	4/2	35.82	116	85	10.0	300	0.0	400	0	0	
																															35.68~35.90m:コアの表面にマンガンが斑点状に沈着する。
																															36.26~74.97m:節理が少なく、コアは長柱状を呈する。
																															38.05m:節理に沿ってマンガンが濃集する。
																															38.00~39.48m:斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。
																															39.10m:節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。
																															40.11~41.76m:傾斜85°程度の節理が発達している。
																															41.76~54.22m:傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。
																															47.25m:節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。
																															47.57~47.59m:幅1~4mm程度で径2mm程度の力り長石が脈状に2条密集している。傾斜10°程度。
50	57.32	55.18	[+]	花崗斑岩	灰オリーブ	Bg	IV g	bg	β	50.08~50.20m:不明瞭な流理がみられる。傾斜10~20°程度。	0	50	100	29.02	0	10	20	30	40	50	4/3	40.40	131	85	50.0	0.0	400	0	0		
																														50.32~54.20m:斑晶の含有量が35~40%程度で周辺に比べて多い。	
																														52.80~57.12m:コアの表面が褐色化している。	
																														54.22~61.00m:傾斜20°及び70°程度節理がみられる。	
																														55.18~58.89m:アプライト主体。径1~5mm程度の石英、長石の斑晶を3~5%程度含む。所々、斑晶の含有量が10~20%程度の花崗斑岩を挟む。	
																														55.70m:節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	
																														56.08~58.90m:所々、流理がみられる。傾斜10~20°程度の低角度と傾斜70°程度の高角度とがある。	
																														58.89~115.00m:花崗斑岩主体。径1~15mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~30%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。	
																														59.95~60.10m:ベグマタイト、径5~60mm程度の石英、長石からなる。	
																														61.00~74.38m:傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	
60	52.55	59.95	[+]	花崗斑岩	灰黄褐	Bg	IV g	cg	γ	50.08~50.20m:不明瞭な流理がみられる。傾斜10~20°程度。	0	50	100	29.02	0	10	20	30	40	50	4/4	45.79	106	85	400	0.0	450	0	0		
																														50.32~54.20m:斑晶の含有量が35~40%程度で周辺に比べて多い。	
																														52.80~57.12m:コアの表面が褐色化している。	
																														54.22~61.00m:傾斜20°及び70°程度節理がみられる。	
																														55.18~58.89m:アプライト主体。径1~5mm程度の石英、長石の斑晶を3~5%程度含む。所々、斑晶の含有量が10~20%程度の花崗斑岩を挟む。	
																														55.70m:節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	
																														56.08~58.90m:所々、流理がみられる。傾斜10~20°程度の低角度と傾斜70°程度の高角度とがある。	
																														58.89~115.00m:花崗斑岩主体。径1~15mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~30%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。	
																														59.95~60.10m:ベグマタイト、径5~60mm程度の石英、長石からなる。	
																														61.00~74.38m:傾斜15°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。	

# H20-④-3

## 柱状図(30.00m~60.00m)

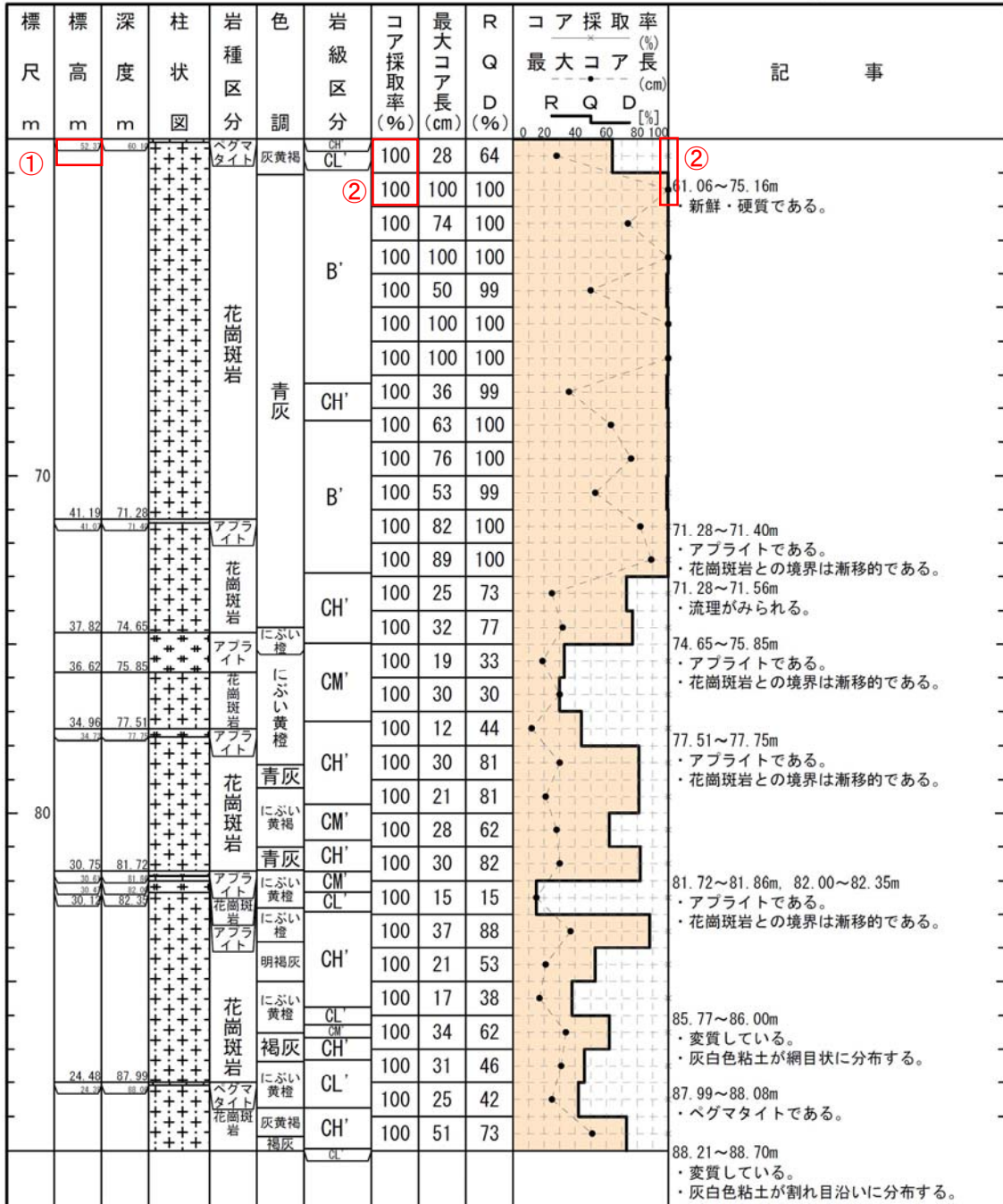


1-311(分類b)①  
 孔口標高を正しい値にしたため。  
 1-313(分類b)②  
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	風割れ目	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [ % ]	岩盤区分		孔内水位 (N) 値	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	室内試験	給送水量 (l/分)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	排水量 (l/分)								
												岩級	盤分		N 値	10	20	30	40									50							
30	78.95	33.55	[+]	花崗斑岩	暗オリーブオリーブ灰	Bg	IV g	bg		25.81~40.11m: 傾斜75°程度の節理が発達している。節理に沿ってマンガンや流入粘土を伴うことが多い。26.00~115.00m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	0	50	100	29.02	0	10	20	30	40	50	103	4/1	31.75	10.0	300	0.0	0	泥水4							
																													IV g	cg	29.22~29.78m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	29.22	29.78	30.55	31.85
																													IV g	cg	33.55~34.00m: 斑晶の含有量が3~5%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	33.55	34.00	34.72	34.72
																													IV g	cg	35.68~35.90m: コアの表面にマンガンが斑点状に沈着する。	35.68	35.90	36.26	36.26
																													IV g	cg	36.26~74.97m: 節理が少なく、コアは長柱状を呈する。	36.26	74.97	38.05	38.05
																													IV g	cg	38.05m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	38.05	39.00	39.00	39.16
																													IV g	cg	39.00~39.48m: 斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	39.00	39.48	40.11	40.11
																													IV g	cg	39.48~41.76m: 傾斜85°程度の節理が発達している。	39.48	41.76	41.76	41.76
																													IV g	cg	41.76~54.22m: 傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	41.76	54.22	44.25	44.25
																													40	73.50	39.00	[+]	花崗斑岩	灰オリーブ	Bg
IV g	cg	38.05m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	38.05	39.00	39.00	39.16																													
IV g	cg	39.00~39.48m: 斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	39.00	39.48	40.11	40.11																													
IV g	cg	39.48~41.76m: 傾斜85°程度の節理が発達している。	39.48	41.76	41.76	41.76																													
IV g	cg	41.76~54.22m: 傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	41.76	54.22	44.25	44.25																													
IV g	cg	44.25~47.25m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	44.25	47.25	47.25	47.25																													
IV g	cg	47.25~47.59m: 幅1~4mm程度で径2mm程度の力り長石が脈状に2条密集している。傾斜10°程度。	47.25	47.59	47.59	47.59																													
IV g	cg	50.08~50.20m: 不明瞭な流理がみられる。傾斜10~20°程度。	50.08	50.20	50.20	50.20																													
IV g	cg	50.32~54.20m: 斑晶の含有量が35~40%程度で周辺に比べて多い。	50.32	54.20	52.80	52.80																													
IV g	cg	52.80~57.12m: コアの表面が褐色化している。	52.80	57.12	57.12	57.12																													
50	57.32	55.18	[+]	花崗斑岩	灰オリーブ	Bg	IV g	bg	2	35.68~35.90m: コアの表面にマンガンが斑点状に沈着する。36.26~74.97m: 節理が少なく、コアは長柱状を呈する。	0	50	100	29.02	0	10	20	30	40	50	75	4/3	40.40	60.0	0.0	0	泥水6								
																												IV g	cg	38.05m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	38.05	39.00	39.00	39.16	
																												IV g	cg	39.00~39.48m: 斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	39.00	39.48	40.11	40.11	
																												IV g	cg	39.48~41.76m: 傾斜85°程度の節理が発達している。	39.48	41.76	41.76	41.76	
																												IV g	cg	41.76~54.22m: 傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	41.76	54.22	44.25	44.25	
																												IV g	cg	44.25~47.25m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	44.25	47.25	47.25	47.25	
																												IV g	cg	47.25~47.59m: 幅1~4mm程度で径2mm程度の力り長石が脈状に2条密集している。傾斜10°程度。	47.25	47.59	47.59	47.59	
																												IV g	cg	50.08~50.20m: 不明瞭な流理がみられる。傾斜10~20°程度。	50.08	50.20	50.20	50.20	
																												IV g	cg	50.32~54.20m: 斑晶の含有量が35~40%程度で周辺に比べて多い。	50.32	54.20	52.80	52.80	
																												IV g	cg	52.80~57.12m: コアの表面が褐色化している。	52.80	57.12	57.12	57.12	
60	52.55	59.95	[+]	花崗斑岩	灰オリーブ	Bg	IV g	bg	2	35.68~35.90m: コアの表面にマンガンが斑点状に沈着する。36.26~74.97m: 節理が少なく、コアは長柱状を呈する。	0	50	100	29.02	0	10	20	30	40	50	92	4/4	45.79	80.0	0.0	0	泥水5								
																												IV g	cg	38.05m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	38.05	39.00	39.00	39.16	
																												IV g	cg	39.00~39.48m: 斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	39.00	39.48	40.11	40.11	
																												IV g	cg	39.48~41.76m: 傾斜85°程度の節理が発達している。	39.48	41.76	41.76	41.76	
																												IV g	cg	41.76~54.22m: 傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	41.76	54.22	44.25	44.25	
																												IV g	cg	44.25~47.25m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	44.25	47.25	47.25	47.25	
																												IV g	cg	47.25~47.59m: 幅1~4mm程度で径2mm程度の力り長石が脈状に2条密集している。傾斜10°程度。	47.25	47.59	47.59	47.59	
																												IV g	cg	50.08~50.20m: 不明瞭な流理がみられる。傾斜10~20°程度。	50.08	50.20	50.20	50.20	
																												IV g	cg	50.32~54.20m: 斑晶の含有量が35~40%程度で周辺に比べて多い。	50.32	54.20	52.80	52.80	
																												IV g	cg	52.80~57.12m: コアの表面が褐色化している。	52.80	57.12	57.12	57.12	
60	52.40	60.10	[+]	花崗斑岩	灰オリーブ	Bg	IV g	bg	2	35.68~35.90m: コアの表面にマンガンが斑点状に沈着する。36.26~74.97m: 節理が少なく、コアは長柱状を呈する。	0	50	100	29.02	0	10	20	30	40	50	105	4/5	52.70	10.0	300	0.0	0	泥水5							
																													IV g	cg	38.05m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	38.05	39.00	39.00	39.16
																													IV g	cg	39.00~39.48m: 斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	39.00	39.48	40.11	40.11
																													IV g	cg	39.48~41.76m: 傾斜85°程度の節理が発達している。	39.48	41.76	41.76	41.76
																													IV g	cg	41.76~54.22m: 傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	41.76	54.22	44.25	44.25
																													IV g	cg	44.25~47.25m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	44.25	47.25	47.25	47.25
																													IV g	cg	47.25~47.59m: 幅1~4mm程度で径2mm程度の力り長石が脈状に2条密集している。傾斜10°程度。	47.25	47.59	47.59	47.59
																													IV g	cg	50.08~50.20m: 不明瞭な流理がみられる。傾斜10~20°程度。	50.08	50.20	50.20	50.20
																													IV g	cg	50.32~54.20m: 斑晶の含有量が35~40%程度で周辺に比べて多い。	50.32	54.20	52.80	52.80
																													IV g	cg	52.80~57.12m: コアの表面が褐色化している。	52.80	57.12	57.12	57.12
60	52.40	60.10	[+]	花崗斑岩	灰オリーブ	Bg	IV g	bg	2	35.68~35.90m: コアの表面にマンガンが斑点状に沈着する。36.26~74.97m: 節理が少なく、コアは長柱状を呈する。	0	50	100	29.02	0	10	20	30	40	50	92	4/7	59.82	450	0.0	0	泥水5								
																												IV g	cg	38.05m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。	38.05	39.00	39.00	39.16	
																												IV g	cg	39.00~39.48m: 斑晶の含有量が2%程度のアプライトを挟む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	39.00	39.48	40.11	40.11	
																												IV g	cg	39.48~41.76m: 傾斜85°程度の節理が発達している。	39.48	41.76	41.76	41.76	
																												IV g	cg	41.76~54.22m: 傾斜70°程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンを伴うことが多い。	41.76	54.22	44.25	44.25	
																												IV g	cg	44.25~47.25m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	44.25	47.25	47.25	47.25	
																												IV g	cg	47.25~47.59m: 幅1~4mm程度で径2mm程度の力り長石が脈状に2条密集している。傾斜10°程度。	47.25	47.59	47.59	47.59	
																												IV g	cg	50.08~50.20m: 不明瞭な流理がみられる。傾斜10~20°程度。	50.08	50.20	50.20	50.20	
																												IV g	cg	50.32~54.20m: 斑晶の含有量が35~40%程度で周辺に比べて多い。	50.32	54.20	52.80	52.80	
																												IV g	cg	52.80~57.12m: コアの表面が褐色化している。	52.80	57.12	57.12	57.12	

# H20-④-3

## 柱状図(60.00m~90.00m)



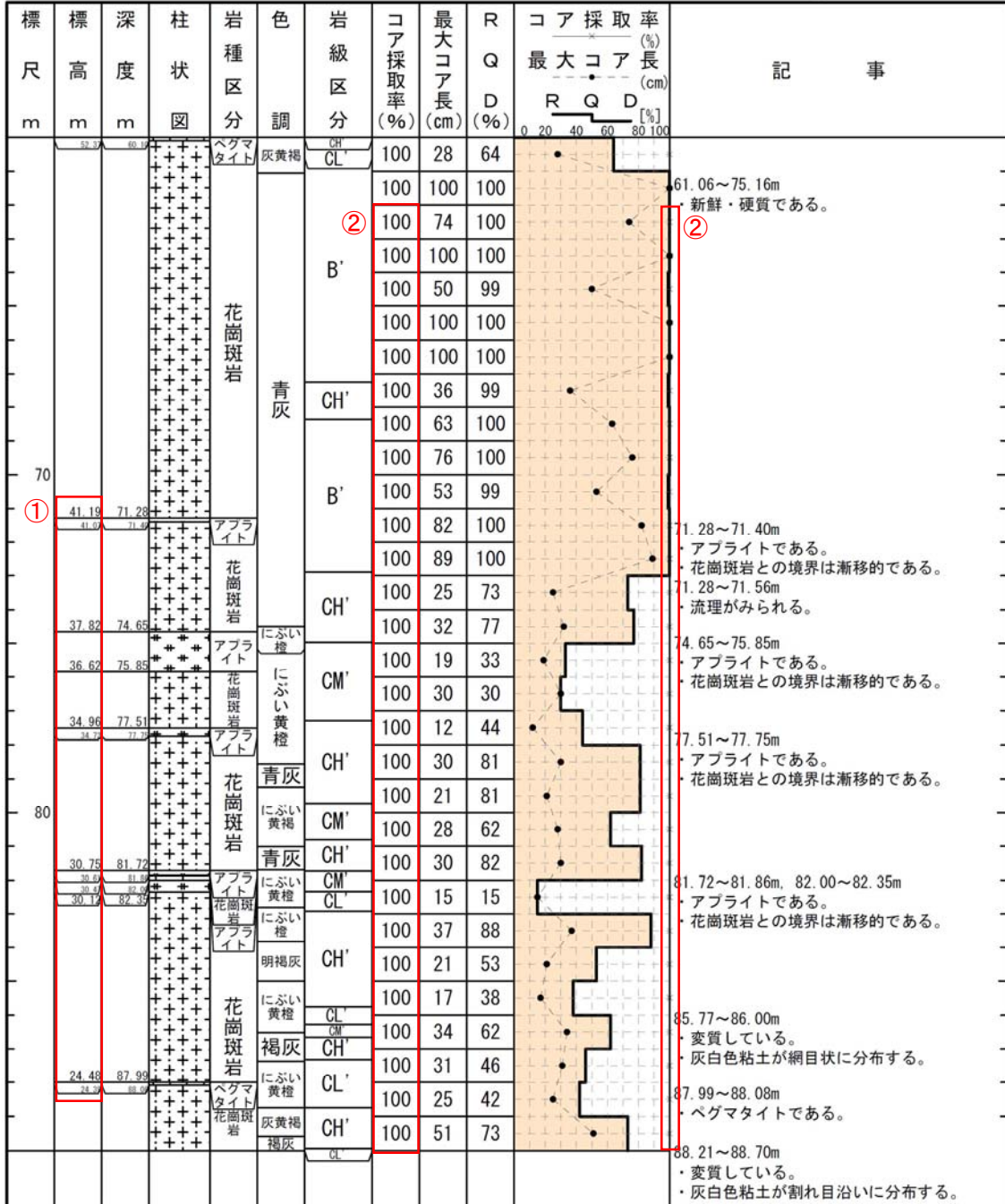
1-311(分類b)①  
 ① 孔口標高を正しい値にしたため。  
 1-313(分類b)②  
 ② 報告書の記載漏れを修正したため。





# H20-④-3

## 柱状図(60.00m~90.00m)



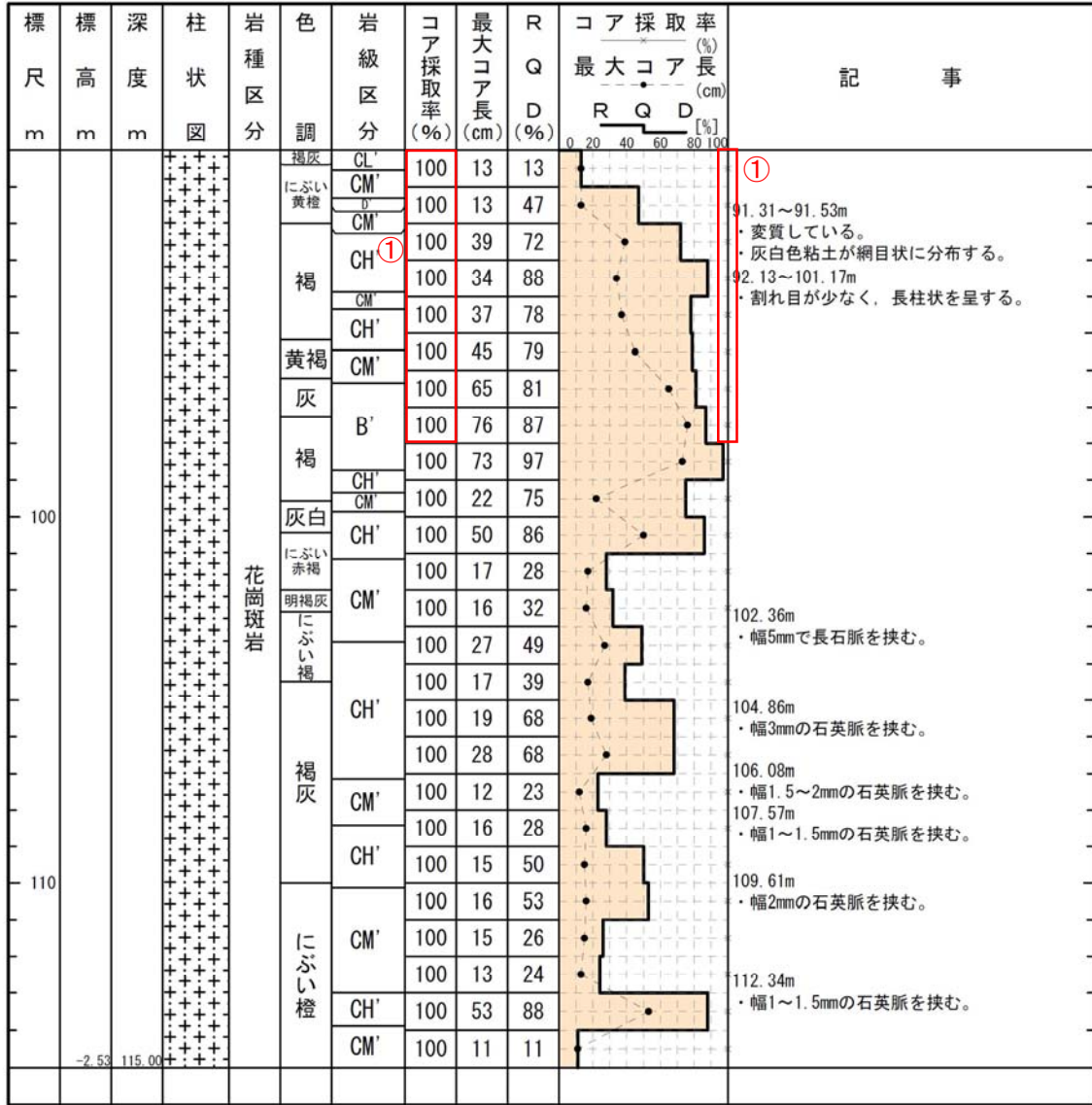
- 1-311(分類b)①  
 ① 孔口標高を正しい値にしたため。  
 1-313(分類b)②  
 ② 報告書の記載漏れを修正したため。



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 R Q D [ % ]		岩盤区分		孔内水位 (m) / 測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	室内試験	掘進	給送	排水																																										
												0	50	100	62.02		0	10	20	30	40								50																																									
70	41.22 41.10	71.28 71.40	花崗斑岩	花崗斑岩	青灰			I g	β				0	50	100	62.02																																																						
																														II g	β																																							
																																																									I g	β												
	37.85	74.65	花崗斑岩	花崗斑岩	青灰			II g	β	2																																																												
																																		III g	β																																			
	36.65	75.85	花崗斑岩	花崗斑岩	青灰			IV g	β																																																													
	34.99	77.51	花崗斑岩	花崗斑岩	青灰			III g	β	2																																																												
																																			IV g	β																																		
	80	30.78	81.72	花崗斑岩	花崗斑岩	青灰			II g	β																																																												
																																			30.64	81.86	花崗斑岩	花崗斑岩	青灰			IV g	β	3																										
																																																																						30.50
30.15		82.35	花崗斑岩	花崗斑岩	青灰			IV g	β																																																													
24.51		87.99	花崗斑岩	花崗斑岩	青灰			III g	β	3																																																												
																																					Bg	β																																
24.42		88.08	花崗斑岩	花崗斑岩	青灰			IV g	β	3																																																												
																																						Bg	β																															
90		24.42	88.08	花崗斑岩	花崗斑岩	青灰			IV g	β	3																																																											
																																					Bg	β	3																															
	Bg	β	3																																																																			
																																						IV g	β																															
	Bg	β	3																																																																			
IV g																																							β																															

# H20-④-3

## 柱状図(90.00m~115.00m)

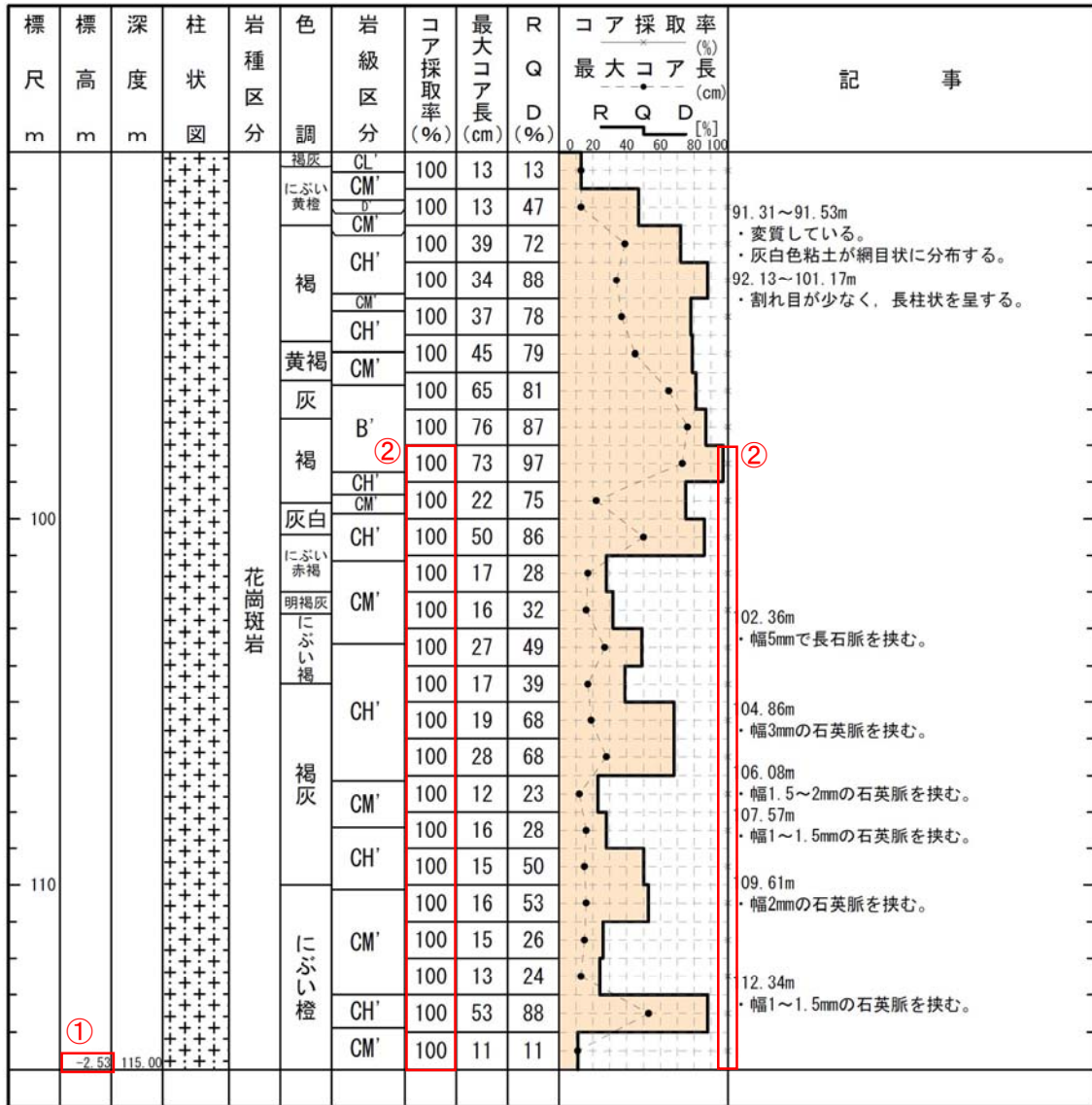


1-313(分類b)①  
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 → cm R Q D □ [ % ]	岩盤区分 分類	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)
															( N 値 ~ 深度 )															
100	-2.50	115.00		花崗斑岩	褐 灰白にふい赤褐 明褐灰 にふい褐		I g III g IV g II g III g IV g III g IV g III g II g IV g III g IV g III g	γ β			101.17~108.50m: 傾斜45° 及び70° 程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化している。 102.36m: 幅5mm程度で長石が脈状に分布する。傾斜58° 程度。 104.86m: 幅3mm程度の石英脈を挟む。傾斜66° 程度。 106.08m: 幅1.5~2mm程度の石英脈を挟む。傾斜60° 程度。 107.57m: 幅1~1.5mm程度の石英脈を挟む。傾斜62° 程度。 108.50~111.00m: 傾斜20° 及び60° 程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化している。 109.61m: 幅2mm程度の石英脈を挟む。傾斜62° 程度。 111.00~115.00m: 傾斜75° 程度の節理が発達している。節理に沿って褐色化し、マンガンを伴うことが多い 111.30~111.80m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 112.34m: 幅1~1.5mm程度の石英脈を挟む。傾斜74° 程度。	B' CH' CM' CH' CM' CH' CM' CH' CM' CH' CM' CH' CM' CH' CM' CH' CM' CH' CM' CH' CM'	98.58 103.45 106.45 108.14 108.45 109.13 110.13 111.00 111.88 113.00 113.88 115.00	4/18 98.58	94	ダブルコアチューブ / ダイヤビット	80.0	0.0	泥水	0										
					にふい橙		Cg Bg II g III g Cg Bg				111.00~115.00m: 傾斜75° 程度の節理が発達している。節理に沿って褐色化し、マンガンを伴うことが多い 111.30~111.80m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 112.34m: 幅1~1.5mm程度の石英脈を挟む。傾斜74° 程度。	CM' CH' CM'	111.50 113.00 115.00	4/21 105.45	76		80.0	400	0.0	泥水	0									
					にふい橙		Cg Bg				111.00~115.00m: 傾斜75° 程度の節理が発達している。節理に沿って褐色化し、マンガンを伴うことが多い 111.30~111.80m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 112.34m: 幅1~1.5mm程度の石英脈を挟む。傾斜74° 程度。	CM' CH' CM'	111.50 113.00 115.00	4/22 111.50	105		60.0													
							Bg							4/23 115.00			60.0													

# H20-④-3

## 柱状図(90.00m~115.00m)



- 1-311(分類b) ①  
 ① 孔口標高を正しい値にしたため。  
 1-313(分類b) ②  
 ② 報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.														
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	④-6			調査位置							北緯					
発注機関							調査期間							東経		
調査業者名					主任技師			現代理人				コ	ア	者	ボーリング責任者	
孔口標高	+ 33.16 m	角	180°	上	90°	方	北	0°	東	0°	地盤勾配	水平	0°	使用機種	ハンマー落下用具	
総掘削長	35.00 m	度		度		向	北	0°	東	0°	鉛直	25°	エンジン	ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	試験	N値 (N/mm)	掘進速度 (cm/時)	室内試験	掘進月日	孔径 (mm)	給圧 (kN/MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
																										(標準貫入試験)	(試験)
32.64	0.52		細砂	褐					0.00~0.52m: 植物根を含む細粒砂。																		
32.12	1.04		砂礫	浅黄					0.52~1.04m: 砂混じりシルト。																		
30.90	2.26		砂礫	黄					1.04~2.26m: 径2~12cm程度の花崗岩類の礫を多く含む粗粒砂からなる。																		
30.46	2.70		砂礫	黄					2.26~2.70m: シルト混じり砂。																		
28.00	5.16		花崗斑岩	淡赤橙					2.70~5.16m: 花崗斑岩。径1~6mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を10~15%程度含む。																		
10			花崗斑岩	淡赤橙					2.70~19.20m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。																		
			花崗斑岩	黄橙					2.70~6.83m: 傾斜15°, 45°, 及び75°程度の節理のみみられる。節理に沿ってマンガンを生ずることが多い。																		
			花崗斑岩	黄橙					3.07~3.18m: 幅5~30mmの石英脈を3条含む。傾斜10~42°程度。																		
			花崗斑岩	黄橙					3.76~4.05m: 破砕帯 (Hj, Hl)。																		
			花崗斑岩	黄橙					上盤76°, 下盤72°, 幅80m程度。原岩組織が認められるが、上部には疎混じり灰白色粘土を生ず。幅20m程度の石英脈を切っている。																		
			花崗斑岩	黄橙					5.09m: 幅60m程度の石英脈を挟む。傾斜25°程度。																		
			花崗斑岩	黄橙					5.16~35.00m: アブライト主体。径1~5mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を1~5%程度含む。花崗斑岩との境界は漸移的である。																		
			花崗斑岩	黄橙					6.83~8.55m: 傾斜75°程度の節理が発達している。節理に沿って灰白色粘土を生ずることが多い。																		
			花崗斑岩	黄橙					7.17m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。																		
			花崗斑岩	黄橙					7.94~9.00m: 破砕帯 (Hj, Hl)。																		
			花崗斑岩	黄橙					上盤75°, 下盤75°, 幅27cm程度。原岩組織が認められるが、節理に沿って灰白色粘土が不規則な形状で分布する。下盤には疎混じり灰白色粘土を生ず。下盤側には微細な節理が発達している。																		
			花崗斑岩	黄橙					8.55~35.00m: 傾斜20°, 50°, 及び75°程度の節理が密集している。節理に沿ってマンガンと灰白色粘土を生ずることが多い。																		
			花崗斑岩	黄橙					10.65~11.10m: 変質帯。上盤65°, 下盤72°, 幅19cm程度。上部は線状を呈し、マンガンが濃集する。下部は灰白色粘土が網目状に分布する。																		
			花崗斑岩	黄橙					13.30m: シーム。傾斜81°。幅0.30cm程度の黄白色粘土からなる。周辺の節理を切っている。																		
			花崗斑岩	黄橙					14.73~14.94m: 変質帯。上盤52°, 下盤48°, 幅14cm程度。灰白色粘土及びマンガンが網目状に分布する。																		
			花崗斑岩	黄橙					14.94~14.98m: 破砕帯 (Hl)。																		
			花崗斑岩	黄橙					下盤不明。幅2.70cm程度。疎混じり灰白色粘土からなり、上盤には幅0.30cm程度の淡桃色粘土を生ず。																		
			花崗斑岩	黄橙					14.98~15.27m: 変質帯。上盤不明。下盤50°, 幅19cm程度。灰白色粘土及びマンガンが網目状に分布する。																		
			花崗斑岩	黄橙					16.90~18.00m: 変質帯。上盤85°, 下盤89°, 幅9.60cm程度。黄白色シルト状を呈する。																		
			花崗斑岩	黄橙					18.00~18.43m: 周辺に比べて斑晶の粒径が大きく、斑晶の含有量が多い。																		
			花崗斑岩	黄橙					18.51~18.53m: 変質帯。上盤67°, 下盤57°, 幅1.10cm程度。疎混じり灰黄色粘土からなるが、周辺の節理は切っていない。																		
			花崗斑岩	黄橙					19.20~22.43m: コアはやや軟質で、ハンマーでぶい金属音を発する。																		
			花崗斑岩	黄橙					22.10~22.13m: 変質帯。上盤50°, 下盤50°, 幅2cm程度。土砂状を呈する。周辺の節理を切っていない。																		
			花崗斑岩	黄橙					22.43~32.91m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。																		
			花崗斑岩	黄橙					23.38~23.59m: 変質帯。上盤78°, 下盤80°, 幅4.40cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。																		
			花崗斑岩	黄橙					24.26~24.40m: 変質帯。上盤77°, 下盤81°, 幅3.10cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。																		
			花崗斑岩	黄橙					25.20~25.50m: 流理のみみられる。傾斜25°程度。																		